



# 読谷村

## まなびあいプラン

第2次読谷村生涯学習推進基本計画

読谷村スポーツ振興計画

第四次読谷村子どもの読書活動推進計画



令和6年3月

読谷村教育委員会





## 教育長あいさつ

はいさい、ぐすーよー、ちゅーうがなびら。

『読谷村まなびあいプラン』策定にあたり、ご挨拶を申し上げます。

本村は、平成20年3月に読谷村生涯学習推進基本計画を策定し、村民一人ひとりが生涯を通して、いつでも、だれでも、どこでも、気軽に楽しく学び活動できるように、これまで様々な施策を実施し生涯学習の推進を図ってまいりました。

そのような中、2020年に発生した新型コロナウイルス感染症は、社会全般に大きな影響を及ぼしました。教育を取り巻く環境も例外ではなく、新型コロナウイルス感染症の影響による長期休校や各種行事を一部取りやめる時期もありましたが、GIGAスクール構想による学校でのICT活用の前倒し実施や生涯学習部門や文化振興活動における各種講座、イベントをオンラインで開催するなど、学びを止めることなく教育活動を継続してまいりました。

この間に国や沖縄県においても、新たな教育課題や時代要請に対応するために、国においては「第3期教育振興基本計画」を策定し、2030年降の社会を見据えた教育指針を示すとともに、沖縄県においても、令和5年3月に「第4次沖縄県生涯学習推進計画」を策定しております。

こうしたためまぐるしい社会情勢の変化の中、人々の学習ニーズに対応し、村民一人ひとりが生涯にわたり、学びを通して自己実現や生きがいづくりに取り組むことで、人生の豊かさが向上し、これまで学んだ学習成果が活かされる「知の循環型社会」の実現を目指し、この度、『読谷村まなびあいプラン』を策定いたしました。

本プランは、第2次読谷村生涯学習推進基本計画の策定とあわせて、読谷村スポーツ振興計画及び第四次読谷村子ども読書推進計画を一体的に策定し、総合的な生涯学習推進を体系的にまとめております。

人生100年時代やSociety5.0など社会が大きく変化する中、一人ひとりが生き生きと活躍できるやさしさや思いやりのある地域社会、ひととひとがつながり、誰ひとり取り残さない社会の実現を目指し、次世代を担う子ども達を地域で育む「地域の子は地域で育てる」をこれからも合い言葉に村民とともに推進してまいりますので、村民各位のご理解とご協力をお願い致します。

結びに、『読谷村まなびあいプラン』の策定にあたり、ご協力を頂きました関係各位に対し、心から感謝申し上げます。いっぺー にふえーで一びる。

2024（令和6）年3月  
読谷村教育委員会  
教育長 知花 優



# 目次

<b>I. はじめに</b> .....	1
1. 生涯学習推進基本計画策定の趣旨 .....	1
2. 生涯学習の定義・読谷村の生涯学習のあり方 .....	2
3. 本計画の位置づけ .....	4
4. 計画期間 .....	4
<b>II. 本村の生涯学習等を取り巻く主な課題</b> .....	5
<b>III. 計画の基本的な考え方</b> .....	8
1. 計画の基本理念 .....	8
2. 生涯学習推進基本計画の目標・方針 .....	9
3. スポーツ振興計画の目標・方針 .....	10
4. 子どもの読書活動推進計画の目標・方針 .....	11
5. 各計画の施策体系 .....	13
(1) 生涯学習推進計画の施策体系 .....	13
(2) スポーツ振興計画の施策体系 .....	14
(3) 子どもの読書活動推進計画の施策体系 .....	14
<b>IV. 生涯学習推進基本計画の具体的取り組み内容</b> .....	15
方針1. 生涯学習を支える人材の育成 .....	15
方針2. 生涯学習活動の環境づくり .....	17
方針3. ライフステージに応じた生涯学習のメニューの充実 .....	21
方針4. 生涯学習の推進・地域に還元する仕組みづくり .....	28
<b>V. スポーツ振興計画の具体的取り組み内容</b> .....	30
方針1. スポーツに親しむ機会づくり .....	30
方針2. スポーツを支える体制づくり .....	32
方針3. スポーツを楽しむ環境づくり .....	33

**VI. 子どもの読書活動推進計画の具体的取り組み内容** ..... 35

方針1. 子どもの読書活動を支える人材の育成・活用 ..... 35

方針2. 子どもの読書活動の場や蔵書等の充実 ..... 36

方針3. 子どもの年齢段階に応じた読書活動の推進 ..... 38

方針4. 子どもが情報を学ぶ読書環境づくり ..... 39

**VII. 計画の推進に向けて** ..... 41

**資料編** ..... 43

1. 令和4年度読谷村生涯学習に関する村民調査 ..... 43

2. 社会教育関係団体合同研修会（ワークショップ） ..... 49

3. ジュニアリーダー研修会（ワークショップ） ..... 52

4. 小学校区での「読谷村生涯学習のまちづくりワークショップ」での意見 ..... 54

5. 生涯学習に関連する基礎データ等の整理 ..... 63

6. 読谷村子どもの読書活動推進計画策定（第4次）における子どもの  
読書活動に関する調査（学校司書 5小学校・2中学校） ..... 72

7. 読谷村子どもの読書活動推進計画策定（第4次）における子どもの  
読書活動に関する調査（学校図書館司書教諭 5小学校・2中学校） .. 75

8. R5子ども読書アンケート 施設回答分（保育所・幼稚園・自治会など） ..... 78

9. 読谷村子どもの読書活動推進計画アンケート調査（児童）集計表 ..... 83

10. 読谷村子どもの読書活動推進計画アンケート調査（保護者）集計表 ..... 87

11. 第四次読谷村子どもの読書活動推進計画の主な取り組み ..... 91

12. 策定の流れ ..... 93

13. 策定の経緯 ..... 94

14. 策定の体制 ..... 95

# I. はじめに

## 1. 『読谷村まなびあいプラン』策定の趣旨

人生100年時代が叫ばれる中、子どもから高齢者まで全ての人が継続して学び続け、活躍の場を持つことができるよう、生涯学習の取り組みを充実させることが求められています。我が国においては、1990年（平成2年）に『生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律（略称：生涯学習推進法）』を制定し、地方公共団体において生涯学習の推進を促すこととしています。また、2006年（平成18年）に教育基本法、2008年（平成20年）に社会教育法等を改正し、「生涯学習の理念」を定めるなど、生涯学習の一層の推進に向けた対応を図っています。そうした中、2016年（平成28年）5月の中央教育審議会答申『個人の能力と可能性を開花させ、全員参加による課題解決社会を実現するための教育の多様化と質保証の在り方について』では、今後の方向性として「“学び”と“活動”の循環の形成」の必要性が提言されるとともに、2018年（平成30年）12月答申『人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について』では、今後の地域における社会教育の在り方として、社会教育を基盤とした「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の重要性が示されています。

この他、国連の持続可能な開発目標であるSDGsにおいても、“質の高い教育をみんなに”という目標が掲げられており、全ての人が生涯学習を行える環境を構築することが求められています。

本村では、「読谷村生涯学習推進計画」を平成20年3月に策定し、生涯学習の推進を図って参りました。この間、各種公民館事業や人材育成事業の充実に取り組んでいます。加えて、「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」が、各校（幼稚園・小学校・中学校）で令和元年から始まっているとともに、地域学校協働活動推進事業や学校支援ボランティアの登録を行うなど、多様な知識と経験を有する地域住民の参加を通し、地域の子どもの健全育成や幅広い世代の生きがいづくり・地域づくりにも繋げています。今後とも、こうした取り組みの充実を図る中で、学んだ成果を地域社会に還元していく“知の循環型社会”の構築を図っていくなど、村民が輝くための環境整備の充実が期待されています。

そうした中、近年の新型コロナウイルス感染症の影響により、対面講座の実施やサークル活動の継続が困難となるなど、活動離れが危惧されています。一方でDXの推進が社会全体で急速に進んでおり、学習方法の工夫が求められるなど転換期も訪れています。さらに、村内において、各種スポーツ施設の整備が計画されるとともに、知の拠点である図書館機能や村史編集室・行政文書保管庫等の機能を有した「（仮称）読谷村総合情報センター」の整備が進められている状況にあるなど、生涯学習を取り巻く社会情勢が目まぐるしく変化してきています。「読谷村生涯学習推進計画」の計画期間は満了しており、新たな計画の策定が求められている状況にあります。

本計画は、多様化・高度化する人々の学習ニーズに対応し、住民一人ひとりが生涯にわたり学びを通じて自己実現や人生の豊かさを向上させるとともに、学習成果が活かされる社会の実現に向けて、本村の生涯学習の基本的な考え方と方向性を示し、関係する施策を体系

的・計画的に推進していくため、「第2次読谷村生涯学習推進基本計画」を策定するものです。併せて、生涯学習に関連する「読谷村スポーツ振興計画」並びに「第四次読谷村子どもの読書活動推進計画」の一体的な推進を図るため、これらを包含した計画として策定するものとします。

## 2. 生涯学習の定義・読谷村の生涯学習のあり方

### (1) 『生涯学習』とは

『生涯学習』という用語は、単純に生涯を通じて行うあらゆる学習を指すだけでなく、非常に多様な意味を含んで用いられています。平成18年に改正された教育基本法では、第3条において新たに「生涯学習の理念」を定めており、生涯にわたり学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会をめざしていくという考え方が示されています。

教育基本法の理念を踏まえると、『生涯学習』とは、“自らの意思で、いつでも、どこでも、だれでも、学びたいことを学んでいく”ことを意味し、その成果が適切に評価されるような生涯学習社会をめざしていくことが求められていると言えます。

#### 教育基本法

(生涯学習の理念)

第三条 国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。

### (2) 読谷村の歴史文化・地域特性等

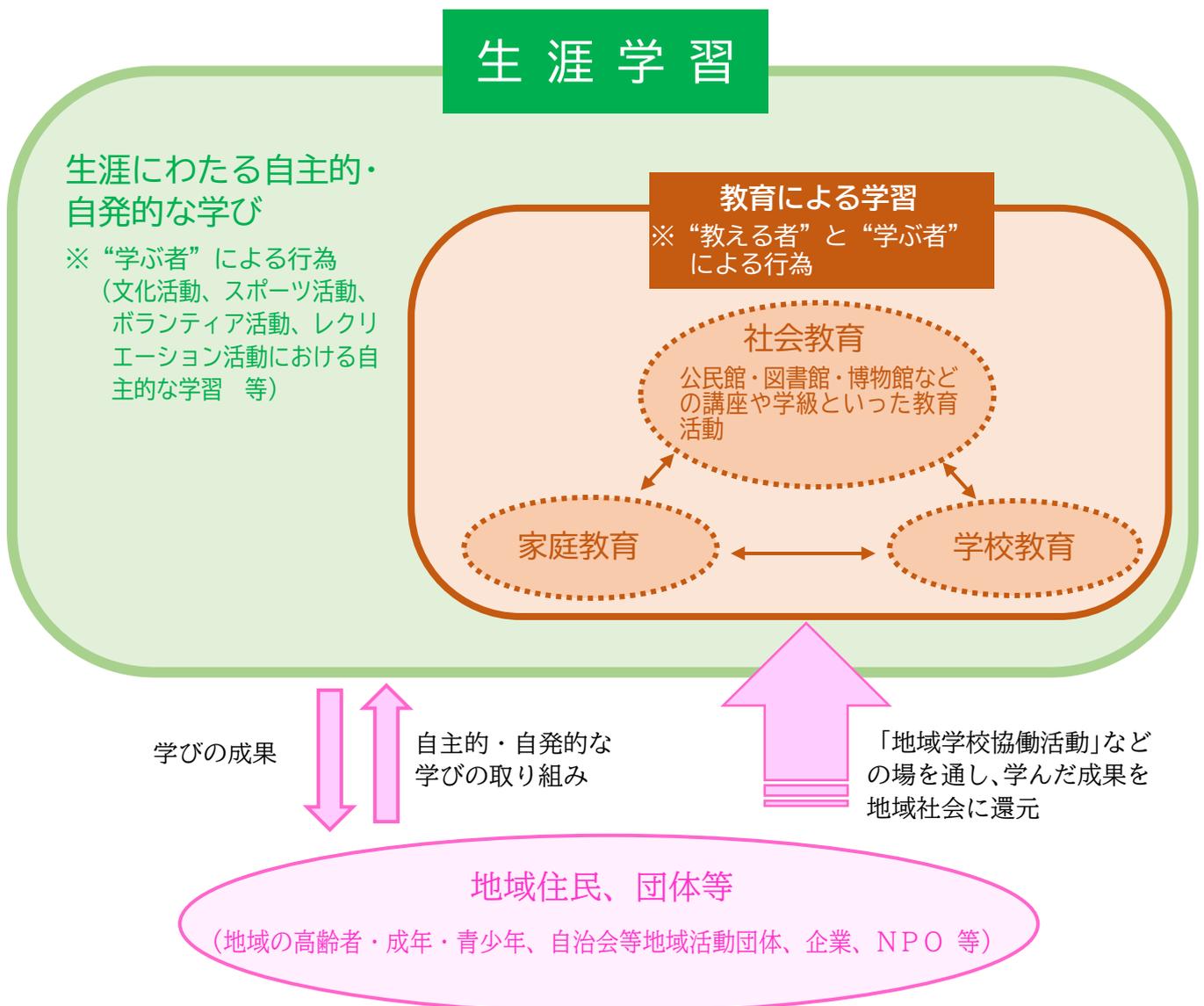
本村には、世界遺産座喜味城跡や国指定史跡木綿原遺跡、やちむんや読谷山花織といった伝統工芸、そして各地域で継承される民俗芸能と、豊かで固有な文化遺産が受け継がれています。太平洋戦争下末期「沖縄戦」では、沖縄本島における米軍上陸地点となり、人的にも物的にも甚大な被害を受けました。さらには戦後米軍用地として村土の多くを接収され、著しく生活の制限を受けてきました。本村は、このような困難な状況のなか、地域社会（コミュニティ）と地域住民相互の協力（ゆいまーる）に支えられて現在まで復興を遂げてきました。先述の豊かな文化遺産もまた平和を希求するなか、村行政、村民が一丸となって復興、継承してきたことを忘れてはなりません。郷土で培い、先人らが育ててきた本村独自の歴史、文化を踏まえ、継承、発展させていくことも本村の生涯学習を推進していく上で欠かせない視点と言えます。

### (3) 本計画の生涯学習の定義と方向

本計画で取り扱う『生涯学習』は、生活全般の中で学習が行われる活動すべてを生涯学習の範囲と捉え、従来の家庭教育や学校教育、社会教育に加え、個人で学習を行っている領域や、地域学校協働活動を足がかりとした地域コミュニティづくり等、生涯学習活動に関する全ての人づくり、場づくりの領域を扱うものです。また、前項で記載した“本村独自の歴史、文化の継承・発展”という視点についても、本村の生涯学習を推進していく上で欠かせない視点と言えます。したがって、こうした多様な視点・領域の学習活動を扱い、知の循環型社会の構築に繋がるものを生涯学習の範囲として捉えていくものとします。

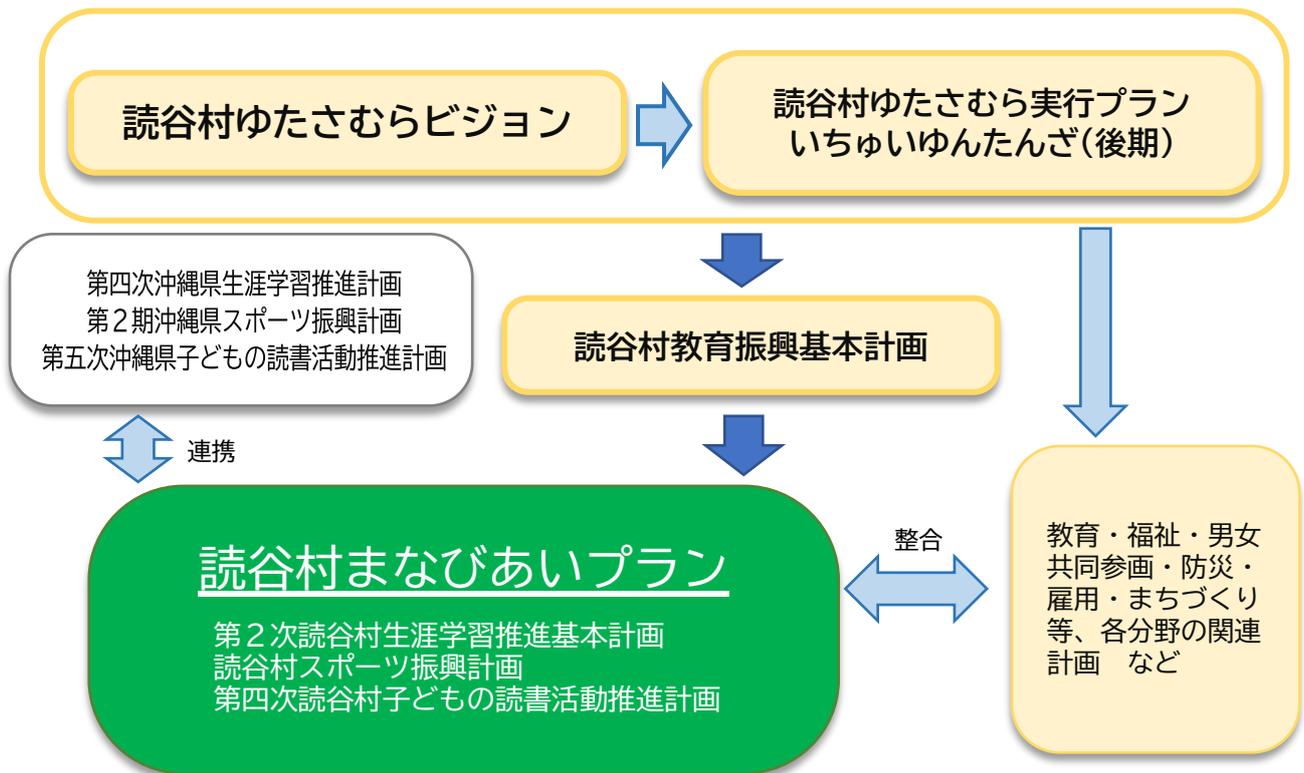
具体的には、社会教育、学校教育、文化活動、ボランティア活動、スポーツ活動、企業内教育、レクリエーション活動、趣味学習などの様々な機会で行う学習の総称とし、「人々が自己の人格を磨き、心豊かな人生を送ることができるよう、生涯の様々な機会において、自由に学習機会を選択して行う活動」とします。

ただし、学校教育の範囲については、主に教科外の学習活動（生きる力や自ら学ぶ力を育てる学習活動等）を扱っていくものとします。



### 3. 本計画の位置づけ

本計画は、「読谷村ゆたさむらビジョン」及び「読谷村ゆたさむら実行プラン いちゅいゆんたんざ（後期）」に基づき、行政や関係機関、村民が一体となって充実した生涯学習活動を推進するための生涯学習推進計画とし、「読谷村教育振興基本計画」などの本村の教育関連計画や各種個別計画等とも連携を図ります。また、沖縄県が策定した「第四次沖縄県生涯学習推進計画」、「第2期沖縄県スポーツ振興計画」、「第五次沖縄県子どもの読書活動推進計画」とも連携を図ります。



### 4. 計画期間

本計画の期間は、令和6年度から令和15年度の10年間とします。ただし、社会情勢の変化などにより新たな課題が生じた場合には、計画期間中であっても必要に応じて見直しを行うものとしします。

## II. 本村の生涯学習等を取り巻く主な課題

### 1. 感染症の影響等、活動の場の減少への対応

「令和4年度読谷村生涯学習に関する村民意識調査」において、新型コロナウイルス感染症により学びの変化を感じているかを尋ねたところ、“学びの変化を感じている”とした方が34%みられました。変化の内容としては、オンラインでの講座受講が増え、気軽に活動に参加できるようになったことなど、肯定的に捉えている意見も多く寄せられている一方で、人の集まる場での入場制限や活動の自粛、それらに伴う人間関係の希薄化を感じている方が一定程度みられました。逆に、“学びの変化はなかった(21%)”や“変わらない(42%)”という回答も多くみられ、特に影響がなかったと答えた方の多くは生涯学習活動を普段行っていないものと考えられますが、一方で、オンライン学習等により変わらずに学習できた方も一定程度いるものと推察されます。

また、自治会やその下部組織としての社会教育関係団体についても、会員の減少や役員のなり手不足といった課題を抱えており、地域づくりの面でも課題となっています。

誰もが、いつでも、どこでも、気軽に生涯学習が行える機会を充実していくためにも、オンライン講座等の継続・充実や感染症対策等に十分配慮を行った上で対面による講座や教室等を開催していくとともに、村民同士の繋がり・地域づくりに寄与する生涯学習活動の場の充実を図っていくことが求められます。

### 2. 拠点となる活動の場の充実

「令和4年度読谷村生涯学習に関する村民意識調査」において、社会教育施設のこの1年間の利用状況を尋ねたところ、何れの社会教育施設についても“利用していない(利用していない+知っているが利用していない)”と回答した方が多く、「スポーツ施設」(65%)、「文化施設(文化センター、ふれあい交流館、陶芸研修所)」(57%)、「図書館」(53%)が利用していない状況となっています。

なお、本村では、PFIによる「(仮称)読谷村総合情報センター」の整備事業を進めており、知の拠点である図書館整備をはじめ、村史編集室・行政文書保管庫、青少年センターを併設するとともに、民間の収益施設であるカフェやホームセンター、POP-UPショップ、ローカルマーケットを併設した施設を令和7年度に整備していくことにより、これまで図書館を利用してこなかった年齢層も含め、多くの世代の図書館利用者の増加に期待が寄せられています。また、「読谷村まちづくり構想策定支援事業基本計画、実施計画」に基づき、屋内運動場(ドーム)等の各種スポーツ施設の整備・充実が予定されるなど、スポーツコンベンションの推進を図っていくこととなっていることから、本格的な競技スポーツの観戦や、アスリート等との様々な交流機会を創出することにより、村民がスポーツをはじめのきっかけになることも期待されます。

したがって、生涯学習に寄与する活動の場の充実を図るため、関係機関等との連携を密に

し、これらの施設整備を着実に実施し、村民の各種生涯学習活動を促進していく必要があります。

### 3. 学習活動の内容・情報発信の充実

本村では、妊娠・子育て期、子ども・青少年期、青年期～高齢期といったライフステージに対応した各種生涯学習活動が行われています。一方で、これまでは各セクションがそれぞれ講座等を開催しており、講座情報の一元化が図られていない状況にあります。

これらの情報を一元化することで、お互いの生涯学習活動の連携や、重複する内容の精査等を図ることができるとともに、村民に対してわかりやすく生涯学習情報の発信を行っていくことが可能になると考えられます。なお、「令和4年度読谷村生涯学習に関する村民意識調査」では、多くの村民がイベントや講座の情報入手先として“広報よみたん”を挙げていますが、“村のホームページやSNS”を活用しているという方も多くみられる状況にあります。

今後、魅力ある生涯学習内容を提供できるよう、講座内容等の工夫や講座情報の一元化等により関係課との調整等を図っていくとともに、前述した各種施設整備を契機とし、活動内容の充実に繋いでいくことができるよう、それぞれの事業主体との連携・調整を図っていく必要があります。また、効果的な情報発信を工夫していくことにより、誰でも・どこでも・いつでも生涯学習に関する情報が入手できるようにしていくとともに、SNS等のツールを活用し、村民の生涯学習ニーズの把握に役立てていくなど、双方向による情報発信を検討していく必要があります。加えて、各種社会教育事業においては、多様化・高度化している住民のニーズに対応した講座等の実施をはじめ、ICTを活用した学びやSociety5.0といった新しい時代に即した事業を展開していくことも求められています。

### 4. 学びを支える人材の育成

本村には、生涯学習活動を支援するための専門的な人材として、社会教育主事や社会教育指導員、司書、学芸員等が関連する施設等に配置されており、資質向上を図っています。また、生涯学習の専門人材以外にも、村民の健康づくりや福祉を支える人材として母子保健推進員や民生委員・児童委員、健康づくりサポーターなどの確保・養成も図っています。

生涯学習を充実させるためにも、生涯学習の専門職や、各分野での専門職等を適正に配置するとともに、時代のニーズに応えた研修内容の工夫・改善など、職員の更なる資質向上に努める必要があります。

また、各種社会教育団体が学んだ成果を活かして地域づくりや人材育成に寄与しているとともに、読み聞かせボランティアや社会福祉協議会が養成する各種のボランティア等が活発な活動を展開しています。一方で、加入者の減少や役員などの成り手不足のみられる団体もあることから、加入促進等により自立した活動につなげていく必要があります。

## 5. 学んだ成果を活用したむらづくりの推進

近年の潮流として、各種講座実施やサークル活動の支援にあたっては、学んだ成果をその後の地域活動等に活かしていくことが期待されているなど、地域で暮らす村民が、これまでの人生で培ってきた様々な経験・学んできた成果を活かしながら、地域づくりをサポートできる仕組みづくりが求められています。今後においては、学習した経験を活かし、講師として活躍していくなど、成果の還元を促進していく必要があります。また、学んだ成果の発表の場となっている「まなびフェスタ」や「読谷まつり」等の会場において、来訪者に対して生涯学習体験の機会・場の積極的な提供を図っていくなど、生涯学習の裾野を広げていく取り組みを強化していくことが求められます。

一方、本村には、地域ごとに伝統芸能が継承されており、やちむんや読谷山花織などの独特の地域文化があり、日常生活の中でこの地域文化が息づいています。また、沖縄戦の上陸地点となった惨禍とその復興の過程で培われた平和希求の精神を引き継いできました。これらについて学ぶことや交流により理解を深めることは、地域文化の継承そのものであり、読谷村の個性につながるものです。また、地域題材を踏まえながら社会的課題について学習を広げていくことは、その人のみならず、本村の地域社会を豊かにしていくことにつながるものであることから、多様な学習機会を通し、地域文化の継承を図っていく必要があります。

なお、本村では“地域とともにある学校”への転換や、“学校を核とした地域づくり”を進めていくため、「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」や「地域学校協働活動推進事業」を行っています。今後は、こうした活動を展開する中で、地域の方が学校の運営や活動に参画し、地域文化等の継承をはじめ、これまで培ってきた経験や学びの成果を還元していくことにより知の循環社会を形成していくことが求められます。また、地域づくりに学校や児童生徒の参画を促し、伝統行事や祭りへの参加、ボランティアとしての体験の場を提供していくなど、多様な世代の地域交流を図ることにより、生涯学習活動を通した包括的な地域づくりを推進していく必要があります。



文部科学省の生涯学習マスコットキャラクター  
「マナビィ」

文部科学省の依頼により、漫画家の故・石ノ森章太郎氏が無償でデザインした生涯学習のマスコットマークです。

その名前の由来は生涯学習の【学び】とみつばちの【bee】を合成し、『マナビィ』と名づけられました。蜜蜂の触覚は普通は2本ですが、「学」という字の頭に角が3本あるように、学ぶことの好きな「マナビィ」には触角が3本あります。

そして、老若男女がいつでもどこでも楽しく学び活動するといった生涯学習のイメージを浸透させることに大きな役割を果たしています。



よみたんブランド  
パワーアップキャラクター  
「よみとん」

# Ⅲ. 計画の基本的な考え方

## 1. 計画の基本理念

読谷村では、「平和・環境」「文化・健康」「自立・共生」の理念のもと、村民自らが創造し、互いに協働し、そして、多くの潤いと喜びを享受し、感動できるむらづくりを通して、さらに勢い増した村として展開していくことを目指しています。

生涯学習・生涯スポーツ・子どもの読書活動の推進にあたっては、様々な学びの活動を通して成長を支え、夢の実現や生きがいづくりに取り組んでいくとともに、仲間たちと感動を享受し、学んだ成果を地域に還元していくなど、学習活動をむらづくりに繋げていくことが求められます。

本村では、学びへの出会いをいぎなう中で、共に学び合い、学びを愛する心を育てていくことをめざしていくものとし、本計画の基本理念として定めます。

【計画の基本理念】

# “まなびあい” による自己実現のむらづくり



【生涯学習推進基本計画の目標】

自らの意思で学び続けることができる生涯学習社会の形成

【スポーツ振興計画の目標】

スポーツを通じた活気ある交流のむらづくり

【子どもの読書活動推進計画の目標】

地域で育む読書の輪  
～子どもと本の出会いを通じた感動体験・共有体験の充実～



## 2. 生涯学習推進基本計画の目標・方針

### (1) 基本目標

人は学ぶことにより自分自身が成長し、自己実現を図ることができます。村民が生涯にわたり、いつでも・どこでも・誰でも自らの意思で学び続けられる社会を形成していくことにより、自己実現や地域づくりに繋がっていく生涯学習のむらづくりを目指します。

【生涯学習推進に向けた目標】

自らの意思で学び続けることができる生涯学習社会の形成

### (2) 生涯学習推進の方針

#### 1) 生涯学習を支える人材の育成

生涯学習を牽引する人材を育成し、学習活動を広く村民に波及させていくため、社会教育等の専門人材をはじめ、社会教育団体や地域づくりに関わるボランティア人材等を育成していくものとします。

#### 2) 生涯学習活動の環境づくり

生涯学習に関する情報が必要な時に入手できる仕組みや様々な情報の一元化、生涯学習施設の充実・連携を図ります。また、コロナ禍において急速に浸透したオンライン学習について、いつでも・どこでも・誰でも学習できる有用性を活かし、積極的な活用を図ります。

#### 3) ライフステージに応じた生涯学習のメニューの充実

生涯学習の分野は多岐にわたっており、子どもから高齢者まで、ライフステージに応じた学習機会の提供を図っていくとともに、サークル活動としての展開を支援するなど、学びの継続・発展を促進していきます。

#### 4) 生涯学習の推進・地域に還元する仕組みづくり

学んだ成果の発表機会の充実を図るとともに、庁内各課の連携による推進体制の構築や社会教育団体との連携充実を図ります。また、学んだ成果をむらづくりに積極的に還元し、社会貢献に繋がってもらうことができるよう、ヒト・モノ・コトを繋ぐための仕組みづくりに取り組みます。



### 3. スポーツ振興計画の目標・方針

#### (1) 基本目標

スポーツは心身の健康づくりや仲間づくりを図る上で大切なものであり、「する」だけでなく、「観る」ことや「支える」ことなど、多様な参画の仕方があることから、自分らしくスポーツに関わることで感動を共有することができる活気ある交流のむらづくりをめざします。

【スポーツの振興に向けた目標】

スポーツを通じた活気ある交流のむらづくり

#### (2) スポーツ振興の方針

##### 1) スポーツに親しむ機会づくり

村民ニーズを踏まえ、スポーツ教室の幅広いプログラム展開を図っていくとともに、各種スポーツ大会の開催や派遣支援を行うことにより、仲間づくりや競技力向上を図ります。

##### 2) スポーツを支える体制づくり

スポーツ推進委員をはじめ、スポーツを支える人材等の育成・活用を図るなど、スポーツを支える体制づくりを推進します。

##### 3) スポーツを楽しむ環境づくり

スポーツ活動の拠点となる体育施設の整備や活用促進を図るとともに、スポーツコンベンション等の推進により、スポーツを通じた多様な交流を図ります。



## 4. 子どもの読書活動推進計画の目標・方針

### (1) 基本目標

第四次推進計画の策定にあたっては、「地域で育む読書の輪 ～子どもと本の出会いを通した感動体験・共有体験の充実～」の基本理念のもと、第三次推進計画期間の成果と課題を踏まえ、「子どもが読書に親しむ地域づくり、本と出会うためのきっかけづくり、読書で育つふれあいづくり、情報を学ぶ読書環境づくりに努める」という第三次推進計画の基本方針及び基本目標を継承し、子どもの読書活動の推進に取り組みます。

また、子どもの特性や発達段階に応じて家庭・地域・学校において様々な形での読書との出会いを創出していくことにより、楽しみながら自ら進んで読書活動に取り組んでいける子ども達を育成していくなど、読書による感動体験・共有体験の充実を通したむらづくりをめざします。

【読書活動の推進に向けた目標】

**地域で育む読書の輪 ～子どもと本の出会いを通した感動体験・共有体験の充実～**

### (2) 読書活動推進の方針

#### 1) 子どもの読書活動を支える人材の育成・活用

図書館司書・図書館ボランティアの資質向上を図るとともに、図書館ボランティアが活躍できる場の開拓を図ります。また、「地域の子は地域で育てる」をモットーに家庭・地域・学校が一体となり連携し、子ども達の読書活動を推進する環境づくりを進めていきます。

#### 2) 子どもの読書活動の場や蔵書等の充実

知の拠点としての図書館の整備・充実を図っていくとともに、多くの人が読書活動に興味を持つことができるよう読書に親しむ機会を提供します。そのためにも、児童書や一般書、電子書籍の充実、読書バリアフリーの推進を図るとともに、「いつでも身近に本のある環境づくり」を通して、不読率の低減につなげる取り組みを推進していきます。

#### 3) 子どもの年齢段階に応じた読書活動の推進

就学前の豊かな読書経験のため、ブックスタート事業や読み聞かせ活動の継続・充実を図るとともに、推薦図書による読書活動の促進や調べもの学習を支援していくなど、「子どもの成長にあった本との出会い」を支援し、子どもの主体的な読書活動を促します。

また、村民に広く理解と関心を深めるため、「子ども読書の日」を中心とした啓発広報や、保護者への啓発など、読書活動の意義や重要性について広く普及・啓発していくことに努めます。

#### 4) 子どもが情報を学ぶ読書環境づくり

現在の情報化時代においては、一人ひとりが必要な情報を正確に入手し、判断する事が求められます。インターネットやAIの台頭など、情報技術の普及は目覚ましく、GIGAスクール構想等を踏まえ、スマートフォンやタブレット端末等で入手した情報の信憑性を確かめる術を身に着けるためにも、本で情報を検証し、それを活用する能力を身につけ、高めていかなければなりません。

日常的な活動の中で意識することにより、本を情報源として活用する力を育むことに努めていきます。



#### ■文化センターふれあい交流館での生涯学習風景



## 5. 各計画の施策体系

### (1) 生涯学習推進基本計画の施策体系

基本方針	基本方向		施策
方針1： 生涯学習を支える人材の育成	(1) 専門職員等の確保及び資質向上		① 専門職員の配置・資質向上 ② 地域学校協働活動推進員の配置・資質向上
	(2) ボランティア人材の育成・活動等に対する支援		① 地域学校協働活動支援ボランティアの登録・活用促進 ② 各種社会教育団体・地域活動団体等の育成支援 ③ 子育て支援チームの育成・活動支援
方針2： 生涯学習活動の環境づくり	(1) 生涯学習情報の収集・効果的な発信		① 各課の生涯学習情報の一元化による効果的な事業実施・情報発信の推進 ② 夏休み企画「わくわく研究所」による情報発信の充実 ③ ITや携帯端末等を活用した多様な情報提供の充実 ④ 各種情報提供媒体の活用による生涯学習情報の提供
	(2) 生涯学習環境の整備・充実		① 文化センターの充実 ② ユンタンザミュージアムの活用促進 ③ 自治公民館及び集会場の充実促進 ④ 陶芸研修所・伝統工芸センターの活用促進 ⑤ 地域連携棟の活用促進
	(3) ICTの活用による学習環境の充実		① オンライン講座の継続・充実 ② 読谷村を学ぶことのできる各種コンテンツの周知・活用促進 ③ 沖縄県「まなびネットおきなわ」に関する情報の提供 ④ 国内外の大学によるインターネット配信講座の情報提供
方針3： ライフステージに応じた生涯学習のメニューの充実	(1) 学びの基礎づくり	1) 家庭の教育力向上のための支援	① 出産や育児不安の解消・母子保健の推進に向けた各種支援 ② 地域資源を活かした子育て支援機能の充実 ③ 家庭教育の支援
		2) 子ども・青少年期における教育の充実	① インリーダー・ジュニアリーダー研修による人材育成の推進 ② 夏休み企画「わくわく研究所」による情報発信の充実(再掲) ③ 自治会との連携による多様な体験活動の実施 ④ 赤犬子子ども三線・箏・太鼓クラブの活動充実 ⑤ しまくとぅばの普及 ⑥ OISTとの連携による科学体験の場の充実 ⑦ 就業意欲の向上・各種就労支援策の実施 ⑧ 安全・安心な暮らしを守るための知識の普及
	(2) 生涯学習機会の提供	1) 教養を高め合い共に生きる社会づくり	① ふれあい交流館講座・教室の充実 ② (仮称) 読谷村総合情報センターの自主事業による各種講座の開催促進 ③ ふれあい交流館登録サークルへの支援 ④ 高齢者の生きがいづくり等への支援 ⑤ やちむんや花織に触れる機会の充実 ⑥ 農業体験の充実
		2) 地域づくりや現代的課題に関する学習機会の充実	① 平和事業・平和学習の推進 ② 防災意識の啓発 ③ 男女共同参画の推進 ④ 身近な問題にかかわる各種学習機会の提供 ⑤ 生活習慣病予防・介護予防等に資する教室等の実施 ⑥ 各世代を対象とした食育の推進
方針4： 生涯学習の推進・地域に還元する仕組みづくり	(1) 生涯学習推進体制・基盤整備の充実		① 学習成果の発表の場・生涯学習を体験する場の充実 ② 生涯学習のむらづくりを推進する庁内体制の構築 ③ 社会教育委員会議との連携による施策・事業の効果的な実施 ④ 社会教育団体の育成・支援
	(2) 学習成果の活用による「知の循環」の推進		① 「読谷村地域学校協働活動推進事業」の充実及び「コミュニティ・スクール」との一体的推進 ② 「ノーベル平和賞を夢みる村民基金」の継続実施 ③ ヨミタン大学による村づくり・地域づくりリーダーの育成 ④ 読谷村ファミリーサポートセンターへの参画促進

## (2) スポーツ振興計画の施策体系

基本方針	基本方向	施策
方針1： スポーツに親しむ 機会づくり	(1)各種スポーツ教室等の充実	①各種スポーツ教室等の開催 ②新体力測定の実施 ③障がい者スポーツの普及 ④生活習慣病予防・介護予防等に資する教室等の実施
	(2)スポーツ大会を通じた競技力向上	①各種スポーツ大会の開催・参加促進 ②国外・県外スポーツ大会への派遣に対する支援
方針2： スポーツを支える 体制づくり	(1)スポーツを支える人材等の育成・活用	①スポーツ推進委員の活用・資質向上 ②スポーツサークルの立ち上げ支援 ③スポーツ活動団体の育成及びスポーツ交流の促進 ④部活動における外部指導者の配置
方針3： スポーツを楽しむ 環境づくり	(1)スポーツ施設の充実・活用促進	①スポーツ活動の拠点となる体育施設の整備・充実 ②学校体育施設の開放
	(2)スポーツを通じた多様な交流の推進	①スポーツコンベンションの推進 ②スポーツを応援する機運の醸成

## (3) 子どもの読書活動推進計画の施策体系

基本方針	基本方向	施策
方針1： 子どもの読書活動 を支える人材の育 成・活用	(1)図書館司書・図書館ボランティアの充実	①図書館司書の配置・資質向上 ②図書館ボランティアの確保・資質向上
	(2)図書館ボランティアの活用	①(仮称)読谷村総合情報センターにおける読み聞かせ活動の継続 ②図書館ボランティアが活躍できる場の充実
方針2： 子どもの読書活動 の場や蔵書等の充 実	(1)知の拠点としての図書館の整備・充実	①「(仮称)読谷村総合情報センター」の整備による図書館機能等の充実 ②学校図書館等との連携・充実
	(2)蔵書等の充実	①蔵書及び電子書籍の充実 ②読書バリアフリーの推進
方針3： 子どもの年齢段階 に応じた読書活動 の推進	(1)読書による情操教育の推進	①ブックスタート事業の推進 ②読み聞かせ(読み語り)・家庭読書の普及
	(2)子どもの主体的な読書活動の支援	①子ども向け推薦図書リストの作成 ②調べ学習の支援
方針4： 子どもが情報を 学ぶ環境づくり	(1)情報リテラシーの推進	①本を情報源として活用する力を育む ②学校等におけるタブレットや電子書籍等の活用

※情報リテラシーとは、情報ニーズの認識→探検→評価→選択→利用→表現という一連のサイクルを自立的にできることとされている。

(図書館利用教育ガイドライン合冊版 図書館における情報リテラシー支援サービスのために 日本図書館協会出版)

## IV. 生涯学習推進基本計画の具体的取り組み内容

### 方針1. 生涯学習を支える人材の育成

#### (1) 専門職員等の確保及び資質向上

生涯学習を支えていくため、専門的な職員やスタッフの確保・適正配置を進めます。また、村民のニーズや時代に即した学習活動を支援していくことができるよう、資質向上を図ります。

具体施策の内容	主管課（関連課）
<p><b>①専門職員の配置・資質向上</b></p> <p>村民の生涯学習活動を支援するため、社会教育士や社会教育主事、社会教育指導員、学芸員などの専門職員の配置に努めるとともに、各種研修等により資質向上を図っていくとともに、時代のニーズに応えていくことができるよう、研修内容の工夫に努めます。</p> <p>人員不足の課題もみられることから、引き続き人員配置の充実に努めます。</p> <p>&lt;主な取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修参加等による専門職員の資質向上、配置の充実</li> </ul>	生涯学習課、文化振興課
<p><b>②地域学校協働活動推進員の配置・資質向上</b></p> <p>地域学校協働活動推進事業の取り組みを充実するため、キーパーソンとなる地域学校協働活動推進員の配置の継続、資質向上に努めます。</p> <p>&lt;主な取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学校協働活動推進員の配置の継続、資質向上</li> </ul>	生涯学習課 (学校指導課)

#### (2) ボランティア人材の育成・活動等に対する支援

学んだ成果を活かして地域で活躍する人材を育てていくため、地域学校協働活動支援ボランティアの登録及び活用促進を図っていくとともに、社会教育団体や地域活動団体の育成支援に努めるなど、実践的な取り組みを通じた学習活動を支援します。

具体施策の内容	主管課（関連課）
<p><b>①地域学校協働活動支援ボランティアの登録・活用促進</b></p> <p>地域と学校がパートナーとして共に子ども達を育てていくことができるよう、地域住民ボランティアを養成し、必要に応じて学校へ派遣、支援していくシステムの構築を図ります。</p> <p>活動の継続・充実に図っていくため、他市町村の有償ボランティアの取り組みについて調査・研究していくとともに、学習支援や平和教育の講師といった一部の活動について有償化の検討を行い、登録促進を図ります。</p> <p>&lt;主な取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域学校協働活動支援ボランティア養成講座の実施</li> <li>・ボランティアの登録・学校現場での活用促進</li> </ul>	生涯学習課



## 方針2. 生涯学習活動の環境づくり

### (1) 生涯学習情報の収集・効果的な発信

必要な生涯学習情報へのアクセスが容易なものとなるよう、各課が行う生涯学習活動の情報の一元化を図るとともに、誰もが自由に学習機会を選択して学ぶことができるよう、各種情報媒体の活用により情報発信の充実を図ります。

具体施策の内容	主管課（関連課）
<p><b>①各課の生涯学習情報の一元化による効果的な事業実施・情報発信の推進</b>            村民向けの講座や教室等を実施している関連各課との情報共有の場・機会を設け、生涯学習関連情報の一元化を図っていくとともに、連携によるステップアップ講座の展開や連携による効果的な事業実施をめざします。            また、一元化した情報を村ホームページで掲載し、村民が必要な生涯学習情報を手軽に入手できるようにしていくとともに、生涯学習課を中心とした生涯学習情報発信窓口づくりを目指します。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関連各課との情報共有の場・機会設置</li> <li>・一元化した生涯学習情報の発信</li> <li>・生涯学習情報発信窓口の設置</li> </ul>	生涯学習課 （関係各課）
<p><b>②夏休み企画「わくわく研究所」による情報発信の充実</b>            子ども達が様々な体験を通して充実した夏休みを過ごしていくことができるよう、様々な講座やイベント、インリーダー研修等の情報について一元化し、発信を行っている『夏休み企画「わくわく研究所」』の取り組みを継続していくとともに、児童生徒や保護者への周知を図ります。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み企画「わくわく研究所」の継続・周知</li> </ul>	生涯学習課
<p><b>③ I T や携帯端末等を活用した多様な情報提供の充実</b>            生涯学習講座や図書館自主事業、新着図書のご案内等、各種情報提供を効果的に行っていくことができるよう、村公式 LINE や SNS 等を活用した仕組みづくりに取り組みます。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯情報端末や情報メディアを活用した情報の発信</li> </ul>	生涯学習課 （関係各課）
<p>沖縄県の県民カレッジ連携講座等の情報をインターネット上で公開している「まなびネットおきなわ」の周知を行い、各種講座の利用促進を図ります。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯情報端末や情報メディアを活用した情報の発信</li> <li>・沖縄県の「まなびネットおきなわ」の周知・利用促進</li> </ul>	生涯学習課
<p><b>④各種情報提供媒体の活用による生涯学習情報の提供</b>            村民等に各種生涯学習情報が広く行き渡るよう、引き続き村のホームページや広報誌、立て看板、チラシ・パンフレット、コミュニティ FM 等様々な媒体を活用し情報提供の充実を図ります。            また、公共・公益施設や大規模商業施設、利便施設等へのチラシ・パンフレットの配布・設置に努めます。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な媒体を活用した情報発信の充実</li> <li>・生涯学習情報を提供する場の拡充</li> </ul>	生涯学習課、文化振興課、福祉課、こども未来課、健康推進課、営農知産地笑推進課、企画政策課、生活環境課 等

## (2) 生涯学習環境の整備・充実

村民の主体的な学習環境を支えるため、学びの場となる各種施設や設備、備品等の充実を図ります。また、身近な地域での活動を支えるため、学校施設や自治会公民館の活用を促進していきます。

具体施策の内容	主管課（関連課）
<p><b>①文化センターの充実</b> 生涯学習活動の拠点となる文化センターについて、村民が利用しやすい施設となるよう、計画的な施設の修繕対応等を図るとともに、備品の充実を図ります。また、村民が利用しやすくなるよう、使用申請書の提出方法について、電子申請の検討等を図ります。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な修繕対応等の実施</li> <li>・備品の充実</li> <li>・利用申請の利便性向上</li> </ul>	生涯学習課
<p><b>②ユンタンザミュージアムの利用促進</b> 世界遺産座喜味城跡や読谷で育まれた自然・文化遺産、考古、民俗、自然、沖縄戦について展示を行っているユンタンザミュージアムについて、利用を促進します。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ユンタンザミュージアムの利用促進</li> </ul>	文化振興課
<p><b>③自治公民館及び集会場の充実促進</b> 身近な学習の場である自治公民館や集会場について、地域住民の安全確保と地域活動の充実促進を図ります。</p> <p>また、地域住民に対して生涯学習活動の場を提供していくことで、加入促進や収益の確保に繋がることから、村内の好事例の波及を検討していきます。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治公民館改修（補修）等に係る支援の実施</li> <li>・自治公民館の活用促進</li> </ul>	生涯学習課、総務課、農地活用推進課
<p><b>④陶芸研修所・伝統工芸センターの活用促進</b> やちむん体験ができる陶芸研修所や伝統工芸品である読谷山花織を紹介する伝統工芸センターについて活用促進を図り、本村の工芸文化の普及を図ります。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陶芸研修所でのやちむん体験の利用促進</li> <li>・伝統工芸センターの周知・活用促進</li> </ul>	生涯学習課、商工観光課
<p><b>⑤地域連携棟の活用促進</b> 学校に設置された地域連携棟について、身近な地域での生涯学習の場として活用されるよう、利用促進を図ります。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域連携棟の周知等による利用促進</li> </ul>	教育総務課、学校指導課、生涯学習課

■読谷村文化センター



■世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム



### (3) ICTの活用による学習環境の充実

ICTの活用により、オンライン講座の開催やスマートフォンを活用した読谷村の歴史・文化の紹介等、いつでも・どこでも・誰でも学びやすい学習環境の整備を図ります。

具体施策の内容	主管課（関連課）
<p><b>①オンライン講座の継続・充実</b>                      いつでも・どこでも・誰でも学びやすい学習環境の提供を図るため、新たな学びの形としてのオンライン講座の継続・充実を図ります。                      &lt;主な取り組み&gt;                      ・オンライン講座での学習機会の提供</p>	生涯学習課
<p><b>②読谷村を学ぶことのできる各種コンテンツの周知・活用促進</b>                      スマートフォン等でテーマ別に読谷村を学ぶことのできる各種コンテンツ（文化財や戦跡紹介、地域ガイド、ヒストリー・ネイチャー・カルチャーコース等）をはじめ、ユンタンザミュージアム学芸員の解説による史跡紹介動画の周知・活用促進を図ります。                      &lt;主な取り組み&gt;                      ・歴史観光ガイド等の周知・活用促進                      ・史跡紹介動画の周知・活用促進</p>	文化振興課
<p><b>③沖縄県「まなびネットおきなわ」に関する情報の提供</b>                      沖縄県が「まなびネットおきなわ」で公開している県民カレッジ講座（オンデマンド講座）やリアルタイム配信講座等の情報収集・情報発信に努めます。                      &lt;主な取り組み&gt;                      ・「まなびネットおきなわ」での動画配信講座の周知</p>	生涯学習課
<p><b>④国内外の大学によるインターネット配信講座の情報提供</b>                      インターネットを通じて無料で世界各国の有名大学の授業を受けることができる「MOOCs（ムークス）などの大規模オンライン講義について周知を図り、社会人の学び直し等を支援します。                      &lt;主な取り組み&gt;                      ・MOOCs（ムークス）の周知</p>	生涯学習課



## 方針3. ライフステージに応じた生涯学習のメニューの充実

### (1) 学びの基礎づくり

#### 1) 家庭の教育力向上のための支援

全ての教育の原点となる家庭教育を支えるため、妊娠・出産・育児等に関する講座や教室、親子が触れ合える機会の提供等を通し、親として必要な知識の習得などを支援します。

具体施策の内容	主管課（関連課）
<p><b>①出産や育児不安の解消・母子保健の推進に向けた各種支援</b>                      育児不安や悩み解消に資するよう、マタニティ教室や離乳食ステップアップ教室を継続し、妊婦や保護者が学ぶ機会の提供や仲間づくりを支援します。</p> <p>参加者が減少傾向にあることから、公式 LINE や SNS 等を活用して事業の効果的な周知に取り組むとともに、集団参加型の教室だけでなく、必要に応じて個別指導によるフォローアップに努めます。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マタニティ教室、離乳食ステップアップ教室の実施</li> <li>・個別の保健指導や栄養指導の実施</li> </ul>	健康推進課
<p><b>②地域資源を活かした子育て支援機能の充実</b>                      「子育て支援センターはばたけ」や「みらい児童館」「読谷村つどいの広場」等において子育て講座・交流会を継続します。</p> <p>子育て支援チーム（地域の子育て経験者）による「子育てまーる」の取り組みについて周知を図り、対象年齢別リサイクル会を通じた育児支援や仲間づくり、乳幼児の保護者を対象とした講座等への参加促進を図ります。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援センターやつどいの広場等での講座等の実施</li> <li>・家庭教育相談支援事業「子育てまーる」の実施・普及促進</li> </ul>	こども未来課、生涯学習課
<p><b>③家庭教育の支援</b>                      すべての教育の出発点である家庭教育を支援するため、家庭教育相談支援事業により、防災知識や昔話の継承、親子遊び、思春期に関する学び等、保護者等を対象とした様々なテーマの体験活動や講座の提供を図ります。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育相談支援事業による各種講座・体験事業の実施</li> </ul>	生涯学習課

■家庭教育相談支援事業「子育てまーる」



■家庭教育相談支援事業による各種体験



## 2) 子ども・青少年期における教育の充実

読谷村の次世代を担う子ども達の健全育成を図り、生涯にわたり主体的に学び続けるという生涯学習の基礎を培っていくため、学校や地域での多様な体験活動の場の提供を図ります。

具体施策の内容	主管課（関連課）
<p><b>①インリーダー・ジュニアリーダー研修による人材育成の推進</b>            社会性や豊かな人間性を養い、次世代のむらづくりを牽引する人材の育成を図るため、インリーダー・ジュニアリーダー研修の実施等により、多様な交流・体験の機会を確保します。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・インリーダー・ジュニアリーダー研修会の実施</li> <li>・中頭地区ジュニアリーダー宿泊研修への参加</li> </ul>	生涯学習課
<p><b>②夏休み企画「わくわく研究所」による情報発信の充実（再掲）</b>            子ども達が様々な体験を通して充実した夏休みを過ごしていくことができるよう、様々な講座やイベント、インリーダー研修等の情報について一元化し、発信を行っている『夏休み企画「わくわく研究所」』の取り組みを継続していくとともに、児童生徒や保護者への周知を図ります。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み企画「わくわく研究所」の継続・周知</li> </ul>	生涯学習課
<p><b>③自治会との連携による多様な体験活動の実施</b>            地域の拠点である自治会において放課後子ども教室「わんぱく広場」の開催を継続し、子ども達の異年齢交流や世代間交流を図り、人と人がつながりあう地域づくりを目的とします。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室「わんぱく広場」の開催</li> </ul>	生涯学習課
<p><b>④赤犬子子ども三線・箏・太鼓クラブの活動充実</b>            赤犬子子どもクラブの参加促進・活動充実を図り、郷土伝統芸能の継承を通じた青少年の健全育成に努めます。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・赤犬子子どもクラブの周知・参加促進</li> <li>・村まつり、子ども文化祭等の発表機会の充実</li> </ul>	生涯学習課
<p><b>⑤しまくとうばの普及</b>            しまくとうばを身近なものとして触れ、学ぶ機会を創出するため、民話や身近な教材をテーマとした講座の実施や、「しまくとうばの日」において関連講座等を開催します。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・しまくとうば普及継承事業</li> <li>・しまくとうばクラブの活動継続</li> <li>・しまくとうば講座の開催</li> <li>・「しまくとうばの日」関連イベント等の実施</li> </ul>	文化振興課、生涯学習課
<p><b>⑥OISTとの連携による科学体験の場の充実</b>            児童・生徒の学習意欲の喚起等に繋がるよう、OIST（沖縄科学技術大学院大学）と連携し、コミュニティイベントでの科学教室や村内小中学校への出前授業の実施等、参加体験型プログラムの展開を図ります。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・OISTとの包括連携協定による各種体験教室等の実施</li> <li>・学校におけるキャリア教育等関連支援</li> <li>・まなびフェスタなどのイベント等での各種体験教室の実施</li> </ul>	企画政策課、学校指導課、生涯学習課



## (2) 生涯学習機会の提供

### 1) 教養を高め合い共に生きる社会づくり

人生を豊かにするため、趣味や教養を高めるための学習機会等を充実します。

具体施策の内容	主管課（関連課）
<p><b>①ふれあい交流館講座・教室の充実</b> 文化センターにおける各種ふれあい交流館講座・教室を継続するとともに、村民の学習ニーズに的確にこたえていくことができるよう、ニーズを踏まえた講座・教室内容の充実に努めます。 適切なニーズ把握のもと、効果的な事業実施を行っていくとともに、受講後のサークル立ち上げを促進していきます。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい交流館講座等の実施及び適切なニーズの把握</li> <li>・講座・教室後のサークル化の促進</li> </ul>	生涯学習課
<p><b>②（仮称）読谷村総合情報センターの自主事業による各種講座の開催促進</b> 「（仮称）読谷村総合情報センター」について、民間ならではの柔軟な発想や自由度の高さを活かし、積極的な自主事業の実施を働きかけます。 なお自主事業については、公的機関で担うべき講座等とのすみ分けやステップアップ講座の実施等による連携、自主事業実施後のサークル活動移行への協力を仰ぐなど、PFI 事業者との協働により村民の生涯学習活動の充実に繋げていきます。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な自主事業の実施促進</li> </ul>	生涯学習課
<p><b>③ふれあい交流館登録サークルへの支援</b> ふれあい交流館登録サークルの育成に向け、活動の場の提供を図るとともに、活動内容等の周知を行い、活動を支援します。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい交流館登録サークルの活動支援</li> </ul>	生涯学習課
<p><b>④高齢者の生きがいづくり等への支援</b> 高齢者の生きがいづくりを支援するため、各種公民館講座の実施を図るとともに、読谷村老人クラブ連合会（読老連）における各種サークルについて広報等による周知・参加促進を図ります。 また、高齢者が情報難民とならないよう、引き続きスマホ教室や講座を実施していくとともに、複数課で行っている事業の連携を図り、効果的な事業実施に努めます。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者を対象とした各種公民館講座の実施</li> <li>・スマホ教室や講座の実施</li> <li>・読老連の各種サークルの周知・参加促進</li> </ul>	生涯学習課、福祉課、デジタル社会推進課
<p><b>⑤やちむんや花織に触れる機会の充実</b> やちむんの皿づくりや読谷山花織展の開催を通し、地域の伝統文化に触れる機会を設け、物を大切に作る心を育むとともに、まなびフェスタでのわくわくワーク（お仕事体験）を通して後継者の育成に努めます。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所年長クラス対象のやちむん教室</li> <li>・親子やちむん教室、やちむん体験教室の開催</li> <li>・読谷山花織展の開催</li> </ul>	こども未来課、生涯学習課、文化振興課、商工観光課

<p><b>⑥農業体験の充実</b>          作る喜びや食育につながる体験として、子どもから大人まで多様な村民に農業体験の場を提供していくとともに、作り手同士の交流や競い合い、栽培技術の情報交換に資する山芋スーブチャンピオン大会の開催等を通し、農業に対する意識の高揚を図ります。</p> <p>&lt;主な取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山芋スーブチャンピオン大会の開催及びヨミタン大学との連携</li> <li>・ゴーヤスーブチャンピオン大会の開催</li> <li>・人参等収穫体験</li> </ul>	<p>営農知産地笑課          (企画政策課)</p>
<p><b>⑦障がい者の文化・芸術活動に対する支援</b>          文化・芸術活動を通して、自己実現や生きがいづくりにつながるよう、文化・芸術活動のプログラムの整備や、学習成果を発表する機会の創出に努めます。</p> <p>&lt;主な取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活動支援センターでの創作的活動の促進</li> <li>・役場ロビー等での作品展示</li> </ul>	<p>福祉課、生涯学習課</p>

■読谷村の文化財と戦跡マップ（読谷村歴史観光ガイド）



■農業の楽しさを未経験者や子どもたちにも知ってもらうために開催されたゴーヤスーブチャンピオン大会



■食べ物への感謝の心を育てるなど、食育の場となる農作物収穫体験



2) 地域づくりや現代的課題に関する学習機会の充実

地域課題や社会問題に対する学習機会の提供を図り、主体的に行動していくことができる村民の育成を図ります。

具体施策の内容	主管課（関連課）
<p><b>①平和事業・平和学習の推進</b></p> <p>戦争体験の継承に向け、各種人材育成事業とのタイアップの検討やチビチリGammaでの平和学習を推進していくとともに、「慰霊の日」にあわせて沖縄戦及びそれに続く米軍基地化に関する展示と講座開催を図るなど、各種平和事業の実施を推進します。</p> <p>また、行政と村民ボランティアの連携により、平和コンテンツの集成とその利用の促進を目的とした平和コンテンツの充実、システムの拡充による平和情報・観光関連情報・行政情報の提供サービスの向上を図っていきます。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平和創造展の開催</li> <li>・平和学習に活用できるオンラインコンテンツの周知</li> <li>・平和に関する子ども作品展の開催</li> <li>・村内戦争遺跡による平和学習の促進</li> </ul>	<p>生涯学習課、文化振興課、学校指導課、企画政策課</p>
<p><b>②防災意識の啓発</b></p> <p>防災の日に関連した各種講座や意識啓発を図るとともに、自主防災組織の育成強化や結成に向けた学習機会の提供等を図ります。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災の日に関連した各種講座や意識啓発の実施</li> <li>・自主防災組織の育成強化や結成に向けた意識啓発・支援の実施</li> <li>・防災講演会の開催</li> <li>・防災出前講座の開催</li> </ul>	<p>総務課 （生涯学習課、福祉課）</p>
<p><b>③男女共同参画の推進</b></p> <p>男女共同参画社会の形成に向けて、役場ロビーでのパネル展やオンラインパネル展の開催、LGBTQ 講演会の開催等を図るとともに、子ども向けの出前講座の実施を検討し、早い時期からの意識啓発・理解促進に努めます。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画に関するパネル展・オンラインパネル展の実施</li> <li>・LGBTQ 講演会の開催</li> <li>・子ども向けの出前講座の実施検討</li> </ul>	<p>企画政策課</p>
<p><b>④身近な問題にかかわる各種学習機会の提供</b></p> <p>小学校区を対象に実施している租税教室の取り組みを継続するなど、身近な問題に関する学習機会の提供に努めます。また、地域からの要望を踏まえながら、公民館講座等を地域で行う「出前講座」の実施を検討します。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・租税教室、犬の飼い方講座等の実施</li> <li>・生涯学習出前講座の実施検討</li> </ul>	<p>税務課、生活環境課、生涯学習課、その他関連機関</p>

<p><b>⑤生活習慣病予防・介護予防等に資する教室等の実施</b>          いくつになっても健康に暮らしていくことができるよう、生活習慣病予防や介護予防に資する教室・事業の実施を図るとともに、参加促進に努めます。          &lt;主な取り組み&gt;          ・ゆいまーる共生事業をはじめとした住民主体の通いの場の充実による介護予防等          ・読谷村健康増進センターの行う自主事業等の周知・参加促進</p>	<p>福祉課          (健康推進課)</p>
<p><b>⑥各世代を対象とした食育の推進</b>          学校等での食育活動をはじめ、各分野の連携により、多様な世代を対象とした食育推進のための実践活動を行います。          &lt;主な取り組み&gt;          ・学校等での食育の実施          ・親子クッキング体験</p>	<p>こども未来課、学校指導課、生涯学習課、営農知産地笑課、その他関連機関</p>

■自転車安全教室の様子



■平和学習の様子 (シムクガマ暗闇体験)



■SDGsカードゲーム(講座)の様子



■食育講習会の様子



■防災教室の様子



## 方針4. 生涯学習の推進・地域に還元する仕組みづくり

### (1) 生涯学習推進体制・基盤整備の充実

まなびフェスタやジュニアフェスティバル等、生涯学習のむらづくりを推進するためのイベントの充実を図るとともに、庁内連携や関係団体等との連携により生涯学習を推進するための体制整備を図ります。

具体施策の内容	主管課（関連課）
<p><b>①学習成果の発表の場・生涯学習を体験する場の充実</b>            生涯学習・社会教育の祭典である「まなびフェスタ読谷」や読谷まつりに行われている「ジュニアフェスティバル」の充実を図ります。            「まなびフェスタ読谷」については、幅広い年代が楽しめる場にしていくことにより、多くの村民に生涯に触れる場としていくとともに、地域の産業・文化などをテーマにしたお仕事体験等、各種体験コーナーの充実を検討し、各種サークル団体等が学んだことを地域に還元していく機会を創出します。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まなびフェスタ読谷の開催</li> <li>・ジュニアフェスティバルの開催</li> <li>・参加体験の場の充実</li> </ul>	生涯学習課
<p><b>②生涯学習のむらづくりを推進する庁内体制の構築</b>            生涯学習は多岐にわたるセクションに関わることから、生涯学習課を中心とした関連機関との連携体制を構築し、本計画に位置づけた施策の点検・見直し、効果的な実施に向けた調整等を図るための全庁的な推進体制を確立します。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習課を中心とした連携体制の確立</li> <li>・施策点検シートの作成・関連機関による点検実施</li> <li>・類似講座等の整理や効果的な実施に向けた調整の実施</li> </ul>	生涯学習課、その他関連機関
<p><b>③社会教育委員会議との連携による施策・事業の効果的な実施</b>            引き続き社会教育委員会議の開催を継続するとともに、本計画の進捗確認結果に関する情報提供を行い、効果的・具体的な施策実施方法のアドバイスを受けるなど、協働による推進体制構築を図ります。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員会議の開催継続</li> <li>・生涯学習関連施策の進捗報告・効果的な手法の検討</li> </ul>	生涯学習課
<p><b>④社会教育団体の育成・支援</b>            地域において様々な社会活動を行っている社会教育団体に対し、補助金の交付を継続し、活動支援を図ります。また、合同ミーティングや合同研修会の実施を継続し、社会教育団体間の連携や、各団体の活動推進のために必要な知識や技能の習得を促進していくなど、活動の活性化を図ります。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育団体補助金の継続</li> <li>・合同ミーティングや合同研修会の実施</li> </ul>	生涯学習課

## (2) 学習成果の活用による「知の循環」の推進

学んだ成果を地域づくりに積極的に生かしていくため、活用の場・機会の充実を図るとともに、地域づくりに必要な知識・技術を専門的・実践的に学ぶ場での学習活動を通し、リーダー育成を図るなど、地域で活躍できる人材を育成します。

具体施策の内容	主管課（関連課）
<p><b>①「読谷村地域学校協働活動推進事業」の充実及び「コミュニティ・スクール」との一体的推進</b></p> <p>地域と学校がパートナーとして共に子ども達を育てていくため、「地域学校協働活動推進事業」による活動展開を図るとともに、コミュニティ・スクールとの一体的推進を図ります。具体的には、学校現場での取り組みに対し、地域住民ボランティアを養成し、必要に応じて学校へ派遣・支援していくシステムの構築を図ることにより、地域住民の生涯学習・自己実現に資するなど、「知の循環」による地域活性化を目指します。</p> <p>また、各学校のコミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）との連携強化を図るため、協議会委員として地域学校協働活動推進員が参画できる体制を検討していきます。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読谷村地域学校協働活動本部の運営</li> <li>・ 地域学校協働活動推進員の各中学校区への配置</li> <li>・ 地域学校協働活動支援ボランティア養成講座等の開催</li> <li>・ 各種ボランティアの派遣実施</li> <li>・ コミュニティ・スクールの取り組みと連携しやすい体制の検討</li> </ul>	生涯学習課 （学校指導課）
<p><b>②「ノーベル平和賞を夢みる村民基金」の継続実施</b></p> <p>村民がこれまでの人生経験や学んできた成果の還元を図り、歴史・伝統・文化・産業の分野の発展やユニークな事業としてチャレンジしていくことができるよう、「ノーベル平和賞を夢みる村民基金」の継続実施を図り、村民が自ら考え自ら行う地域づくりを支援します。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ノーベル平和賞を夢みる村民基金の継続実施</li> </ul>	企画政策課
<p><b>③ヨミタン大学による村づくり・地域づくりリーダーの育成</b></p> <p>読谷村のむらづくりの現状について共有し、村づくりや地域づくりに必要な知識・技術を学ぶ「ヨミタン大学」の取り組みを継続します。</p> <p>学びを通し、地域資源の掘り起こしや地域づくりに積極的に参画するリーダーの育成を図ります。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヨミタン大学の実施</li> </ul>	企画政策課
<p><b>④読谷村ファミリーサポートセンターへの参画促進</b></p> <p>読谷村ファミリーサポーター養成講座の実施及び「読谷村ファミリーサポートセンター」への登録を促進していくことにより、講座で学んだ成果や自らの子育て経験を活かした活動展開を促進していきます。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読谷村ファミリーサポーター養成講座の実施</li> <li>・ サポーター登録の促進</li> </ul>	こども未来課

# V. スポーツ振興計画の具体的取り組み内容

## 方針1. スポーツに親しむ機会づくり

### (1) 各種スポーツ教室等の充実

初心者でも楽しめ、スポーツを行うきっかけとなるよう各種スポーツ教室等の開催を図ります。

具体施策の内容	主管課（関連課）
<b>①各種スポーツ教室等の開催</b> 活力ある生涯スポーツ社会の実現をめざし、各種スポーツ教室の開催や、ニュースポーツの普及を図るなど、誰もが気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しめる環境づくりを進めます。 <主な取り組み> ・各種スポーツ教室の実施 ・ニュースポーツの普及	生涯学習課
<b>②新体力測定の実施</b> 自らの体力を把握し、運動習慣の改善に役立ててもらおうよう、読谷健康まつり（スポーツ大会）での新体力測定を継続します。 <主な取り組み> ・読谷健康まつり（スポーツ大会）での新体力測定の実施	生涯学習課 （健康推進課）
<b>③障がい者スポーツの普及</b> 障がいの程度に応じ、障がいのある人が心身ともに健康で明るく交流ができるよう、障がい者（児）のスポーツ・レクリエーションに対するニーズ把握を行うとともに、スポーツ推進委員や障がい者団体等と連携し、障がい者向けのスポーツプログラムの充実等を図ります。 また、障がい者向けスポーツ用具の購入や無料貸し出し等による活動支援を検討します。 <主な取り組み> ・障がい者スポーツの普及 ・障がい者向けスポーツ用具の購入・無料貸与の検討	生涯学習課、福祉課
<b>④生活習慣病予防・介護予防等に資する教室等の実施（再掲）</b> いくつになっても健康に暮らしていくことができるよう、生活習慣病予防や介護予防に資する教室・事業の実施を図るとともに、参加促進に努めます。 <主な取り組み> ・ゆいまーる共生事業をはじめとした住民主体の通いの場の充実による介護予防等 ・読谷村健康増進センターの行う自主事業等の周知・参加促進	福祉課 （健康推進課）

■ボッチャ体験の様子



■新体力テストチラシ

## (2) スポーツ大会を通じた競技力向上

スポーツ大会の開催や村外のスポーツ大会への派遣等を図り、競技力向上に努めます。

具体施策の内容	主管課（関連課）
<p><b>①各種スポーツ大会の開催・参加促進</b>                      小学生陸上競技大会や駅伝大会、村陸上競技大会等、様々な大会を通して個人のスポーツ能力の向上や、自治会対抗による地域の活性化や相互交流に貢献します。                      障がい者（児）の社会参加を図るため、障がい者スポーツ大会等や児童デイサービス「ボッチャ交流会」などにより参加機会の充実に努めます。                      &lt;主な取り組み&gt;                      ・各種スポーツ大会の開催                      ・障がい者のスポーツ大会等への参加促進</p>	生涯学習課、福祉課
<p><b>②国外・県外スポーツ大会への派遣に対する支援</b>                      競技力の向上やスポーツを通じた交流の促進を図るため、県外・国外のスポーツ大会等に出場する団体及び個人に対し、経費の一部助成を継続します。                      &lt;主な取り組み&gt;                      ・読谷村スポーツ振興推進協議会スポーツ大会等派遣費助成                      ・読谷村児童・生徒県内外派遣に関する補助金交付要綱に基づく補助</p>	生涯学習課、学校指導課

■小学生陸上競技大会の様子



■読谷村陸上競技大会の様子



## 方針2. スポーツを支える体制づくり

### (1) スポーツを支える人材等の育成・活用

スポーツに関する村民の興味・関心を高め、スポーツ活動を通じた地域活性化や競技力向上に取り組んでいくことができるよう、各種スポーツ人材や関係団体の育成・支援を図ります。

具体施策の内容	主管課（関連課）
<p><b>①スポーツ推進委員の活用・資質向上</b>  「読谷村スポーツ推進委員協議会」との連携のもと、スポーツ推進委員の資質向上に努め、スポーツ関連各種行事の企画立案やニュースポーツの紹介・実技指導等の充実を図ります。</p> <p>&lt;主な取り組み&gt;  ・スポーツ推進委員の資質向上</p>	生涯学習課
<p><b>②スポーツ活動団体の育成及びスポーツ交流の促進</b>  村体育協会や村スポーツ振興協議会、各協議団体等、スポーツ団体への支援の継続によりスポーツ指導の充実を促進し、青少年の健全育成や将来のスポーツ選手の育成に寄与していきます。</p> <p>また、村ソフトボール協会や村サッカー協会等と連携し、スポーツキャンプの受け入れ対応を図るなど、スポーツを通じた世代間交流・地域間交流の促進を図ります。</p> <p>&lt;主な取り組み&gt;  ・各種スポーツ団体への補助金の交付  ・各種スポーツ団体の立ち上げ支援  ・総合型地域スポーツクラブの立ち上げ・活動支援  ・各種スポーツ団体との連携によるスポーツキャンプの受け入れ促進</p>	生涯学習課
<p><b>③部活動における外部指導者の配置</b>  部活動の地域連携・地域移行を進めるため、中学校部活動について、地域住民や関係団体との連携・協力のもと、土日祝祭日の外部指導者の配置をめざします。</p> <p>&lt;主な取り組み&gt;  ・部活動の地域連携・地域移行の試行実施</p>	学校指導課、生涯学習課

■体育協会バドミントン大会の様子



■トリムマラソン大会の様子



■スポーツ講演会の様子



■コンディショニング体験の様子



### 方針3. スポーツを楽しむ環境づくり

#### (1) スポーツ施設の充実・活用促進

スポーツコンベンションの推進により、アスリートと触れ合う機会の創出や「みる」スポーツの推進を図るとともに、村民の身近な身体づくりから本格的な競技スポーツまで対応していきことができるよう、各種スポーツ施設の充実を図ります。

具体施策の内容	主管課（関連課）
<p><b>①スポーツ活動の拠点となる体育施設の整備・充実</b></p> <p>スポーツを通したむら（ひと）づくりの推進を図るため、「読谷村まちづくり構想策定支援事業基本計画・実施計画」に基づき、屋内運動場（ドーム）等の各種スポーツ施設の整備を行います。</p> <p>新たに整備されたスケートボード広場の利用促進を図るとともに、青少年や親子が安全にスケートボードを楽しむことができるよう、利用にあたってのルールづくりやその周知を図ります。</p> <p>また、既存体育施設の維持・管理、利用促進に努めるとともに、利用者ニーズを踏まえたスポーツ用具の充実を図ります。</p> <p>&lt;主な取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋内運動場等の各種スポーツ施設の整備</li> <li>・既存体育施設の維持・管理</li> <li>・スポーツ用具の充実</li> </ul>	生涯学習課
<p><b>②学校体育施設の開放</b></p> <p>身近な場所での村民のスポーツ活動を支援していくため、村内の小中学校体育施設（学校体育館・運動場）の開放を継続していくとともに、活用促進を図ります。</p> <p>&lt;主な取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校体育施設開放事業の周知・活用促進</li> <li>・読谷村率学校施設の使用に関する規則に基づく使用</li> </ul>	生涯学習課、学校指導課

■読谷村まちづくり構想策定支援事業基本計画・実施計画 全体配置計画図



## (2) スポーツを通じた多様な交流の推進

スポーツコンベンションの推進により、アスリートと触れ合う機会の創出や「みる」スポーツの推進を図ります。

具体施策の内容	主管課（関連課）
<p><b>①スポーツコンベンションの推進</b>            各種スポーツ施設の集積等を活かし、スポーツキャンプの受け入れや全国規模や国際的なスポーツイベント・大会の誘致を行うなど、スポーツコンベンションの推進を図り、スポーツ観光と連動した地域活性化を図ります。</p> <p>&lt;主な取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ団体の誘致及び受け入れ体制の整備</li> <li>・村ホームページによるスポーツキャンプ情報の発信</li> </ul>	商工観光課、生涯学習課
<p><b>②スポーツを応援する機運の醸成</b>            スポーツの裾野を拡大していくため、スポーツキャンプの受け入れ等を行う中でアスリートによる競技を間近に観たり、選手と触れ合い・指導を受けることのできる機会や環境の創出に努めます。</p> <p>&lt;主な取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロスポーツ選手等によるスポーツ教室の実施</li> <li>・スポーツチームや選手を応援するための機会や環境づくり</li> </ul>	商工観光課、生涯学習課

### ■スポーツコミッション沖縄 HP での村内スポーツ施設の紹介



### ■村広報誌でのスポーツキャンプ情報の掲載

＼スポーツで読谷をアツくする！／

# よみスポ

読谷のアツいスポーツピックを紹介します！

みんなで応援に行こう！

## スポーツキャンプ速報！

	日程	場所	ホームページ
 <b>サガン鳥栖</b> (J1/キャンプ13回目)	1月25日(木)～ 2月12日(月)	ZANPA プレミアム 残波岬ボールパーク	
 <b>V・ファーレン長崎</b> (J1/キャンプ3回目)	1月29日(月)～ 2月10日(土)	読谷村陸上競技場	
 <b>中日ドラゴンズ</b> (2軍/キャンプ28回目)	2月1日(木)～ 2月24日(土)	オキハム読谷 平和の森球場	

※各日程は予定です。ご来場の際は、各チームのホームページでスケジュールをご確認ください。  
 ※練習は非公開になる場合があります。



## VI. 子どもの読書活動推進計画の具体的取り組み内容

### 方針1. 子どもの読書活動を支える人材の育成・活用

#### (1) 図書館司書・図書館ボランティアの充実

児童生徒向けサービスやレファレンスサービス、配架・書架整理、選書・資料の保存等の重要な仕事を担っている図書館司書を適切に配置していくとともに、子ども達を読書へいざなう役割を担う図書館ボランティアの確保・資質向上を図ります。

具体施策の内容	主管課（関連課）
<p><b>①図書館司書の配置・資質向上</b>            新たに整備される「(仮称) 読谷村総合情報センター」の図書館機能について、PFI 事業者との調整のもと、図書館司書の適切な配置を図るとともに、学校図書館への司書の適切な配置に努めます。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「(仮称) 読谷村総合情報センター」への図書館司書の適正配置</li> <li>・学校図書館への司書の配置、学校図書館司書研究会の継続</li> <li>・図書館司書研修会等への参加促進</li> </ul>	生涯学習課 (学校指導課)
<p><b>②図書館ボランティアの確保・資質向上</b>            図書館ボランティアの確保に努めるとともに、資質向上に向け、研修会等への参加促進を図ります。また、沖縄県が養成・派遣を行っている「沖縄県子ども読書指導員」を活用し、ブックトークの実演指導やビブリオバトルの実施支援といった各種指導助言等を受けることにより、図書館ボランティアの資質向上を図ります。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館ボランティアの育成</li> <li>・ボランティア研修会の実施・ボランティアへの参加促進</li> <li>・沖縄県子ども読書指導員の活用</li> </ul>	生涯学習課

#### (2) 図書館ボランティアの活用

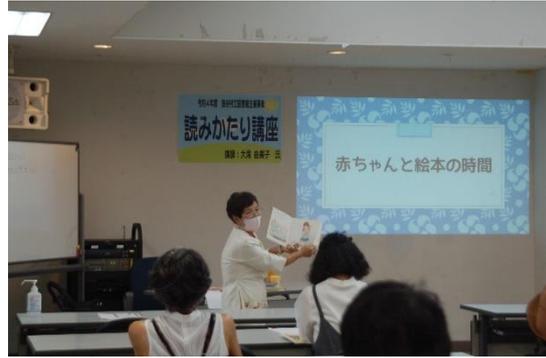
図書館ボランティアについては、引き続き(仮称) 読谷村総合情報センターでの活動継続を働きかけていくとともに、多様な活躍の場の開拓を応援します。

具体施策の内容	主管課（関連課）
<p><b>①(仮称) 読谷村総合情報センターにおける読み聞かせ活動の継続</b>            新たに整備される「(仮称) 読谷村総合情報センター」においても、引き続き読み聞かせボランティア等による活動の継続を働きかけます。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせ(読み語り)・定例行事・配架ボランティア等の取り組みの継続実施</li> </ul>	生涯学習課
<p><b>②図書館ボランティアが活躍できる場の充実</b>            図書館ボランティアが活躍できる環境づくりを行うため、出前おはなし会の実施や、読み聞かせ等の活動場所の開拓支援に努めます。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前おはなし会の実施</li> <li>・乳児向けおはなし会の開催</li> <li>・保護者への読書啓発活動</li> <li>・活動の場の開拓支援</li> </ul>	生涯学習課 (学校指導課)

■定例行事での読み聞かせボランティア



■「読み語り講座」による図書館ボランティアの育成



## 方針2. 子どもの読書活動の場や蔵書等の充実

### (1) 知の拠点としての図書館の整備・充実

「(仮称) 読谷村総合情報センター」の整備を推進し、多くの世代の図書館利用を促進していくとともに、身近な地域での読書活動を支援するため、学校図書館や県内外の公共図書館、嘉手納町立図書館との連携・充実を図ります。

具体施策の内容	主管課（関連課）
<p>①「(仮称) 読谷村総合情報センター」の整備による図書館機能等の充実</p> <p>知の拠点である図書館整備をはじめ、村史編集室・行政文書保管庫、青少年センター等の公共施設や民間の収益施設を併設する「(仮称) 読谷村総合情報センター」について、PFIによる整備事業を推進します。</p> <p>各種交流施設等の併設による相乗効果や夜間開館、図書館機能としてキッズゾーンや集中ゾーン、賑わいゾーンなど、用途に合った図書ゾーンを設けることにより、これまで図書館を利用してこなかった年齢層も含め、多くの世代の図書館利用を促進していきます。</p> <p>&lt;主な取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称) 読谷村総合情報センターの整備</li> <li>・用途に合った図書ゾーンの設置</li> <li>・新たな学びの機会を提供する多様な講座・イベントの開催</li> <li>・夜間開館の実施による利便性の向上</li> <li>・村史編集室や学校図書館との連携</li> </ul>	<p>生涯学習課 (文化振興課、学校指導課)</p>
<p>②学校図書館・関連施設等との連携・充実</p> <p>学校からの依頼に応じて一定量の図書の集配・長期的貸し出しやレファレンスサービスを行う等、相互連携について検討していくとともに、学校図書館のシステムとの連動を検討し、蔵書検索を行いやすくしていきます。</p> <p>また、県内外の公共図書館や関連施設と連携したレファレンスサービスの実施、相互貸借サービスによる資料提供等の充実に努めます。</p> <p>現在実施している嘉手納町立図書館との相互利用について、継続実施を図ります。</p> <p>&lt;主な取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校図書館との連携（再掲）</li> <li>・読書指導・利用指導の充実、目標冊数の達成に向けての取り組み</li> <li>・朝の読書活動の継続実施</li> <li>・教科指導における図書館活用推進</li> <li>・県内外の公共図書館や関連施設と連携したレファレンスサービスの実施</li> <li>・県内外の公共図書館との相互貸借サービス等の継続</li> <li>・嘉手納町立図書館相互利用協定の継続</li> </ul>	<p>生涯学習課 (学校指導課)</p>

■（仮称）読谷村総合情報センターの整備イメージ



（２）蔵書等の充実

図書館の蔵書を充実していくことにより、多くの本との出会う機会を創出し、読書の楽しさを感じてもらうことで、不読率の低減に繋がります。また、これまで沖縄県が「子どもの読書活動推進計画」で提唱してきた「EET（Ear、Eye、Talk）プラン」については、「新しい読書の定義」に合わせ、様々な媒体により「五感」を使って読書を進めていくなど、発達段階に応じた読書活動を支援します。

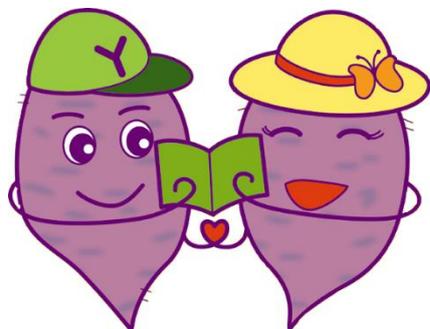
具体施策の内容	主管課（関連課）
<p><b>①蔵書及び電子書籍の充実</b></p> <p>いつでも身近に本のある環境や、子どもの成長にあった本との出会いの場を提供するため乳幼児や児童、ヤングアダルト向けの図書の充実を図ります。</p> <p>「（仮称）読谷村総合情報センター」の整備に伴い、蔵書数の拡充や郷土資料の充実を図ります。</p> <p>読書形態の変化に対応していくとともに、気軽に読書を楽しむことができるよう、電子書籍サービスの継続に努めます。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児、児童、ヤングアダルト図書の充実、</li> <li>・絵本セット貸出の活用</li> <li>・（仮称）読谷村総合情報センターの整備による蔵書の充実</li> <li>・電子書籍サービスの継続</li> </ul>	<p>生涯学習課 （学校指導課）</p>
<p><b>②読書バリアフリーの推進</b></p> <p>障がいの有無に関わらず、全ての村民が読書を通じて文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会を実現していくため、大型活字本や電子書籍、点字図書・録音図書の充実等を図ります。</p> <p>また、新しい読書の定義を踏まえ、布・革・毛糸などで作られた「触る絵本」をはじめ、模型、DVD、動画等、読むだけでなく見たり、触ったりして発達段階に応じて楽しむことができるよう、読書バリアフリー化の推進を図ります。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大型活字本や点字図書・録音図書の導入</li> <li>・（仮称）読谷村総合情報センター等での電子書籍の充実（再掲）</li> <li>・触る絵本やDVD等の導入検討</li> </ul>	<p>生涯学習課</p>

### 方針3. 子どもの年齢段階に応じた読書活動の推進

#### (1) 読書による情操教育の推進

発達段階に応じたブックスタート事業の展開を図るとともに、読み聞かせの活動や家庭読書の普及を行うなど、読書を通じた親子のふれ合い等を促進していく中で情操教育や幼少期からの読書週間の確立を図り、不読率の低減に繋がります。

具体施策の内容	主管課（関連課）
<p><b>①ブックスタート事業の推進</b></p> <p>0才からの読書の勧めと絵本を通じた親子のふれ合いを促進するなど、読書を介した子育て支援を図るため、ブックスタート事業を推進します。</p> <p>具体的には、ファーストブック（0～1歳）の配布を継続するとともに、乳児向けおはなし会の開催、乳児健診等を活用した広報活動等を実施します。</p> <p>また、3～4歳ならびに就学前の段階での読書の症例・意識づけを図るため、セカンドブックスタート、サードブックスタートの実施について検討を図ります。</p> <p>&lt;主な取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファーストブック（0～1歳）配布の継続</li> <li>・乳児向けおはなし会の開催（再掲）</li> <li>・乳幼児一般健診等を活用したブックスタートの広報活動</li> <li>・セカンドブックスタート、サードブックスタートの実施検討</li> </ul>	生涯学習課
<p><b>②読み聞かせ（読み語り）・家庭読書の普及</b></p> <p>読み聞かせボランティアの活動継続を図り、家庭や地域での読み聞かせ実施への波及を促進します。</p> <p>また、家庭読書（ファミリー読書）を生活の一環として普及させていくため、家庭での読書活動例の紹介などを通し、家庭における子どもの読書活動の意義や重要性の周知に努めます。</p> <p>&lt;主な取り組み&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせボランティアの取り組みの継続実施</li> <li>・「子ども読書の日」、家庭読書（ファミリー読書）の普及</li> </ul>	生涯学習課



読谷村立図書館マスコット  
「よみくん・たんちゃん」

■ブックスタートの様子



## (2) 子どもの主体的な読書活動の支援

子どもの主体的な読書活動を支援するため、子ども向け推薦図書リストの作成・配布を継続するとともに、学校での調べもの学習を支援します。

具体施策の内容	主管課（関連課）
<b>①子ども向け推薦図書リストの作成</b> 国及び沖縄県から推薦・推奨された優良図書のリストを参考に、本村独自のリストの作成・配布を継続します。 <主な取り組み> ・子ども向け推薦図書リストの作成	生涯学習課 (学校指導課)
<b>②調べ学習の支援</b> 調べ学習で利用できそうな本のリストをテーマごとに作成・紹介していくなど、学校での調べ学習の支援を図ります。 <主な取り組み> ・調べ学習に活用できる図書リストの作成 ・セット貸し出しの実施 ・郷土資料関連リストや村史等のデジタルアーカイブの活用	生涯学習課 (学校指導課)

### ■乳児一般健診でのブックスタート事業の実施



**6/17 乳児一般健診（前期）にて  
ブックスタートパックの  
受け取りができます！**





ブックスタートパックの引換はお済みですか？  
読谷村では、誕生されたお子さんに  
**絵本を1冊プレゼント**しています。  
引換期間は、出生届提出から1年間です。  
この機会に、ぜひお引き換えください。

**日時：2023年6月17日（土）9時30分～12時**  
**場所：生き活き健康センター 乳児一般健診会場内  
ブックスタートパック引換コーナー**  
**対象：2023年1月21日～2月17日生まれのお子さん**  
※読谷村外にて出生届を提出し、他市町村でブックスタート絵本を受け取ったことのない方は、当日の引換コーナーにてご相談ください。

～読谷村ブックスタート選定絵本～

- ①「いないいないばあ」松谷みよ子 文・瀬川 康男 絵/童心社
- ②「ぎゅうぎゅうぎゅう」おーなり由子 文・はた こうしろう 絵/講談社
- ③「おつきさまこんばんは」林明子 作/福音館書店
- ④「くだもの」平山 和子 作/福音館書店
- ⑤「ごんごんごんごん」動物克己 作/福音館書店

5冊の中から、お好きな1冊をプレゼント♪  
絵本の詳細は、読谷村立図書館HPで確認することができます。



読谷村立図書館HP



引き換えには、出生届提出時にお渡ししているチケットが必要です。  
紛失の場合は、おさんの生年月日が確認できるもの（健康保険証、母子手帳等）をご提示ください。



**【お問い合わせ】読谷村立図書館 TEL：098-958-3113**

### ■「子どもの読書週間」関連事業

令和4年度 読谷村立図書館主催  
「子どもの読書週間」子ども読書の日」関連事業

**★ 図書館ってこんなところ！★**  
**としょかんまつり**  
**4月23日（土）～5月12日（木）**  
読谷村立図書館  
**読谷村立図書館**

**クイズライブラリー**

児童コーナーの本棚に、クイズを隠しました。  
探検しながら探して、問題を解いてみよう！  
クイズに挑戦してくれた人には、  
「しおり」をプレゼントします♪

4月23日（土）開催！  
申込が随分です。

**書籍「図書館」**

4月30日は、図書館法が公布された  
図書館記念日です！  
図書館についての本を紹介します♪

**としょかんまつり 図書館員体験**

図書館の職員はどんな仕事をしているのか、  
どんな役割があるのか、  
アナログゲームや体験を通して  
学んでみよう！

5月1日（日）  
10:30～  
定員：親子3組

**おひな祭り**

4月23日（土）  
10:30～  
定員：8名

**おひな祭り**

4月24日、5月8日（日）  
14:00～  
定員：8名

＜お問い合わせ＞  
**読谷村立図書館**  
 電話番号：(098)958-3113  
 月・水～金曜日：午前10時～午後7時  
 土・日・曜 日：午前10時～午後5時  
 （火曜日・祝日・第4木曜日を除く）



## 方針4. 子どもが情報を学ぶ読書環境づくり

### (1) 情報リテラシーの推進

インターネットやAIなど、様々な情報が社会に溢れる中、誤った情報や信憑性が疑わしい情報なども見受けられます。一人ひとりが必要な情報を正確に入手し、判断する術を身につけていくためにも、本で情報を検証したり、日常的な活動の中で本を活用していくなど、情報源としての本の活用促進に努めていきます。

具体施策の内容	主管課（関連課）
<p><b>①本を情報源として活用する力を育む</b>            沖縄県や村のアンケートからも、子どもたちは紙媒体の書籍と電子書籍を区別せずに読書を行っている傾向もあることから、読書の目的、資料の種類に応じて、適切な読書技術によって読むことができるなど、学校での調べ学習の支援を図ります。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGA スクール構想等を踏まえた ICT 環境の整備</li> <li>・意味調べ等における「辞書の活用」による紙や活字に触れる機会の継続</li> </ul>	生涯学習課 （学校指導課）
<p><b>②学校等におけるタブレットや電子書籍等の活用</b>            学校現場における ICT 機器の活用による読書活動への取り組みを進めるとともに、その活用方法についても指導に取り組めます。</p> <p>＜主な取り組み＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校における電子図書館の利用促進</li> <li>・調べ学習等に活用できる電子書籍の充実</li> <li>・村史等のデジタルアーカイブの活用（再掲）</li> </ul>	生涯学習課 （学校指導課）

■図書館員体験（読み聞かせ）



■図書館員体験（図書の貸出）



## VII. 計画の推進に向けて

### 1. 計画の周知

本計画を推進していくには、庁内各課との連携が求められます。また、各種社会教育団体や各種ボランティアといった村民をはじめ、(仮称)読谷村総合情報センターの整備を担うPFI事業者(SPC)等、各主体との協働により進めることが重要です。そのため、各種情報媒体を通して本計画の積極的な周知を図っていくものとします。

### 2. 計画の進行管理

本計画を実効性のあるものとしていくためにも、「①計画の策定=Plan」、「②計画の実施=Do」、「③計画の評価=Check」、「④計画の改善=Action」のPDCAサイクルに基づいて、進捗状況を管理していくことが求められます。

そのため、事業評価を行うためのシートを作成し、毎年度定期的に関連各課による評価作業を行っていくとともに、点検結果を社会教育委員会議に報告し、効果的な推進に向けたアイデアやアドバイス等の意見を求めながら、本計画の進行管理を行います。



## 【資料編】

# 資料編

## 1. 令和4年度読谷村生涯学習に関する村民調査

### 【アンケート調査の概要】

調査目的	・生涯学習推進計画策定にあたり、村民の実態（ニーズ）調査を把握することを目的とする。
調査内容	・生涯学習、文化・スポーツ、図書館の分野ごと及び総合的な事を質問項目とする。
調査対象	・18歳以上村民
回答目標人数	・1,000人
アンケート実施期間	・令和4年10月11日～10月31日（3週間）
周知方法	・広報よみたん10月号、ホームページ、各関係団体への呼掛け、FMよみたん、公共機関内でのポスター掲示、村LINE（10/11）
アンケート回収結果	・令和4年度生涯学習アンケートは、読谷村公式LINEにて18歳以上の回答を求めた。 ・今回は、WEB回答方式。その結果、427件の回答で、下記のと通りの住所別内訳である。

※住所別回答者内訳表

住所別	回答数	回答における回収率%
楚辺	63件	14.8%
長浜	37件	8.7%
波平	35件	8.2%
座喜味	35件	8.2%
渡慶次	29件	6.8%
古堅	28件	6.6%
喜名	28件	6.6%
瀬名波	26件	6.1%
大湾	22件	5.2%
大木	22件	5.2%
高志保	21件	4.9%
伊良皆	20件	4.7%
都屋	15件	3.5%
比謝	11件	2.6%
渡具知	9件	2.1%
上地	9件	2.1%
宇座	9件	2.1%
儀間	7件	1.6%
比謝砥	1件	0.2%
有効回答数計	427件	100.0%

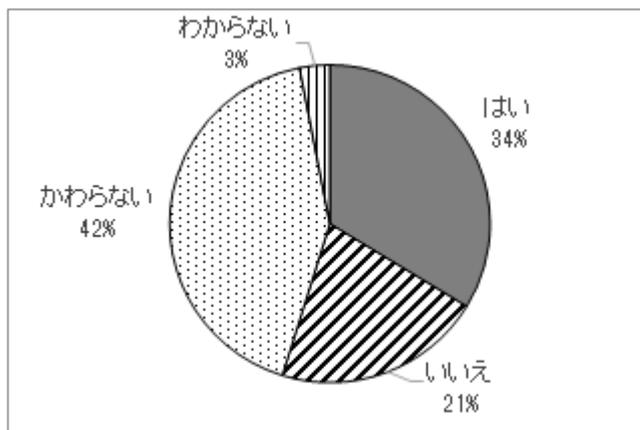
### 【調査結果（抜粋）】

次ページ以降に調査結果より抜粋した内容を示す。

<社会教育施設の利用状況について>

- 新型コロナウイルス感染症の発生があり、講座やイベントが中止、延期が多くありました。その状況の中で学びの変化はありましたか（例オンライン学習が増えたなど）

コロナ禍において、学びの変化を感じている人に比べ、「かわらない」と回答した方が多かったです。上記の情報化社会の進展により、社会環境や生活様式も変化してきていると考える。下記の自由記述からも、その変化がみえる。



- 前問で「はい」と答えた方のみご回答下さい。具体的内容を記入下さい。

- ・ ライン学習（授業）が増えた。Zoom を活用して活動した。
- ・ オンライン講座を受講することが増えた。村内のリアル講座を受けなくとも、オンライン講座が色々増えたので、それを利用して、村内の人だけに限らず、県外の方とつながりが増え、学びの場になった。
- ・ オンラインで、ヨガや瞑想会、勉強会、交流会に参加するようになった。
- ・ オンラインのワークショップや講座を受講することが増えました。
- ・ オンラインや少人数での学習が増え、直接たくさんの人に関わる機会が減った。
- ・ Zoom の使用などで、かえって移動時間の削減や参加できる講座イベント等が増えたり、今まで以上に便利になった。
- ・ ネット環境が整っていれば気軽に参加できるようになってよかったです。
- ・ 交通や移動などの時間削減になった。
- ・ 各種大会、総会においても同様に映像での取組みでした。
- ・ 中学生の教育の日講演会は、オンデマンド等映像によるものでした。
- ・ 今まで必要と思っていたことが、それ程重要な事ではなかったり逆に当たり前だったことが、当たり前でなかったこと。
- ・ 体験活動が減りました。
- ・ 開催方法の持ち方に対しては視野が広がりました。
- ・ 子育て中なので、オンラインの講座等が増えて、受講しやすくなったので、増えた。
- ・ サークル活動の停止、対面会議がなくなり Zoom などの会議となった。
- ・ 現地に行けない時など Zoom などで気軽に講習が受けられるようになった。
- ・ 必ず一定の場所に集まらなくても、ネット環境があれば、離島からでも何処にいても繋がっていること。
- ・ スマホやタブレットを使う機会が増えた。YouTube から学習や情報収集。機器を使う為の勉強を行った。
- ・ 婦人会のオンライン講座に参加した。村の講座をオンラインで受けました。
- ・ スマホを活用して、料理や物作りをするようになった。日頃、家でゆっくりすることがなくて、コロナ禍で自宅で過ごすことや今までいかに自己中心なことをしていたかを見直す機会となりました。
- ・ 在宅ワークが増えた。オンライン会議も行う。社内研修も増えた。職場の Zoom
- ・ 今まで対面レッスンのみだったがオンライン化された。
- ・ アプリを活用するようになった。オンラインアプリを利用した自主学习。
- ・ 習い事がオンラインになった。
- ・ コロナにより、学びの機会が激減しました。オンラインも徐々に増えてきましたが、対面の学びに比べると質的に劣ると思います。

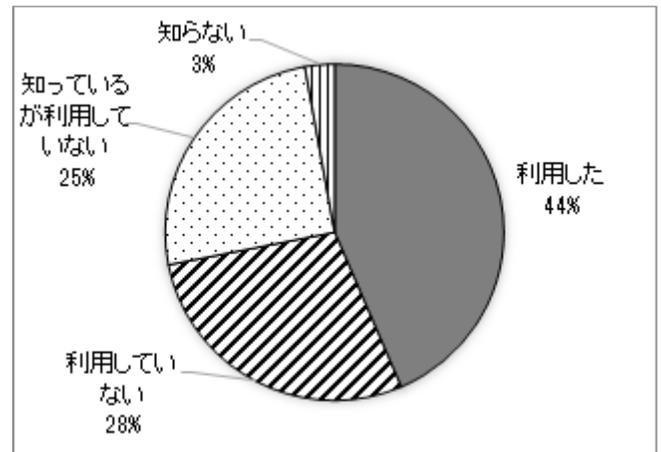
- ・ 地域行事の中止。自治会の夏祭りが中止となった。楽しみにしていたイベントの中止。
- ・ 便利になりましたが、物足りない。
- ・ 人のつながりが希薄になった。人とのつながりが減り、興味あることを楽しく学べなくなった。
- ・ 対面でのイベントが減り、オンラインでの活動が増えた。
- ・ オンライン活用でこれまでなかなか参加できなかった研修や講演会に参加できた。
- ・ 学びたくても学べない、働きたくても働けない。いつも、自分が感染したらどうしようと思ってました。
- ・ 活動が中止の中で、その環境に慣れてしまい、これからのことを考えると仕事を退職した後、何か学びたいと思っています。
- ・ サークル活動の時間帯が早くなった。
- ・ society5.0 や Web3.0 の学びと実践。(オンライン学習は society4.0、Web2.0 です)
- ・ リモート会議などでコミュニケーションの機会が減った。
- ・ 運動不足。 増進センターに行くのが減った。
- ・ 自分の趣味の講座もオンラインに移行しました。
- ・ 行事はシンプルにでも行えるということ
- ・ 子どもの部活動の時間が少なくなった。
- ・ 読谷村の LINE に登録したり、読みペイのことを調べたりしました。
- ・ 図書館や博物館等の入場制限があり利用が減った。
- ・ これまでの働き方や子育て、教育などについての常識、考え方が変わりました。
- ・ 大学の説明会がオンラインになったり、職場体験がなくなって大企業の調べ学習になった。

○この1年間における次の社会教育施設について、あなたにあてはまるものを選択して下さい。※文化施設及びスポーツ施設は、1箇所でも利用した場合は、「利用した」と回答下さい。

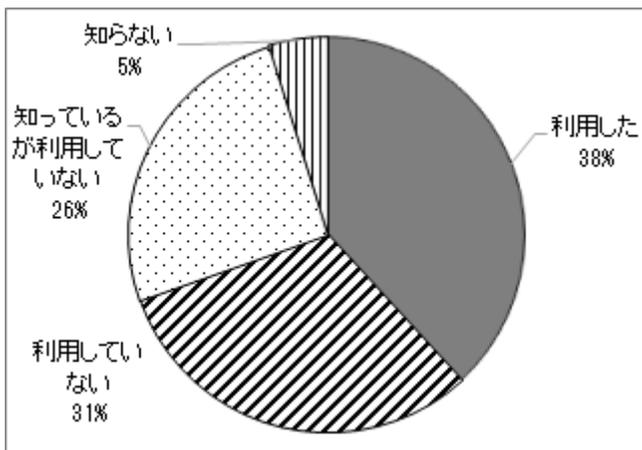
①図書館

社会教育施設の種類のうち、「利用した」という回答が最も多いのは『図書館』の44%となっており、次いで文化施設(38%)、スポーツ施設(32%)となっている。

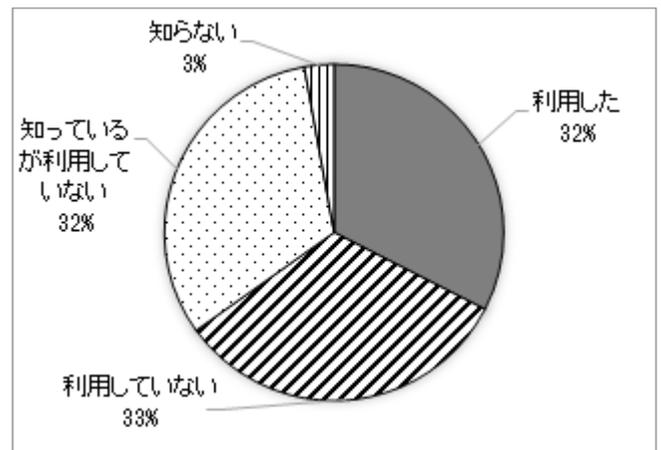
いずれの社会教育施設においても、「知らない」という回答が少なからずみられ、利用促進に向けて周知が必要といえる。



②文化施設(文化センター、ふれあい交流館、陶芸研修所)



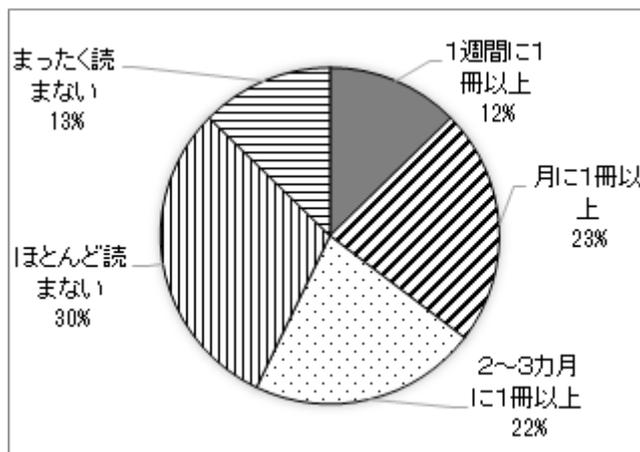
③スポーツ施設(トレーニング室、球場、運動広場、陸上競技場、テニスコート、ソフトボール場、ボールパーク)



<読書活動の実態について>

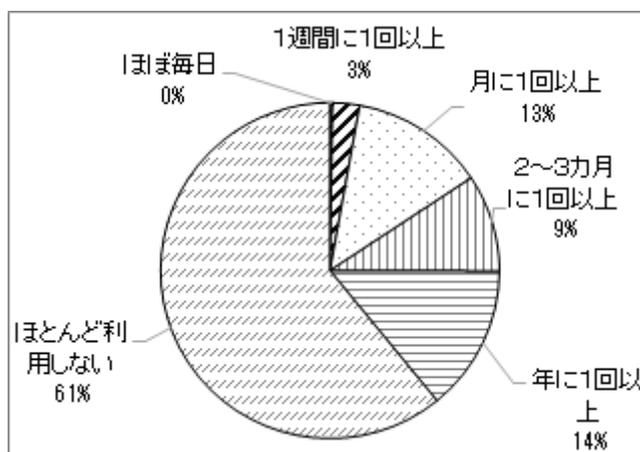
○あなたは、本をどれくらいの頻度で読みますか。

「1週間に1冊以上」や「月に1冊以上」「2～3か月に1冊以上」と244件57%の方が読書に親しんでいる一方で、「ほとんど読まない」が129件「全く読まない」も54件と多く、43%の割合となっており、社会の様々な要因による読書活動の低下が感じられる。



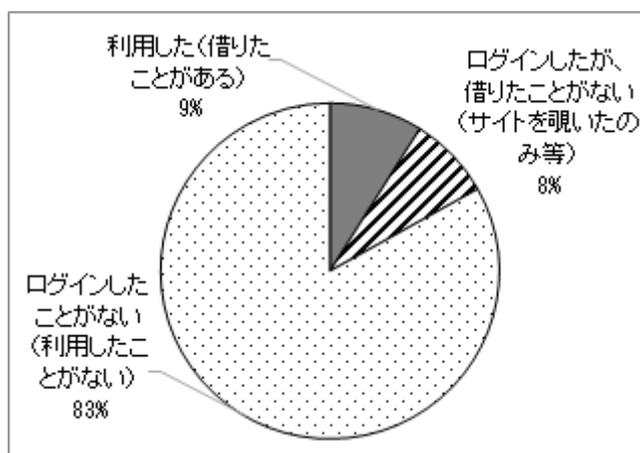
○あなたは、村立図書館をどれくらいの頻度で利用しますか。

前問において読書活動の低下が感じられたが、それと並行して、村立図書館の利用についても「ほとんどない」と回答する方が、260人と多く61%の割合となっている。一方で、図書館の利用については、39%の割合となっている。



○読谷村電子図書館を利用した（電子書籍を借りた）ことはありますか。

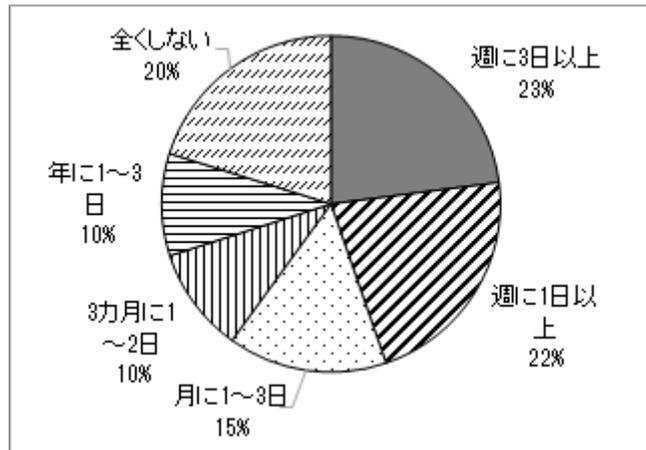
本調査において「はい」、「利用した（借りた）ことがある」、「ログインしたが（サイトを覗いたのみ）借りたことはない」と回答した方は17%となっているが、「いいえ」、「ログインしたことがない」と回答した方が83%となっており、利用が少ない状況にある。電子図書館サービスの内容・利用方法などの広報活動、魅力ある資料の確保に力を入れる必要があると感じられる。



<スポーツ活動に関する意識について>

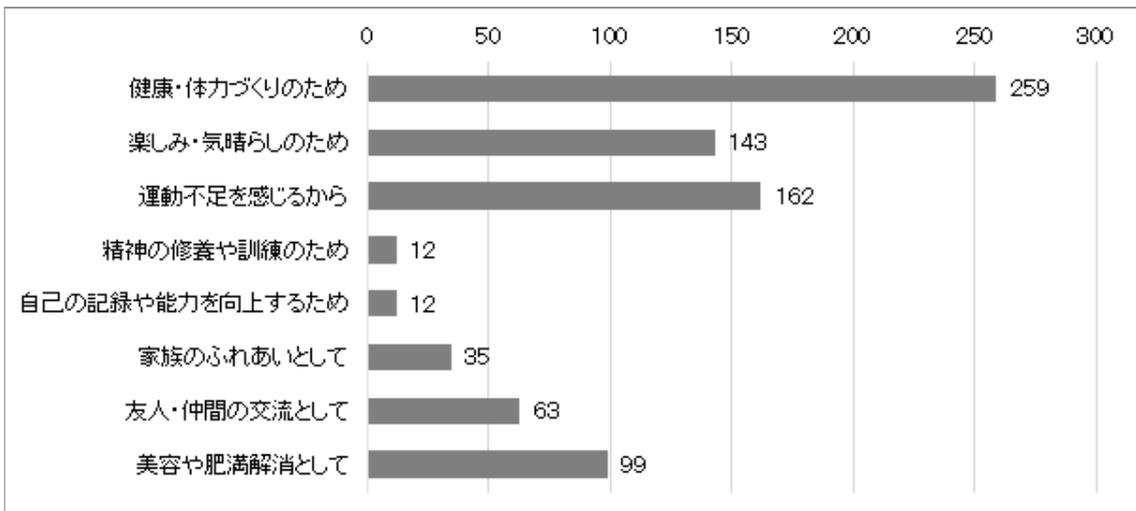
○あなたは、どのくらいの頻度で運動を行いますか。

全体的に運動を行っている方が多いが、「全くしてない」と回答した方も 86 件 (20%) いた。また、「週に 3 日以上」が 23% で最も多く、次いで「週に 1 日以上」が 22%、「月に 1~3 日」15%、「3 ヶ月に 1~2 日」10%、「年に 1~3 日」10%、「全く運動していない」20% で総合的に運動している人は、80% となり、運動している傾向にある。



○あなたが、スポーツをしたのはどんな理由からですか (3つまで選択可)

「健康・体力づくり」が 259 人で最も多く、次いで「運動不足を感じているから」が 162 人、「楽しみ・気晴らしのため」が 143 人、「美容や肥満解消として」99 人と続く。複数回答ではあるが、村民の健康・体力づくりに意識は、高いと言える。

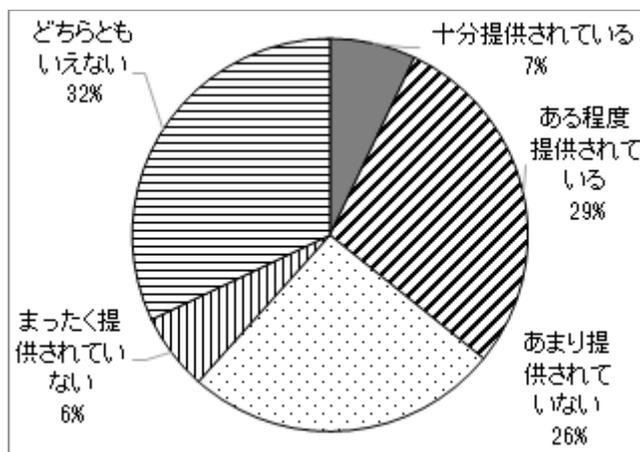


<スポーツ大会や教室開催について>

○あなたは、村が開催しているスポーツを楽しむ為の大会や教室の開催数をどのように感じますか。

スポーツに大会や教室については、「どちらとも言えない」が 32%で最も多く、次いで「ある程度提供されている」が 29%、「あまり提供されていない」26%、「十分提供されている」7%、「まったく提供されていない」6%となっている。

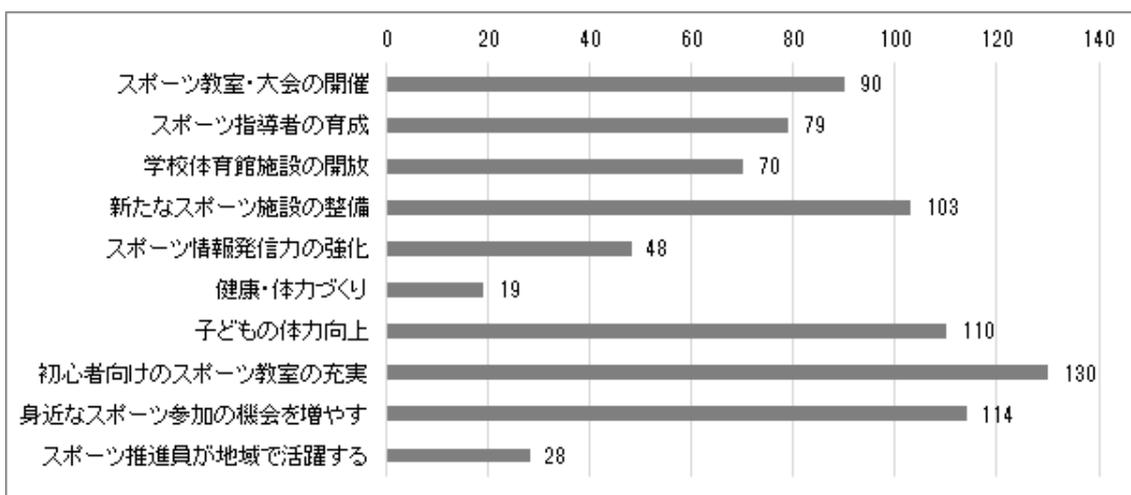
本村はこれまで読谷村体育協会をはじめ、多くの屋内外のスポーツ大会を実施してきている。その他、小学生陸上競技大会やウォーキング大会、中学生のソフトボール大会、小学生駅伝大会、トリムマラソン大会と実施してきたが、ここ数年は、コロナ禍で大会や教室が一部中止となっており、そのような結果となったと考える。



<スポーツの推進について>

○あなたは、村のスポーツ推進のために、今後どのようなことに力を入れるべきだと思いますか（3つまで選択可）

「初心者向けのスポーツ教室の充実」が 130 人で最も多く、次いで「身近なスポーツ参加の機会を増やす」が 114 人、「子どもの体力向上」が 110 人、「新たなスポーツ施設の整備」が 103 人と続く。



## 2. 社会教育関係団体合同研修会（ワークショップ）

### （1）事業の趣旨・目的

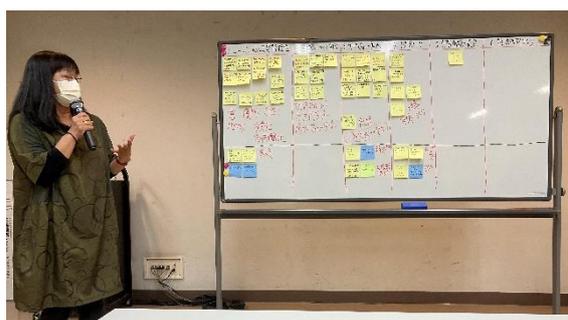
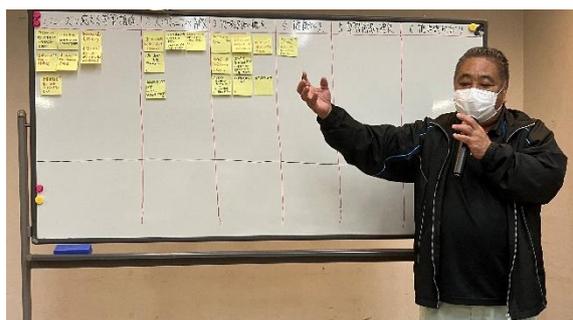
村内社会教育関係団体の役員が一同に会し、これからの互いの連携・協力を目的に合同研修会を開催する。

### （2）ワークショップ概要

日 時	令和4年6月16日（木）18：30～20：00
会 場	文化センター講座室 A
対象者	読谷村婦人会・読谷村PTA連合会・読谷村子ども会育成連絡協議会・読谷村青年団協議会・社会教育委員・読谷村公民館連絡協議会・読谷村教育委員会職員
参加者	22名
テーマ	社会教育団体にできること ～地域学校協働推進事業にどうかかわるか～
内 容	これまで、各々の組織の課題について話合ってきた。今後、課題解決に取り組む為、学校との連携（地域学校協働推進事業）を手段に加えながら取り組む方法を模索する。 ◎事例発表2例を前段で発表 ①不登校支援の事例 地域企業支援 学校支援ボランティア（地域人材活躍） 地域学校協働活動推進事業推進員 知花喜子さん ②地域のボランティア活動「南風の会」 南小学校区花壇整備児童館との関り 社会教育委員 比嘉恵子さん
講 師	嘉納英明氏（名桜大学 教授）
ワークショップ まとめ	青年会中心に・エイサーのブランド化を図る。合同エイサーの実施。 PTA 自治会、婦人会・アフターコロナの行事の精選。行事の持ち方工夫（PTAと学校連携） 子ども会中心に・県内の地域との交流。学校や施設とのつながり



日 時	令和4年12月14日(水) 18:30~20:00
会 場	文化センター講座室 A
対象者	読谷村婦人会・読谷村PTA連合会・読谷村子ども会育成連絡協議会・読谷村青年団協議会・社会教育委員・読谷村公民館連絡協議会・読谷村教育委員会職員
参加者	22名
テーマ	社会教育団体活動のこれから
内 容	<p>これまで、各々の組織の課題について話し合いまとめてきた。社会教育関係団体の活動を今後、どう展開するかを話し合う。</p> <p>各組織の(担当社会教育委員含む)グループワーク</p> <p>今回の研修の目的は、生涯学習推進基本計画を策定する中で、自分達の活動に関連する事を考えることでした。方法として、事前に行われたニーズ調査(ワークショップやアンケート)抜粋を見ながら、計画の項目において、各々の活動に関連する事でないものについて意見だしを行い、講師による整理で、キーワードを全員で確認。その後、各々の活動に繋げていくために、講師から「今すぐできそうなこと」をピックアップ(1つだけピックアップ)する。</p>
講 師	嘉納英明氏(名桜大学 教授)
ワークショップ まとめ	<p>WS ででた意見→すぐできること(具体的に)</p> <p>PTA:ウォーキングしながら子ども達とゴミ拾いをする</p> <p>→ 子ども110番の家や危険な場所の確認を行う。地域の清掃を行う</p> <p>子ども会:子ども達の自転車の乗り方指導をしてほしい</p> <p>→ 夏休み期間中に嘉手納自動車学校を借用して実施する</p> <p>読公連:「地域の日(第3土曜日)」が、各地域の伝統芸能を受け継ぐ日としたい</p> <p>→ 1人1役「地域の日」の実施</p> <p>青年会:子どもエイサー体験</p> <p>→地元のエイサーを運動会で披露する</p> <p>婦人会:読谷の子どもたちに歴史や文化を知ってもらう</p> <p>→地域ガイド(平和ガイド)の活動</p> <p>読谷村に新規加入してきた方を歓迎して楽しい会をつくる</p> <p>→地域で料理教室の開催(多国籍、多文化を活かした内容で行う)</p>





### 3. ジュニアリーダー研修会（ワークショップ）

#### (1) 経過

イン・ジュニアリーダー研修参加者は、夏休みに実施した「夏のわくわく研究所」における研修として村内の小学校5・6年生及び中学校高校生を対象に募集した。

(チラシより)

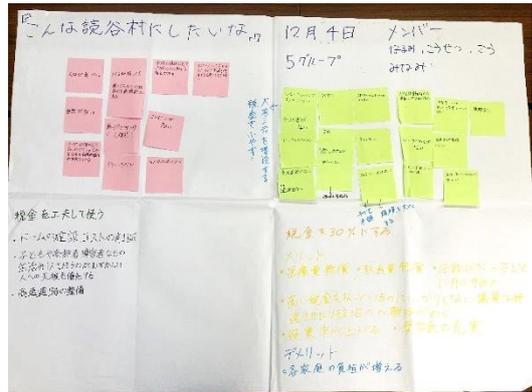
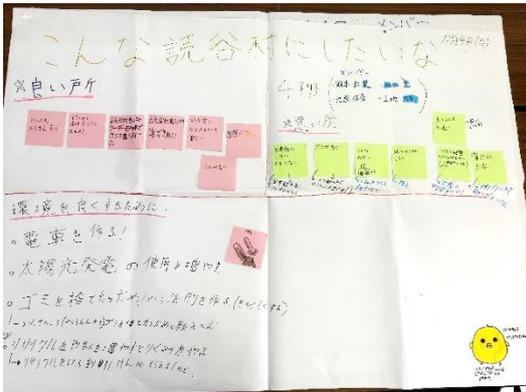
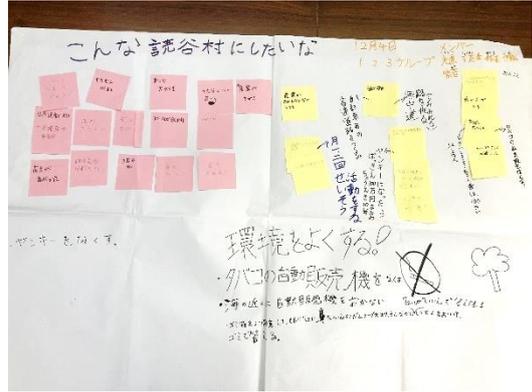
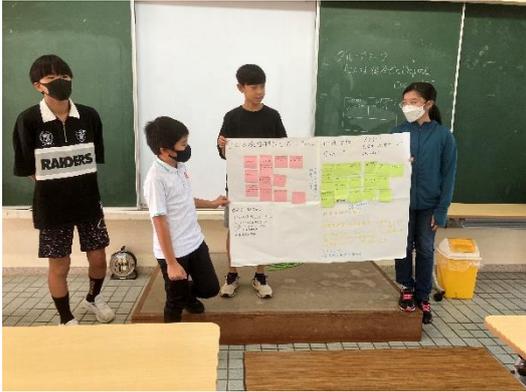
#### (2) 応募参加者

小学5年生・6年生 22名、中学生7名 合計29名

#### (3) 「こんな読谷村にしたいな」(WS)

参考資料として、以下に12/3・4(土日)玉城少年の家での宿泊研修にて実施した「こんな読谷村にしたいな」(ワークショップ)の様子を掲載する。ワークショップでは、身近なことに目を向け未来について話し合った。





## 4. 小学校区での「読谷村生涯学習のまちづくりワークショップ」での意見

### (1) 事業の趣旨・目的

新型コロナウイルス感染症により、地域社会での人のつながりも大きく変化した。一人ひとりが人生をよりよく生きるために、地域社会とのつながりは欠かせないものである。つながり方を考えることを通して、村民が主体となる生涯学習（社会教育）の在り方を考え、アフターコロナでの新しい社会のつながりや活動の仕方を構築する機会とする。読谷村生涯学習推進計画策定にむけた村民ニーズ調査としてワークショップを行う。

### (2) ワークショップ概要

校 区	喜名小学校区	会 場	喜名小学校 家庭科教室
日 時	2022年11月15日（火）19:00-21:00	参加者	20名
			
校 区	読谷小学校区	会 場	読谷小学校 多目的広場
日 時	2022年11月21日（月）19:00-21:00	参加者	19名
			
校 区	渡慶次小学校区	会 場	渡慶次小学校 多目的教室
日 時	2022年11月25日（金）19:00-21:00	参加者	22名
			

校 区	古堅小学校区	会 場	古堅小学校 多目的教室
日 時	2022年11月29日(火) 19:00-21:00	参加者	18名



校 区	古堅南小学校区	会 場	古堅中学校 地域連携室 3F
日 時	2022年12月2日(金) 19:00-21:00	参加者	17名



### (3) ワークショップ結果

#### 1) 「学びの機会」の特徴

各校区・各グループでの付箋紙に書かれた情報から、各年代における「学びの機会」を整理した。

#### ○年代別特徴

	「学びの機会」の特徴
0～10歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会での出産祝いや公民館活動・地域行事への参加を通じた機会</li> <li>・野球・サッカーなどのスポーツを通じた機会</li> <li>・そろばん・ピアノ・公文・水泳などのお稽古事を通じた機会</li> <li>・ラジオ体操などの機会</li> <li>・地域の自然や生き物に触れる機会</li> <li>・多(他)世代との交流を通じた機会</li> <li>・校区によっては、子どもの居場所や伝統芸能、防災の取り組みを通じた機会なども見られる</li> </ul>
10代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漁業や酪農業などの体験を通じた機会</li> <li>・防災訓練や防災に関する特別授業などを通じた機会</li> <li>・父兄による読み聞かせや部活動の指導などを通じた機会</li> <li>・空手、棒術、陸上、バスケットボールなどのスポーツを通じた機会</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域独自のお祭り（読谷まつり、古堅っ子まつり、読子連まつり）を通じた機会</li> <li>・公民館での上り口説や獅子舞などの伝統芸能を通じた機会</li> <li>・校区によっては、名所での発表会やペットとのふれあい、環境保護活動などを通じた機会もみられる</li> </ul>
20代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青年会による清掃活動やエイサー活動などを通じた機会</li> <li>・ソフトボールやモルック、サッカーなどのスポーツを通じた機会</li> <li>・比謝川の浄化やビーチクリーン、ウミガメの産卵保護など、地域の環境保護活動を通じた機会</li> <li>・校区によっては無料塾への支援や認知症の学び、図書館でのブックスタートなどを通じた機会もみられる</li> </ul>
30代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・父兄による読み聞かせやスポーツ指導、美化活動などを通じた機会</li> <li>・青年会によるエイサー、三線指導、角力大会の開催を通じた機会</li> <li>・イベントでのバルーンアートや、伴走など、ボランティア活動を通じた機会</li> <li>・地元の漁港で獲れる魚や、畑でのマンゴー収穫などの地産品を通じた機会</li> <li>・子育ての相談などで支援センターの利用を通じた機会</li> <li>・校区によっては、留学生の受け入れをする家庭や、障がい者施設の利用者との交流を通じた機会もみられる</li> </ul>
40代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料塾への支援や公民館でのフードバンクなど、ボランティア活動を通じた機会</li> <li>・学校の先生方や父兄、地域の方による交通安全指導を通じた機会</li> <li>・棒術やバスケットボール、サッカーや野球（社会のルールなども）などのスポーツ指導を通じた機会</li> <li>・ラジオや SNS を使った地域の情報発信を通じた機会</li> <li>・校区によっては地元企業によるボランティア活動（小学校のグラウンド整備）や、公民館での病を持つ方との交流、スポーツ観戦などを通じた機会もみられる</li> </ul>
50代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婦人会による地域の花壇の整備など、美化活動を通じた機会</li> <li>・単身世帯や子どもの居場所の見守りを通じた機会</li> <li>・婦人会による魚の捌き方、食生活の改善についての勉強会を通じた機会</li> <li>・ウォーキングやソフトボールなど、スポーツを通じた機会</li> <li>・方言、三線、琉舞、組踊りなどの伝統芸能を通じた機会</li> <li>・校区によっては慰霊の日にコンサートを行う平和学習を通じた機会もみられる</li> </ul>
60代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・婦人会による地域の花壇の整備など、美化活動や清掃活動を通じた機会</li> <li>・婦人会による体操やフラダンスなどのサークル活動を通じた機会</li> <li>・交通安全指導や防犯指導、子ども 110 番の家の周知など、子どもの見守り活動を通じた機会</li> <li>・読谷山花織や琉歌、紙芝居や組踊りなど、伝統的な文化芸能を通じた機会</li> <li>・プール監視などの学校支援や、地域のトイレ清掃、伴走などのボランティア活動を通じた機会</li> <li>・公園での虫取りなど、孫世代との交流による機会</li> <li>・校区によっては比謝川の浄化など、環境保護活動を通じた機会や、公民館でのデイケアサービスを通じた機会もみられる</li> </ul>

70代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人会や農業同好会の方々による清掃活動を通じた機会</li> <li>・公民館でのレクや体操、琉舞やヨガなどのサークル活動を通じた機会</li> <li>・ソフトボールやウォーキング、パークゴルフカラオケなどのスポーツを通じた機会</li> <li>・校区によっては防犯のためのスマホ勉強や、地域の方による昔遊び指導、保育園児に芋ほり体験の提供を通じた機会などがみられる</li> </ul>
80歳～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館での卓球や将棋など、デイケアサービスを通じた機会</li> <li>・小学生との伝統芸能を通じた交流による機会</li> <li>・校区によってはトリステーションがあるため基地問題を考える機会などもみられる</li> </ul>

### ○小学校区別特徴

	「学びの機会」の特徴
喜名小学校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・喜名番所では青年会による清掃活動や、婦人会による美化活動がおこなわれており、短歌や書道などの子どもたちの作品の発表会が行われている</li> <li>・自治会では出生祝いが行われる</li> </ul>
読谷小学校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都屋漁港での釣りや定置網をつかった漁体験、グラスボートもありSNSで地域の情報発信がされている</li> <li>・婦人会や老人会が環境美化活動をしているセーラー森は、青年会の活動や地域の防災訓練にも使われている</li> <li>・読谷救護園の利用者と陶芸を通し交流の機会がある</li> </ul>
渡慶次小学校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モルックやバルーンアート、保育園でのカイコの糸取り体験など、多種多様な珍しい取り組みがある</li> </ul>
古堅小学校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・トリステーション（米軍基地）の存在や、ユーバンタでは慰霊の日にコンサートが行われるなど、平和について考える機会がある</li> </ul>
古堅南小学校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比謝川の浄化や渡具知ビーチの清掃など、環境保護活動が行われている</li> </ul>

## 2) 「今後必要なこと」の特徴

各校区・各グループでの付箋紙に書かれた情報から、各年代における「今後必要なこと」を整理した。

### ○年代別特徴

	「今後必要なこと」の特徴
0～10歳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備遊具のある公園などの幼児の遊び場や、スケートボード場</li> <li>・公民館での活動を通じた世代間交流ができる機会</li> <li>・通学システムの充実や、災害につよいまちづくり</li> <li>・自治会や子ども会の加入者</li> <li>・アーサの養殖などを通じ海と触れ合う機会</li> <li>・ママや子どもの居場所</li> <li>・通学路の整備</li> </ul>
10代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケートボード場やバスケットコート、遊具のある公園など、子どもが遊べる場所</li> <li>・共働き世帯の子どもや不登校児童を見守る、安心して過ごせる子どもの居場所</li> <li>・エイサーや方言など、伝統の継承</li> <li>・異年齢が交流できる場所やイベント</li> <li>・ライフステージについてやお金（金融・税金）について、またLGBTQへの理解や当事者に話を聞く機会を求める意見もみられた。地域と企業と学生が協力して学ぶ場があればというアイデアも出された</li> <li>・FreeWi-Fiスポット</li> <li>・校区によっては芸術活動（音楽・絵）ができる場や、児童館、クラブチーム、農業体験を求める意見もみられる</li> </ul>
20代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽スタジオやeスポーツができる施設</li> <li>・スケートボード場や水遊び、花火ができる自由な遊び場</li> <li>・各団体（青年会・子ども会・婦人会）の加入者と役員</li> <li>・エイサーや組踊り、方言などの伝統の継承</li> <li>・子育てコミュニティの他、ひきこもりなど生きづらさを抱えた人のコミュニティ</li> <li>・困窮世帯だけではなく誰もが利用できる地域食堂</li> <li>・「生きること」の目的を考える機会や、職業、税金のしくみ、認知症予防の勉強会、キャリア教育を求める意見がみられた。また村公認の検定試験などのアイデアも出された</li> <li>・校区によっては、区の修繕チームや離島からのイベントゲストの招待、レクリエーションのプロディーサー、SNSでの地域の情報発信を求める意見もみられる</li> </ul>
30代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスケットリングやスケートボード場、壁打ち場、地域の公園など</li> <li>・コンサート場や芸術活動ができる場所、公共施設の開放など</li> <li>・移住者との交流の場</li> <li>・子育てセミナーや協力して子育てできる環境づくり</li> <li>・各団体（子ども会、青年会、婦人会、老人会）の存続</li> <li>・伝統芸能の継承（動画保存のアイデアも）</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体の加入者や役員、スポーツ指導者などの担い手不足がある。コーチ料や各種会費の村負担を求める意見も出された</li> <li>・料理、習字、ミシン、草刈り講座や、農業体験、星空観察会など</li> <li>・地域の歴史についてやうちな一ぐち講習会、福祉講座や食の汚染についての勉強会を求める意見もあった</li> <li>・校区によっては災害弱者の把握や防災組織の結成、地域の声が届く意見箱の設置や地域誌のデータベース化を求める意見も出されました。各バス停に調べものができるタッチパネルの設置や、SNS で共有できる拝所の清掃カレンダーをというアイデアも出された</li> </ul>
40代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・打ち合わせスペースや公共施設、既存の公共施設の開放</li> <li>・多世代間が交流できる場</li> <li>・相互理解を深め助け合えるご近所づきあい</li> <li>・各団体の加入者、役員、またスポーツ指導者や学習・教育支援者</li> <li>・マンネリ化したお祭りの活性化、海を活用したイベントやボードゲーム大会</li> <li>・方言、手話、農業を学ぶ場のほか、地域の歴史文化を学ぶ機会を求める意見も出されました。アクティブラーニングの導入や村や区公認の資格を設けるなどのアイデアも出された</li> <li>・校区によって災害弱者の把握や防災訓練の実施、公民館業務のIT化やエンターテイメントを作る環境などを求める意見も出された</li> </ul>
50代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大人も子どもも学べる寺子屋や子ども食堂</li> <li>・座喜味～長浜間の村道</li> <li>・地域のリーダーや、婦人会、自治会の加入者</li> <li>・定年退職者が活躍できる場や、世代間で交流できる機会</li> <li>・生け花や料理、ペーパークラフトや手芸などの趣味を広げる機会</li> <li>・歴史の学びや年配の方にお話しを聞く機会</li> <li>・金融の知識やメンタルトレーニング、IT 知識や環境問題について学ぶ機会を求める意見がみられた。また、在宅看取りを学びそれを実現するという意見も出された</li> <li>・校区によっては走る人を応援する会やわかりやすい情報発信を求める意見も出された</li> </ul>
60代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひぎに優しいウォーキング場</li> <li>・デイサービスのボランティアや運営者</li> <li>・昔遊びを教える場や、世代間交流ができる場</li> <li>・年代ごとの行事や文化講演</li> <li>・地域の歴史や食文化を学ぶ機会、得意な事を教えあう知識のトレードの試みについてアイデアが出された</li> <li>・校区によっては、自治会へのクレームが多いため対応する施設を作ってほしいという意見や、シニア世代が働ける環境づくり、学びの場についてわかりやすい情報発信を求める意見もみられた</li> </ul>
70代	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バス送迎付きの運動場や区運営の老人ホーム</li> <li>・ウォーキンググループや高齢者合唱団、老人会の会員</li> <li>・保育園児や村外の人との交流の場</li> <li>・体操教室や IT 知識を得る機会、自分史を動画にするというアイデアも出された</li> <li>・昔遊びを教える機会と紙芝居の継承</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆんたく朝市の継続や、公民館での映写会、趣味を活かせる場</li> <li>・校区によっては、民生員を養成する人材や、地域の名人を発掘するというアイデアも出された</li> </ul>
80歳～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人が集まりやすい施設や通学路の整備</li> <li>・多世代が交流できる場所</li> <li>・費用のかからない教育や、子どもの頃からのリーダ教育</li> <li>・趣味を披露する展覧会や、公民館・子ども会のイベント、自治会での食事会</li> <li>・平和学習、戦争体験を語り継いでいくこと</li> </ul>

○小学校区別特徴

	「今後必要なこと」の特徴
喜名小学校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体の存続、継承の必要性を求めている</li> </ul>
読谷小学校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅看取りの学びをすすめ、その実現を求める意見が出された</li> </ul>
渡慶次小学校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渡慶次地区にはない児童館や、座喜味～長浜間の村道を求める意見などがあり、地域活動のインフラ部分に支援を必要としている</li> </ul>
古堅小学校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合型スポーツクラブやエンタメ施設の他、民生員を養成する人材やキャリア教育の必要性、多世代が交流できるイベントなど、各世代で求めるものが異なり必要なもの（こと）が多岐にわたる</li> </ul>
古堅南小学校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害につよいまちづくりや食の安全についての学びを求める意見など、防犯、防災、環境保護の意識が高い事がうかがえる</li> </ul>

### 3) 施策体系別のワークショップの声の整理

過年度計画の施策体系の項目別にワークショップでの声を整理した。

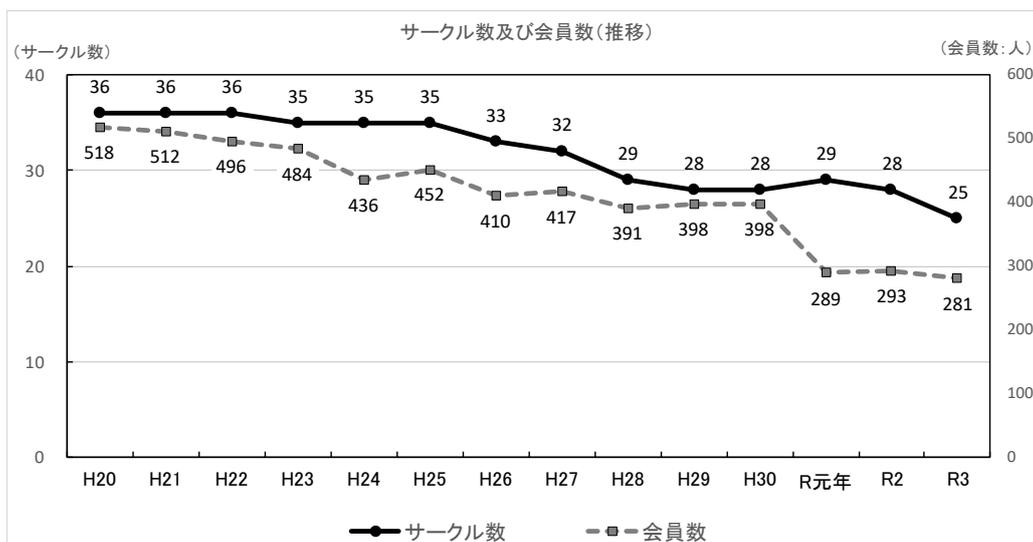
			ワークショップの声から	
1. ニーズ に対する 学習推進	1) テーマ 学習の推 進	(1) 平和学 習の推進	【今ある学び】 P48 平和学習を通じた機会、P50 校区によって慰霊の日平和コンサート等平和学習の取り組み、P50 校区によってトリステーションによる基地問題を考える機会 【今後必要なこと】 P54 平和教育、P57 平和を語り継ぐこと	
		(2) 環境学 習の推進	【今ある学び】 P47.48 環境保護・保全活動、P50 比謝川の浄化や渡具知ビーチの清掃などの環境保護活動 【今後必要なこと】 P53 環境保護	
		(3) 団塊の 世代・高齢 者支援	【今ある学び】 P48 地域企業によるボランティア活動 【今後必要なこと】 P54 社会人向けの学びの場、うちな一口、地域歴史文化、定年退職者が活躍できる場、シニア世代の働ける環境、シニア向け防災訓練、知識トレード	
	2) サーク ル学習の 育成	ふれあい交 流館の運営 充実	【今ある学び】 P47 小学校のサークル活動、IT 機器を使った学習、P53 子育てセミナー 【今後必要なこと】 P53 LGBTQへの理解、P55 ライフステージについてやお金（金融・税金）	
		3) 地域交 流の推進	米子市子ど も会交流支 援	【今ある学び】 P47 子ども会活動 【今後必要なこと】 P54 小学校からのリーダー教育
		2. 人とコ ミュニテ ィの育成	1) 次世代 の育成	(1) 地域子 ども広場
(2) 青少年 の育成	【今ある学び】 P47 清掃活動、スポーツ活動、子ども会活動、地域行事、PTA活動、P50 校区によっては無料塾の支援 【今後必要なこと】 P54 看取り、メンタルトレーニング			
2) 地域・ 団体活動 の育成	(1) 地域公 民館学習の 推進		【今ある学び】 P47/48 防災（訓練）活動、伝統芸能継承、 P50 自治会での出産祝いや公民館行事、ラジオ体操 【今後必要なこと】 P54 寺子屋運動、地域愛の育み、公民館業務のIT化、P53 地域食堂、公民館での映写会、区の各所を修繕するチーム結成	
	(2) 各種団 体の学習支 援		【今ある学び】 P47 青年会による伝統芸能継承、清掃活動、 P50 三線・エイサー指導、子育て支援センターでの活動、婦人会による地域の花壇整備、美化活動・魚のさばき方食生活の改善の勉強会・体操やフラダンス等のサークル活動、老人会の清掃活動 【今後必要なこと】 P53 伝統芸能の継承、P54 地域運営の老人ホーム、団体活動のPR	

3. 地域文化の継承と発展	1) 地域文化の育成	(1) 文化センターの運営充実	【今ある学び】 多世代交流の場、P48 文化センターの利用 【今後必要なこと】 P53 多世代が交流できるイベント、P54 自分史を映像にまとめる
		(2) 民俗芸能祭の推進	【今ある学び】 【今後必要なこと】 P53 組踊の継承、P54 伝統芸能祭、文化発表、民話紙芝居の継承
	2) ヤチムン文化の普及	陶芸研修所の運営充実	【今ある学び】 P47 障がい施設での陶芸を通した利用者交流 【今後必要なこと】
4. 心と身体健康づくり	1) 健康づくりの奨励	ウォーキングの普及	【今ある学び】 多世代交流の場、スポーツ活動、P47 理学療法士による介護予防 【今後必要なこと】 P54 ひぎに優しいウォーキング、ウィーキンググループ、歴史散策ウォーキング
	2) スポーツの振興	各種スポーツの奨励	【今ある学び】 スポーツ活動 【今後必要なこと】 P53 クラブチーム、P54 スポーツ指導者、施設の整備
5. 学習情報の提供	1) 地域が育てる図書館	(1) 地域支援型の図書館の確立	【今ある学び】 多世代交流の場 【今後必要なこと】 P53 SNSで地域の情報発信、拝所の清掃カレンダー、地域誌のデータベース
		(2) 図書館活動の充実	【今ある学び】 読み聞かせ、ブックスタートや読み聞かせ、図書館利用活動 【今後必要なこと】 P54 読書の習慣
	2) 情報ネットワーク	学校図書館との連携	【今ある学び】 【今後必要なこと】 P54 読書の習慣
6. 生涯学習推進体制づくり	1) 総合的推進	連携・分担による推進	【今ある学び】 多世代交流の場、伝統芸能の継承、防災訓練、ボランティア活動、環境保全、公民館利用を通じた学び 【今後必要なこと】 P53 施設の活用、P54 マンパワー
	2) 協働による推進	学習・指導の循環	【今ある学び】 地域行事、公民館・PTA・青年会、婦人会・子育てサークル・老人会活動、IT機器を使った学習、環境、伝統継承、ボランティア活動 【今後必要なこと】 P54 地域に根ざした活動、地域愛の育み、地域リーダー、P55 フリーWi-Fiスポット

## 5. 生涯学習に関連する基礎データ等の整理

### (1) サークル活動の状況

#### ■読谷村ふれあい交流館 登録サークル数・会員数の推移



#### ■読谷村ふれあい交流館 令和3年度 サークル一覧

NO	サークル	活動日	時間	場所
1	PC9月会(パソコン)	月	10:00~12:00	視聴覚室
2	ゆうなの会(太極拳)	月	14:00~16:00	リハーサル室
3	読谷村二胡同好会	月	19:00~21:00	講座室B
4	正絃会(三線)	月	19:30~21:30	講座室B
5	ダンススポーツサークル読谷	月	19:30~21:30	中ホール
6	万年青の会(ペン字)	水	10:00~11:30	講座室B
7	楽々アート(絵画)	水	10:00~12:00	工作実習室
8	大正琴 キーハーブ読谷	水	14:00~16:00	講座室C
9	彩の会(日本舞踊)	水	19:00~21:00	リハーサル室
10	アナログゲームサークル	隔週水	19:00~21:00	工作実習室
11	混声合唱団「よみたん」	水	19:30~21:00	中ホール
12	絃楽会(三線)	水	19:30~21:30	2階和室
13	PC風(パソコン)	木	10:00~12:00	視聴覚室
14	琉球箏曲サークル	木	10:00~12:00	楽屋和室
15	童謡健康サークル鳳合笑団	木	13:30~15:00	リハーサル室
16	PHOTOよみたん	第1木	19:00~21:00	視聴覚室
17	真美健康体操サークル	木	19:00~21:00	リハーサル室
18	オカリナサークル ブルースカイ	木	19:00~21:00	講座室C
19	読谷レクリエーションクラブ クラフト部	第1・3木	19:30~21:30	工作実習室
20	着付けサークル装いの会	第1・3木	20:00~21:50	2階和室
21	いち期会(習字)	金	10:00~12:00	講座室B
22	和紙ちぎり絵サークル「華」	第2・4金	19:00~21:00	講座室C
23	メレフラダンスサークル(フラダンス)	土	19:00~21:00	リハーサル室
24	読谷短歌会	第2日	10:00~12:00	講座室B
25	サークル陶心会	金	19:00~21:00	陶芸研修所

### (2) サークル活動の状況

関連各課が行っている講座・教室等についての実施状況調査票を配布し、講座名や開催場所、開催目的、開催状況等を確認した。それらの内容について次ページ以降に整理する。

【生涯学習課（生涯学習係）】

No.	講座名・研修名	開催場所	目的	分野 ※1	対象者 ※2	定員	開催状況（開催の有無や、コロナ対策の内容等）	備考
1	自転車の安全な乗り方教室	カデナ自動車学校	交通法規変更「ヘルメット着用」を啓発活動する為、親子で安全な自転車の乗り方を学んだ	②⑥	④	20組	応募は9組22名。嘉手納警察署、カデナ自動車学校、嘉手納地区交通安全協会もご協力いただきました。目的は達成できた。もっと、地域に啓発できる取組みを継続していきたい	夏休み企画「わくわく研究所」
2	鳳バスで村内めぐりツアー	読谷村内 ①北ルート ②南ルート	夏休みに鳳バスに乗り、村内をめぐってみよう	②	④	各ルート 5組	応募が多く毎回、20名近く参加者がいた。初めて鳳バスに乗る子もいた。自由研究を行っている児童もいた。バスガイド人材を今後も活躍してもらう取組として発展させてみたい	夏休み企画「わくわく研究所」
3	情報教育 (青少年健全育成協議会)	中ホール	子ども達が情報と上手につきながるよう、大人の皆さんが知っておくことを学ぶ	⑥	②	なし	50名参加。青少年健全育成協議会大会内で開催した。フィルタリング等技術的な事も含め、基本的な事を抑えて、子どもを守る為の学習を行うことができた。今後も継続的に行う	
4	社会教育関係団体合同研修	講座室	活動における課題解決に向けたテーマで学ぶ	⑥	②	なし	前期は、青年会の事例発表をもとに地域活動について学習を行った。後期は、これから行うが、生涯学習推進計画策定に関連することを、これまでも関わっていただいている嘉納実明（名桜大）先生にご講義を受ける	
5	社会教育委託学級	村内	企画計画書をもって、各団体が5回の講座を実施する	①②③	②④	各々設定	各団体の計画で、テーマや講師等で行う。主に、環境学習や子育て等の内容がある。	今年度は、読小PTAが受託
6	みんなを守れ防災の知恵で困難を乗り切ろう	図書館	防災を考えるきっかけとする	②⑥	④	4組	4組。防災と共に、災害が起きたときの行動について、考えることができた。段ボールを使ってスリッパや簡易トイレなども作ってみた。火を使わないご飯の炊き方も行った	役場総務課防災係との連携
7	よみだん星空観察	文化センター	夏の夜空を眺めてみよう	②	④	5組	4組。星空ソムリエの講師をお招きし、文化センター中庭で芝生に寝転がり星空を眺めてみた。	
8	子どもでババママ必見！心と体のリフレッシュタイム	社会福祉協議会	ヨガとアロマでリフレッシュする	②	②	8組	子育て中の方々がリフレッシュする機会となった。体を動かしながら、知り合いをつくる機会となった	
9	「思春期」と向き合う色彩心理	中ホール	色のイメージをどのように感じ心に影響を受けているか、心理学的に説明する	②	②	50名	子育ての悩みなどに向き合う際にヒントとなる講座であった	
10	Yomitan majimun naight	文化センター和室	沖縄の民話「マジムン」を通して、沖縄のしまくうとばや文化にふれる。	①	④	5組	5組。実際に、役場周辺をまじむん探しを行いながら、話を深めていった。魔よけの「サン」を作り、サンを手にもって探検を行った。	
11	無限の可能性を呼び起こす！脳が喜ぶ親子あそび	文化センターふれあい広場	ゴールデンエイジを知ること。子どもの頃の運動神経が発達する時期に様々な経験を行う必要性を知る	②③	④	20組	5組。色々な運動を通して体の使い方を学ぶ。発達のおもしろくみを知り、これからの子育てに活かす。	
12	防災の日防災を学ぶ避難所運営ゲーム	文化センター中ホール	災害が起きたとき、避難所運営をどのように行うか、参加者が知恵を出し合い話し合う	⑥	②④③	30名	15名。実際に地震が起きた想定で避難所を運営する	
13	読谷の民話からみるしまくうとば講座	ミュージアム	しまくうとばを身近なものとして触れ、学ぶ	①	①②③④	10名	7名。各字に伝わる民話を知ることができた。同じ村内でも、言葉の違いも知ることができた。日常的に使える環境をつくっていいのも良いと思った	夏休み企画「わくわく研究所」
14	親子でクッキング	文化センター調理室	食生活改善がアドバイザーの講師で、身近にある食材を使って、親子で料理体験	②	④	6組	6組。鯖缶を使ったとんぶふりを作った。大好評だった。	夏休み企画「わくわく研究所」
15	オンライン講座 エシカル消費 つくる責任・つかう責任・持続	各自宅、中学校視聴覚室	身近なスーパーで行われている活動を通して、SDGsを学ぶ機会をつくる	①⑥	⑤	なし	コロナ禍から継続した学びの形として、オンライン講座を行っている。身近な事について、自宅で学ぶ機会として定着を見せってきた半面、対面を希望する方もいる。	夏休み企画「わくわく研究所」

※1：①趣味・教養 ②子育て ③健康・スポーツ ④芸術文化 ⑤職業・技術 ⑥社会教育

※2：①小中高生のみ ②成人 ③高齢者 ④親子 ⑤その他

【生涯学習課（文化センター系）】

No.	講座名・研修名	開催場所	目的	分野 ※1	対象者 ※2	定員	開催状況（開催の有無や、コロナ対策の内容等）	備考
1	しまくとぅば講座	ふれあい交流館	身体語彙など身近な教材を通して、しまくとぅばへの理解を深める	①	④	20組	コロナ前の状態で予定通り開催	
2	スマホ講座	ふれあい交流館	基礎的なスマホの使用方法を学び、デジタル活用格差を是正する。	⑤	③	15人	コロナ前の状態で予定通り開催	
3	親子工作教室	ふれあい交流館	半日ごとを用いた工作の機会を通し、発想力や想像力を育むとともに、親子での達成感を味わう機会を設ける。	⑤	④	15組	コロナ前の状態で予定通り開催	
4	親子やちむん教室	陶芸研修所	陶芸研修所の再開に伴い、やちむん作りを通して親子で地元の伝統工芸への理解を深める機会を設ける。	④	④	15組×2回	コロナ前の状態で予定通り開催	
5	ストリートダンス教室	ふれあい交流館	ジュニアフェスティバルへの出場を目標に基礎的なストリートダンスの表現技法を学ぶ。	③	①	30人	コロナ前の状態で予定通り開催	
6	サンレレ体験教室	ふれあい交流館	サンレレの演奏を習得し、趣味の幅を広げてもらうことを図る。	④	②	12人	コロナ前の状態で予定通り開催	
7	お菓子作り教室	ふれあい交流館	スイーツ作りを学び、趣味の幅を広げてもらうことを図る。	①	②④	20人	コロナ前の状態で予定通り開催	
8	初心者向けオカリナ教室	ふれあい交流館	サークル主導でオカリナの演奏を習得し、趣味の幅を広げてもらうことを図るとともに、サークルへの加入促進を狙う。	④	②	20人	コロナ前の状態で予定通り開催	
9	楽しいクラフトづくり	ふれあい交流館	郷土玩具づくりの技術を習得し、趣味の幅を広げてもらうことを図るとともに、サークルへの加入促進を狙う。	①	②	20人	コロナ前の状態で予定通り開催	
10	クラフトバンドかご作り教室	ふれあい交流館	クラフトバンドづくりの技術を習得し、趣味の幅を広げてもらうことを図る。	①	②	20人	コロナ前の状態で予定通り開催	
11	はじめての三線講座	ふれあい交流館	原稿のサークルが熟練者のみで構成されていることから、初心者を対象に三線を学ぶ機会を設ける。	④	②	20人	コロナ前の状態で予定通り開催	
12	やちむん体験講座	陶芸研修所	陶芸研修所の再開に伴い、やちむん作りを通して地元の伝統工芸への理解を深める機会を設ける。	④	②	10名×2回	コロナ前の状態で予定通り開催	

※1：①趣味・教養 ②子育て ③健康・スポーツ ④芸術文化 ⑤職業・技術 ⑥社会教育

※2：①小中高生のみ ②成人 ③高齢者 ④親子 ⑤その他

【文化振興課（村史編集係）】

No	講座名・研修名	開催場所	目的	分野 ※1	対象者 ※2	定員	開催状況（開催の有無や、コロナ対策の内容等）	備考
1	しまくとぅばの日関連講座	ユンタンザミュージアム講座室	しまくとぅばの保存、継承、普及、それらの意義を共有する。	①④⑥	②③④⑤	40名	【令和5年度実績】 開催。	9/18 しまくとぅばの日に併せて開催 講師：長浜真勇(しまくとぅば愛さずる会会長)、うむいプロジェクト(しまくとぅばの継承に取り組む任意団体) 2名、町田星羅(村史編集係職員)
2	文化の日・世界のウチナーンチュの日・世界の日関連講座	ユンタンザミュージアム講座室	沖縄内外に広がる移民の状況から沖縄の文化、社会の特徴を学び考える。	①④⑥	②③④⑤	40名	【 ” 】 開催。	10/30 世界のウチナーンチュの日、11/3 文化の日に併せて開催 講師：渡邊成雄、高桑史子(ともに東京都立大学名誉教授)
3	しまくとぅばの日関連講座	ユンタンザミュージアム講座室	しまくとぅばの保存、継承、普及、しまくとぅばに親しむ。	①④⑥	②③④⑤	22名	【令和4年度実績】 開催。幼児、児童の参加多い。	9/18 しまくとぅばの日に併せて開催。講師：宮城昭美(村史編集係職員)
4	慰霊の日関連講座	ユンタンザミュージアム講座室	読谷村における沖縄戦とその後の米軍基地化の歴史とその意味を考え、平和の尊さを確認する。	①④⑥	②③④⑤	31名 34名	【 ” 】	6/23, 26 同日開催。計 65 名参加 講師：豊田純志(村史編集係職員)
5	まなびフェスタ内「沖縄県系移民の歴史から学ぶ多文化共生」	文化センター講座室	沖縄県系移民の歴史から、現在の沖縄への海外移住者状況など多文化共生の課題などを考える。	①④⑥	②③④⑤	4名	【 ” 】 開催。	2/5 開催。講師：中田耕平(村史編集係職員)
6	まなびフェスタ内「すばや体験」	文化センターロビー	沖縄そば屋での一連の注文を想定し、そこで用いるしまくとぅばを親しみながら学ぶ。	①④⑥	②③④⑤	50名	【 ” 】 開催。	2/4 開催。講師：うむいプロジェクト 3 名。

※1：①趣味・教養 ②子育て ③健康・スポーツ ④芸術文化 ⑤職業・技術 ⑥社会教育

※2：①小中高生のみ ②成人 ③高齢者 ④親子 ⑤その他

【生涯学習課（スポーツ振興係）】

No.	講座名・研修名	開催場所	目的	分野 ※1	対象者 ※2	定員	開催状況（開催の有無や、コロナ対策の内容等）	備考
1	親子水泳教室	喜小プール	親子で水泳教室を通して心のふれあいや、泳力の向上を目指し健康的な体づくりを図る	③	④	親子20組	コロナ感染増加により中止	
2	タグラグビー教室	読谷村陸上競技場	ラグビーを通して健全な精神と身体を鍛え、団体スポーツに不可欠なチームワークを学び、協調性を養い更にスポーツの楽しさを学ぶことを目的に開催する。	③	①	読谷村内の小学1年生～6年生 40名（男女問わず）	コロナ感染増加により中止	
3	新体力測定（健康まつり）	読谷村健康増進センタースタジアム	読谷健康まつり（スポーツ大会）の一環として行う。新体力テストとおもとして、自らの体力を把握するとともに、日常生活における運動週間及び基本的な生活習慣等状況を把握し、その改善をおとして、体力・運動能力を向上させることを目的としている。	③	⑤	100名	○20歳～64歳 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、急歩、立ち幅跳び ○65歳～79歳 握力、上体起こし、長座体前屈、開眼片足立ち、10m障害物歩行、6分間歩行	
4	シニアソフトボール大会（健康まつり）	ゆんたんざんソフトボール場	読谷けんこうまつり2022（スポーツ大会）の一環として行う。ソフトボールを通して参加者の体力づくりと交流の場をつくる。	③	③	シニア：昭和37年生以前の者で構成された、村内のチーム古布：昭和29年生以前の者で構成された、村内のチーム		
5	ウォーキング大会	渡具知ビーチ	健康づくりを推進する	③	どなたでも		30名参加。スポーツ推進委員の主催事業として実施。健康づくりをウォーキングを通して行うことができた。	
6	教育長旗ソフトボール大会	男子 読谷村運動広場（A・B球場） 女子 多目的広場（A・B球場）、読谷村運動広場（C・D球場）	スポーツをおとして生徒の心身鍛練と健全育成を図り、沖縄県中学校ソフトボールの発展と技術力向上に努め、チーム相互の親睦を図ることを目的に開催する。	③	①		参加チームが30チーム余り	
7	令和4年度スポーツ指導者講習会	読谷村文化センター講座室A・B	『スポーツの教育的価値と指導者・保護者の連携について』	③⑤	②⑤	村内スポーツ指導者・体協関係者・スポーツ推進委員、小・中・高校部活指導者及び父母会等	30名参加。	

※1：①趣味・教養 ②子育て ③健康・スポーツ ④芸術文化 ⑤職業・技術 ⑥社会教育

※2：①小中高生のみ ②成人 ③高齢者 ④親子 ⑤その他

【生涯学習課（図書館係）】

No.	講座名・研修名	開催場所	目的	分野 ※1	対象者 ※2	定員	開催状況（開催の有無や、コロナ対策の内容等）	備考
1	「こどもの読書週間」子ども読書の日」関連事業	読谷村立図書館	読書活動啓発の一環として実施	①②	①④		特集・スタンプラリーによるしよりの配付等	
2	夏休み企画	読谷村立図書館	読書活動の推進及び学習支援につながることを目的に開催する	①②	①		「ぬいぐるみのおとまり会」、「図書館員体験」「～講座」等を開催	
3	「読書週間関連事業」	読谷村立図書館	読書活動啓発の一環として実施	①	①②③		雑誌付録プレゼント企画等	
4	大人のための朗読会	読谷村立図書館	文学作品を鑑賞し、今後の読書活動へ繋げる	①	②③		音楽で演出を行うなどし、朗読会を行う	
5	子どものための朗読会	読谷村立図書館	読む楽しさを広げ、きかけづくりを図る	①②	①		読み語りボランティア「読谷おはなしの会」のサークルの発表の場として経験する機会も目的とする	
6	図書館福袋本	読谷村立図書館	読書に親しむ機会作り、図書館利用の促進を図る	①	①②③		メッセージが添えられた福袋から選択してもらい貸出しを行う	
7	ブックスタート事業	乳幼児健診会場 読谷村立図書館	親子のこころの健康づくり、地域における子育て支援を図る	②	④		出生届提出時、若しくは健診会場にて引換券を配布し村立図書館にて、本を受け渡す	
8	赤ちゃんと絵本の時間	読谷村立図書館	図書館利用の促進のため	②	④		大型絵本などを用いて、読み聞かせを行う	定例行事
9	折り紙教室	読谷村立図書館	図書館利用の促進のため	①	①②③		ボランティアの講師による折り紙の講座	定例行事
10	おはなし会	読谷村立図書館	図書館利用の促進のため	①	①②③		「読谷ゆうがわの会」「読谷おはなしの会」による読み聞かせ	定例行事
11	アナログゲーム	読谷村立図書館	図書館利用の促進のため	①	①②③		ボランティアの講師によるアナログゲーム教室	定例行事

※1：①趣味・教養 ②子育て ③健康・スポーツ ④芸術文化 ⑤職業・技術 ⑥社会教育

※2：①小中高生のみ ②成人 ③高齢者 ④親子 ⑤その他

【企画課】

No.	講座名・研修名	開催場所	目的	分野 ※1	対象者 ※2	定員	開催状況（開催の有無や、コロナ対策の内容等）	備考
1	ヨミタン大学		読谷村のむらづくりの現状について共有し、むらづくりや地域づくりに必要な知識技術を学ぶ。また、学びをとおして、地域資源の掘り起こしや地域づくりに積極的に参画するリーダーの育成を図る	③⑥	②		開催の有無や、コロナ対策の内容等	

※1：①趣味・教養 ②子育て ③健康・スポーツ ④芸術文化 ⑤職業・技術 ⑥社会教育

※2：①小中高生のみ ②成人 ③高齢者 ④親子 ⑤その他

特になし  
・12月に山芋スープを実施予定

【福祉課（老人福祉係）】

No.	講座名・研修名	開催場所	目的	分野 ※1	対象者 ※2	定員	開催状況（開催の有無や、コロナ対策の内容等）	備考
1	読老連サークル 男性舞踊	総合福祉センタ ー	生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり	①④	③	特になし	R2～3年度は、コロナの流行時に休止することもあるが、R4年度からは休止することなく、感染対策をたうえで定期開催している。	S58 年結成
2	読老連サークル 女性舞踊	総合福祉センタ ー	生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり	①④	③	特になし	R2～3年度は、コロナの流行時に休止することもあるが、R4年度からは休止することなく、感染対策をたうえで定期開催している。	S57 年結成
3	読老連サークル 日舞	総合福祉センタ ー	生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり	①④	③	特になし	R2～3年度は、コロナの流行時に休止することもあるが、R4年度からは休止することなく、感染対策をたうえで定期開催している。	R5 年結成
4	読老連サークル 古典音楽	総合福祉センタ ー	生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり	①④	③	特になし	R2～3年度は、コロナの流行時に休止することもあるが、R4年度からは休止することなく、感染対策をたうえで定期開催している。	S51 年結成
5	読老連サークル 大正琴	総合福祉センタ ー	生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり	①④	③	特になし	R2～3年度は、コロナの流行時に休止することもあるが、R4年度からは休止することなく、感染対策をたうえで定期開催している。	H元 年結成
6	読老連サークル カラオケ	総合福祉センタ ー	生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり	①	③	特になし	R2～3年度は、コロナの流行時に休止することもあるが、R4年度からは休止することなく、感染対策をたうえで定期開催している。	H28 年結成
7	読老連サークル レク	総合福祉センタ ー	生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり	①	③	特になし	R2～3年度は、コロナの流行時に休止することもあるが、R4年度からは休止することなく、感染対策をたうえで定期開催している。	S59 年結成
8	読老連サークル 実用書道	老人福祉センタ ーセーラ苑	生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり	①	③	特になし	R2～3年度は、コロナの流行時に休止することもあるが、R4年度からは休止することなく、感染対策をたうえで定期開催している。	S59 年結成
9	読老連サークル リメイク	老人福祉センタ ーセーラ苑	生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり	①	③	特になし	R4年度からの新規サークルであるが、人気も高く定期開催している。	R4 年結成
10	読老連サークル 生け花	老人福祉センタ ーセーラ苑	生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり	①	③	特になし	R2～3年度は、コロナの流行時に休止することもあるが、R4年度からは休止することなく、感染対策をたうえで定期開催している。	S58 年結成
11	読老連サークル 囲碁	老人福祉センタ ーセーラ苑	生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり	①	③	特になし	R2～3年度は、コロナの流行時に休止することもあるが、R4年度からは休止することなく、感染対策をたうえで定期開催している。	H13 年結成
12	読老連サークル ゴルフ	老人福祉センタ ーセーラ苑	生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり	③	③	特になし	R2～3年度は、コロナの流行時に休止することもあるが、R4年度からは休止することなく、感染対策をたうえで定期開催している。	H12 年結成
13	読老連教室 ヨガ	老人福祉センタ ーセーラ苑	生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり	③	③	30 人程度	R3年度より、読老連の活性化と若手会員加入促進を目的に開催している。	R3 年度より開催
14	読老連教室 ストレッチ&脳トレ	老人福祉センタ ーセーラ苑	生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり	③	③	30 人程度	R3年度より、読老連の活性化と若手会員加入促進を目的に開催している。	R3 年度より開催
15	読老連教室 エンジヨイ体操	老人福祉センタ ーセーラ苑	生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり	③	③	30 人程度	R3年度より、読老連の活性化と若手会員加入促進を目的に開催している。	R3 年度より開催
16	読老連教室 筋力体操	老人福祉センタ ーセーラ苑	生きがいづくり、仲間づくり、健康づくり	③	③	30 人程度	R3年度より、読老連の活性化と若手会員加入促進を目的に開催している。	R3 年度より開催
17	ゆいまーる共生事業	各自治公民館	介護予防	その他	③	特になし	現在23カ所で開催している。R4年度はコロナの影響で一部休止したこともあったが、現在は感染対策をし、休止することなく実施している。通情の各自治会での開催（月2回）のほか、ボランティア向けの救命救急講習、レク講習、調理講習を実施している。	H元年度 喜名福寿会が立ち上り、随時各地域で立ち上がった。

※1：①趣味・教養 ②子育て ③健康・スポーツ ④芸術文化 ⑤職業・技術 ⑥社会教育

※2：①小中高生のみ ②成人 ③高齢者 ④親子 ⑤その他

## 【デジタル社会推進課（デジタル社会推進係）】

### 【生涯学習関連講座・教室の年間計画等調査票】

No.	講座名・研修名	開催場所	目的	分野 ※1	対象者 ※2	定員	開催状況（開催の有無や、コロナ対策の内容等）	備考
1	スマホ教室	役場内会議室等	主に高齢者を対象としたスマホの使い方の基礎知識を学ぶ	①	②③ ⑥社会教育	各回8名	今年度は総務省事業（令和5年度デジタル活用支援推進事業）で受託しているNTTドコモが実施。開催期間は9月～2月を予定。	

※1：①趣味・教養 ②子育て ③健康・スポーツ ④親子 ⑤職業・技術 ⑥社会教育  
 ※2：①小中高生のみ ②成人 ③高齢者

## 【こども未来課（村立保育所）】

No.	講座名・研修名	開催場所	目的	分野 ※1	対象者 ※2	定員	開催状況（開催の有無や、コロナ対策の内容等）	備考
1	陶芸教室(4.5歳児クラス)	陶芸研修所	幼児期から地域の伝統文化に触れさせ、豊かな経験をさせる。	④	⑤ ⑥社会教育	各保育所20名	・コロナ感染症の影響でここ数年は保育所で実施。	・各保育所別に実施

※1：①趣味・教養 ②子育て ③健康・スポーツ ④芸術文化 ⑤職業・技術 ⑥社会教育  
 ※2：①小中高生のみ ②成人 ③高齢者 ④親子 ⑤その他

## 【税務課】

No.	講座名・研修名	開催場所	目的	分野 ※1	対象者 ※2	定員	開催状況（開催の有無や、コロナ対策の内容等）	備考
1	租税教室	各小学校	どのような政策・財政が良いか考える視点を身に着けられるように、受益と負担はセットであることを伝えながら、税・社会保障の意義を伝える	⑥	① ⑥社会教育	学年全員	令和5年度は4小学校で開催。税務課職員全員で輪番により対応。	国税事務所からの依頼により実施

※1：①趣味・教養 ②子育て ③健康・スポーツ ④芸術文化 ⑤職業・技術 ⑥社会教育  
 ※2：①小中高生のみ ②成人 ③高齢者 ④親子 ⑤その他

## 【営農知産地笑推進課】

No.	講座名・研修名	開催場所	目的	分野 ※1	対象者 ※2	定員	開催状況（開催の有無や、コロナ対策の内容等）	備考
1	山芋スーパチャampion大会	JAおきなわ 読谷集選果場	山芋の大きさを競う取り組みを村全域に拡大することで山芋の消費拡大及び誘客により地域活性化、さらには地域間コミュニティの連携強化を図ることを目的とする。	①③⑤	②⑤ ⑥社会教育	特に無し 150名程度 (出品者)	開催状況（開催の有無や、コロナ対策の内容等） 例年クリスマス前後。令和5年度は、12月24日に開催予定 手指消毒の徹底や体調不良への参加見合わせ協力等	平成23年より開催。

※1：①趣味・教養 ②子育て ③健康・スポーツ ④芸術文化 ⑤職業・技術 ⑥社会教育  
 ※2：①小中高生のみ ②成人 ③高齢者 ④親子 ⑤その他

【生活環境課（環境衛生係）】

No.	講座名・研修名	開催場所	目的	分野 ※1	対象者 ※2	定員	開催状況（開催の有無や、コロナ対策の内容等）	備考
1	犬の飼育教室	文化センター講 座室 役場正面広場 野球場横ブルベ ン	犬の登録及び狂犬病予防注射の重要性を再確認する	①	②	20名	予定通り開催	令和3年度より開催

※1：①趣味・教養 ②子育て ③健康・スポーツ ④芸術文化 ⑤職業・技術 ⑥社会教育  
 ※2：①小中高生のみ ②成人 ③高齢者 ④親子 ⑤その他

【健康推進課（保健指導第2係）】

No.	講座名・研修名	開催場所	目的	分野 ※1	対象者 ※2	定員	開催状況（開催の有無や、コロナ対策の内容等）	備考
1	マタニティ教室（旧事業名：うが声教室）	ふれあい交流館 調理室・和室	出産に対する不安解消に努め、分娩がスムーズにできるようにする。妊婦同士の交流の場、産後の育児等の悩み等を話し合える仲間づくりの機会を提供する。 ・①妊娠中の経過、②母乳育児、③母と子の虫歯予防/お腹の中から始まる食育、④夫やパートナー・家族の役割、赤ちゃんのお風呂入れ(沐浴体験)。 ・出産予定日が同時期の妊婦・夫の交流の場となる。	②	②④	10組	令和2年度～令和4年度は、コロナ感染症対策を行いながらの開催。 ・令和2年度：5回開催、妊婦延べ31人・夫延べ11人参加。 ・令和3年度：6回開催、妊婦延べ22人・夫延べ8人参加。 ・令和4年度：3クール（1クール4回制）年12回開催、妊婦延べ100人・夫延べ23人参加。	平成9年度より開催。 旧事業うが声教室の内容は、読谷村教育関係者による「母と子の絆の大切さ」との内容で、「親にならな心構え」「母子の愛着形成の重要性」「読谷村立図書館読みかせボランティア」による読みかせの体験も実施。生涯学習課図書館係の協力により実施。図書館でのブックスタート事業の周知も図った。
2	離乳食ステップアップ教室	ふれあい交流館 調理室・和室	離乳食についての目的や具体的な調理方法を学ぶ。 ・離乳食の進め方や目安を学ぶ。 ・同月生まれの乳児をもつ保護者の交流の場となる。	②	④	20組	令和2年度～令和4年度は、コロナ感染症対策を行いながらの開催。 ・令和2～3年度は、個別予約制で実施。 ・令和2年度：5回開催、保護者延べ22人・乳児延べ13人参加。 ・令和3年度：6回開催、保護者延べ22人・乳児延べ22人参加。 ・令和4年度：集団参加制を再開実施。6回開催、保護者延べ34人・乳児延べ26人参加。	平成9年度より開催。 平成29年度までは、生後4～5か月の乳児・その保護者が対象。平成30年度より、生後7か月の乳児・その保護者へ対象を変更。離乳食の移行に伴う保護者の悩みや不安に対応する教室内容とした。

※1：①趣味・教養 ②子育て ③健康・スポーツ ④芸術文化 ⑤職業・技術 ⑥社会教育  
 ※2：①小中高生のみ ②成人 ③高齢者 ④親子 ⑤その他

【総務課（行政防災係）】

No.	講座名・研修名	開催場所	目的	分野 ※1	対象者 ※2	定員	開催状況（開催の有無や、コロナ対策の内容等）	備考
1	防災講演会	読谷村役場	大規模災害での活動体験及び防災に知見を有するものを語り部として講演会を実施し、村における災害対応力の強化や防災意識の向上を図る。	①	②③	100名	今年度は予定通り開催。 ・コロナ禍においては、オンラインでも同時開催（ハイブリッド形式）。	平成25年度より開催している事業 ※平成30年度より「総務省消防庁災害伝承10年プロジェクト」、令和5年度より「総務省消防庁防災意識向上プロジェクト」を活用して実施

※1：①趣味・教養 ②子育て ③健康・スポーツ ④芸術文化 ⑤職業・技術 ⑥社会教育  
 ※2：①小中高生のみ ②成人 ③高齢者 ④親子 ⑤その他

## 6. 読谷村子どもの読書活動推進計画策定（第4次）における子どもの読書活動に関する調査（学校司書 5小学校・2中学校）

### 質問1. 読書活動について

（良い点）これまでの取り組みの成果も含めてお聞かせください。

- ・コロナ禍の中、制限がありながら感染症対策を行いながら、子どもたちが読書離れにならないよう行事やイベントなどを工夫して取り組んできた。
- ・読書旬間・月間等でおこなった「全分類読破」や「読書ビンゴ」の企画では、子ども達へ図書館分類の意識づけと幅広い領域の本を知るチャンスとなり「今まで、自分では手にしなかった本を読むことができた」などの声が聞かれた。（前任校での取り組み）
- ・「DVDゆんたんざ むんがたい」を視聴しての感想文（最大100文字程度）記載企画では、読谷村の民話を知るチャンスとなり、企画終了時には数名ではあるが「ゆんたんざ むんがたい」の本の貸出につながった。（前任校での取り組み）
- ・コロナ禍は図書館利用を制限していたが、全面的に利用自由になり、少しずつ利用が増えて（戻って）きた。しまくとぅばの日、夏休みSML（学校図書館、ユンタンザミュージアム、村立図書館）スランプラリーなど、学校外と連携・協力することで図書館行事に幅が出て、子ども達の興味・関心が広がったと感じる。
- ・図書館クイズ・読谷村の偉人クイズ・星に願いを（七夕）・SMLスタンプラリー・読書ビンゴ（夏休み）
- ・イベント等を行うことにより、本を手にする児童が増えた。先生のおすすめ本の紹介を読む子が多くいた。
- ・5月の読書旬間。図書委員によるおすすめの本の紹介。BOOKスタンプラリー。10月は読書月間。POP作成、おすすめの本の紹介など。コロナ前は体育館にて一斉読書。よみまーる（保護者・地域の方）による読み聞かせあり。
- ・イベント等、取り組んだら、しおり、ブックカバー、マスコットがもらえる企画を行い、普段あまりかりない生徒がかりてくれた。

### （課題）

- ・朝の読書時間が確保できないなどもあり、司書教諭（又は図書館担当）、学校司書だけでは読書活動の推進には限界があると感じる。
- ・司書からの貸出へつながるアプローチは色々な形で行われているが、担任の先生の声掛け（図書館で本を借りる・読む）とは格段の違いがある。それなのに、これまで週2回ほどあった「読書」が週次程からなくなり、さらに時短が進められ各休み時間が短くなることで図書館への移動が難しい現状に子どもたちの図書館へ来る回数・時間は大幅に減っている。この現状から、最低でもクラスでの図書館利用時間には、必ず利用できるよう取り組んでいき、子どもたちに本との出会いを少しでも増やしたい。
- ・各クラスの図書館の時間以外に、子ども達の読書活動をする時間がほぼない。児童・教員共に忙しく、時間的に余裕がない。
- ・SMLスタンプラリー、古小から村立図書館は遠く、親の協力がないと難しく、積極的に勧めることができなかった。
- ・学校での読書時間の設定が減り、個人で時間をつくらないと読む時間がなく、差が広がっている。
- ・今年度（令和5年度）より週に一度の朝読書（15分）廃止。生徒は各々読書時間を確保する必要ができた。スキマ時間に読書をと、呼びかけている。
- ・図書館委員の学級でのよびかけ、放送、たより等でお知らせしているが、分からなかったという生徒がいる。この時しか借りない生徒もいる。興味を持たない子は持たない。

質問2. 現在のシステムにおいて読書指導についての課題、またシステムに望むことをご記入ください。

- ・村内の学校図書館の蔵書がシステムの検索機能でわかると便利。(児童・生徒ではなく、司書のみが検索できるような機能)
- ・教科書掲載資料や並行読書(所蔵)の検索一覧ページの常設、またそのページから広げられる資料(同著者や同件名)閲覧の設定。(現状は「新しい本」「にんきの本」の画面表示での選択は可能)
- ・図書館システムをより活用するための、学校司書への指導研修。日々、利用している学校司書でも多くの便利な図書館システム機能を知らないことに気づかされる場面が多々あるので、個々のスキルアップと村内小中学校のシステム利用格差を無くすためにもCNCのオリエンテーションを開いて欲しいです。
- ・リース切れのPCを児童用OPAC(検索機)として使用していたが、PC故障のため児童が直接PCで本を探せない状況。システム更新時の機器構成の中に、OPACも事前に組み込んで欲しい。
- ・図書館での調べ学習促進のため、館内Wi-Fiを整備して欲しい。
- ・検索した時、自分の学校と同じように、村立・他校(村内)の蔵書状況も一緒に確認できたらいいなと思います。
- ・他の市町村が行っているように、村内の学校図書館の蔵書がシステムで検索できたら、授業で利用したいけど自館にない時など便利だと思う。
- ・司書のスキルアップのためにも年に一度、システムの研修を行ってほしい。
- ・特になし

質問3. デジタル機器(タブレット等)の活用について課題、または望むことをご記入ください。

- ・学年が上がるにつれて、タブレットなどのデジタル機器の利用が増えると共に実際に本を手にする機会が減ったように感じる。
- ・これまで、図書館内のTVや電子黒板等で告知していた図書館情報(読書旬間等の内容や読書感想画表彰者の作品掲示、図書館の新刊情報や図書館だより)を今後は、子どもたちが隙間時間を利用してタブレット端末から閲覧のように動画なども加え閲覧できるように2学期から取り組みを提案中。
- ・上記とも関連するが、児童1人1台タブレットを使用できる状況なので、学校図書館の蔵書を検索(所蔵全資料検索可)できるWebOPAC、アプリなどがあると利用が広がる。館内に1台しかないOPACだと取り合いになる。
- ・司書にもタブレット端末を配布して欲しい。図書館だより、個人への返却督促など情報発信を強化したい。
- ・司書にもタブレットが配布されれば新着案内・イベント告知などしたい。
- ・タブレットで利用できるコンテンツがまだ多くなく限られている。司書にタブレットが配布されていないため、利用の際、児童が困った時に対応できない。
- ・司書へのタブレット配布なし。新刊案内やイベント内容など、図書館からの情報を発信したいので、司書もタブレットがほしい。
- ・図書館にWi-Fiがあれば本とタブレットの両方で調べることができていいのと思った。村費にはタブレットが配布されていないため(チームスのアカウントもない)村内の情報等がすぐに伝わってこない。教諭、生徒達とのスキルの差が開いていく気がする。

#### 質問4. 読書指導を行う上で今後展開できると考える事をご記入ください。

- ・授業と連携した並行読書や、ブックトークなどを通して、読書活動を幅広く展開できるよう、学級担任や図書館担当と連携した読書指導に努める。
- ・子どもたちへ学習で活用できる資料を展開するには、担任の先生へ資料を知ってもらう努力が必要と考える。各学年へ依頼する希望図書などを含めた資料と司書から提案できる資料を職員室内で移動書架を活用して設置し周知する。
- ・先生方へ図書館資料に関する著作権等の理解を深めてもらう努力（読書感想文・画資料の全文コピー後、児童のタブレット端末への配信を行っている先生がいたため、図書館資料の活用制限を周知）
- ・現在、調べ学習では書籍だけではなく、インターネットを併用するのがスタンダードである。書籍は当然必要だが、1冊を複数人で同時使用することはできない。また、本を読むことが苦手な特性のある児童には、電子書籍の読み上げ機能は有効かと思う。電子図書館の導入、または、読谷村電子図書館の利用拡大（授業使用可）も期待したい。
- ・授業の単元での並行読書のサポート。
- ・国語科の先生方とさらに協し合う。国語科の授業と読書を結ぶ。
- ・タブレット等へ、新着図書の情報を送る。

#### 質問5. 読書活動（教育）を進めるにあたり、村立図書館・新たな総合情報センターに望むこと、連携して行いたいことをご記入ください。

- ・恩納村の情報センターの観光情報フロアのような、地域のことを調べる（知る）ことができるようなものがあれば、図書館見学に訪れた際になど活用したい。
- ・読谷村の「しまくとぅばの紙芝居」制作や制作されたものを幼少中に無料配布
- ・情報センターの利用には地の利が大きいと、読谷村全域（もしくは遠隔地）の子どもたちへ放課後の居場所づくりと学習室や図書館の活用を促進するために小中学校への無料巡回バスの運行
- ・村内学校図書館と村立図書館との横断検索。システム上の横の繋がりができれば、相互貸借がしやすく、選書にも活かせる。また、児童のタブレットから、各学校と村立図書館の横断検索ができれば、児童自身で学校になれば村立図書館へ行く判断もできる。ただし、学校図書館の所蔵をネットに公開するかは検討が必要。
- ・SMLスタンプラリーのような共同イベントがしたいです。
- ・学校への団体貸出をもっと簡単な手続きでできるようにしてほしい。
- ・読谷村で出版されたものは、各小中学校へ寄贈してもらいたい。SML（学校図書館・ミュージアム・村立図書館）スタンプラリーを毎年の夏休み企画とし、読谷村の施設を活用してもらいたい。
- ・電子書籍を複数の端末で利用できたらいい。（1冊を6つのタブレットでみれるようにして、6グループで利用するとか）

## 7. 読谷村子どもの読書活動推進計画策定（第4次）における子どもの読書活動に関する調査（学校図書館司書教諭 5小学校・2中学校）

### 質問1. 学校での読書活動の取り組み状況について（目標冊数、取り組んでいること）

- ・学年に応じた目標をたて、達成した児童名を掲示物にて紹介する。  
月1回読み聞かせボランティアによる読み聞かせの実施。
- ・週時程に設定していた読書タイムをなくしたことで、年間読書冊数を大幅に低く設定することになり、低学年100冊、中学年80冊、高学年60冊で平均80冊を目標設定において無理なく取り組んでいる。休み時間、学級の指定の時間等児童は喜んで積極的な図書館利用がみられた。特に、調べ学習等では仕事のシリーズ、世界の昔話のセットなどを説明文学習や並行読書等にまとめて利用できたのが良かった。また、タブレットを利用して複数名で写真撮影し情報を取り込みシェアしながら活用できた。
- ・重点目標の中に低・中・高学年の読書指導や利用指導、目標冊数が決められておりそれぞれの学年が目標達成に向けて取り組んでいる。  
年間目標冊数 低学年⇒80冊、中学年⇒70冊、高学年⇒60冊
- ・年間目標冊数 低学年（100冊）、中学年（90冊）、高学年（80冊）  
読書週間（5月中旬）、読書旬間（9月下旬）
- ・本校では、読書活動の取り組みの一環として低・中・高に分けて目標読書冊数を設けている。低学年130冊、中学年100冊、高学年70冊
- ・年間目標冊数40冊。図書委員による取り組み（本の紹介など）
- ・年間目標冊数40冊。読書月間（標語、月4冊以上）。読書旬間（読書パズル）

### 質問2. 読書活動について

（良い点）これまでの取り組み、貴校での特色ある活動も含めて成果をお聞かせください。

- ・読書月間で、読書郵便、読書クイズなど喜んで取り組んだ。  
子ども達に色々な分類の本に興味を持ってもらうために、ビンゴに取り組んだ。
- ・読書旬間・月間等でおこなった「読書ビンゴ」の取り組みでは、子どもたちへの図書館分類の意識づけと幅広い領域の本を手にとることができて、とてもよい機会になった。図書館内の装飾や掲示物等、季節に応じた楽しいもので月ごとに子ども達が楽しみにしているのが伝わってくる。それが図書館へ向かう動機につながっているようである。夏休みに入ると、図書館司書と図書委員さんの工夫でお化け屋敷が図書館内に作られて、夏休み突入と同時にたくさん子ども達と保護者が図書館に足を運んでいた。（個人面談期間中）
- ・コロナ禍期間中は、図書館利用を制限していたが、全面的に利用自由になり、少しずつ利用する子が増えてきた。しまくとうばの日、夏休みSML（学校図書館、ユンタンザミュージアム、村立図書館）スタンプラリーなど、学校外と連携・協力することで図書館行事に幅が出て、子ども達の興味・関心が広がった。
- ・行事に合わせたイベント（七夕→星なげ、4月→村の偉人クイズなど）を行い、図書室へ足を運ぶようにする。
- ・朝の読書の時間（朝の会が始まるまでは読書して待つことや、朝の会後の活動の時間に『読書の日』を設ける。）。昼のすきま読書の時間（給食当番以外の児童は、給食準備ができるまで静かに読書して待つ）。毎週金曜日に保護者ボランティアによる読み聞かせを行っている。
- ・一斉読書
- ・図書館の時節に合った掲示物等充実しており、生徒たちが足を止めて見ている様子が見えかけた。

### (課題)

- ・子ども達がじっくりと読書をする時間の確保。
- ・子ども達に飽きられないように、毎年フレッシュな内容やイベントを考えるのが楽しいでもあり、負担にならない程度であって欲しい。
- ・各クラスの図書館の時間（週に1時間）以外に、子ども達の読書活動をする時間の捻出が難しい。給食時間や学習課題終了後などの隙間時間を活用したいが常時活動にしづらい。
- ・学級によって借し出し冊数にバラつきがある。
- ・読書活動は充実しているが、漢字の習得や文章を書くことに落ち込みが見られる。読書数が少ない？または、本は読むが物語の内容を理解していないのか？学校行事が重なったりするので、子ども達がじっくりと読書旬間・月間の取り組むことが難しい。
- ・「読まない子は読まない」こと
- ・朝読書の時間等、学校で読書に取り組む時間自体なくなっている。

### 質問3. デジタル機器（タブレット等）の活用について課題、または望むことをご記入ください。

- ・タブレットを使って同時に同じ書籍を読むことができるが、写してはいけない物を写してしまう可能性がある。
- ・授業で利用する資料活用として、現状は本の内容を写真撮影後、添付することで学習が完結している。今後は、添付した資料（参考資料）のタイトルや著者名等の記載を指導し著作権等に配慮した指導を行っていききたい。
- ・村内の図書館や県の図書館の資料が児童用タブレットでも閲覧できるようになれば、児童が今まで以上に独唱や調べ学習に取り組むことができるようになり、読書の幅も広がるのではないかと思う。
- ・学校内でも電子図書館の利用ができると、もっと読書の幅が広がったり、読書へ親しむ子が増えると思う。
- ・例えばロイロノートに本の読み聞かせを録画するとなると、著作権等の問題があるので難しい。（法律の壁があるので、充実した活動には至らない。）
- ・電子書籍の導入
- ・タブレット検索等の利点もあるが、意味調べなど辞書を活用し、紙、活字にふれる機会をとり入れたい。

### 質問4. 今後の取り組みについて（次年度以降計画していることなど）

- ・図書委員によるお勧めの本を紹介する。
- ・中高学年は「チャレンジ！全分類！」を読書月間で企画することで、さらに図書館分類を理解し、図書館利用の達人となり、低学年は「読書ゆうびん」を行うことで自分が読んだ本を紹介する楽しさや友達へ伝える喜びに繋げて欲しい。
- ・コロナ禍で取り組めなかった内容を少しずつ取り組んでいく予定である。  
1年（おすすめの本）、2年（読書クイズ）、3年（おすすめの本）、4年（しおり作り）、5年（おすすめの本）、6年（読書標語）、図書委員（読み聞かせ）など。
- ・先生方による読み聞かせをやってみたい。
- ・図書委員会や先生方による読み聞かせ。読書郵便、読書標語、読書クイズの実施。多読賞、多読学級賞を月刊又は、年間で決めて「もう一冊貸し出し券」または「しおり」をプレゼント。

- ・各教科で活用する。
- ・ビブリオバトルの実施（But、自館確保に難あり）

#### 質問5. 学校で読書教育を進めるにあたり感じる事（子どもの実態を踏まえて）

- ・読む内容（分類）に偏りがある。
- ・子ども達が文字を読む本（児童書）よりも絵本の方に流れていく傾向があり、低学年から文字からの読書に親しみ、移行させる方法を考えていかなければならない。
- ・読書に親しむ子にも個人差があるため、担任も隙間時間を見つけては、読み聞かせを行って読書に親しむように仕向けている。
- ・実態に合った本の選ばせ方。（低学年は読めないけど絵だけを見て借りる子がいる。高学年は絵本だけを借りる子が時々いる。）
- ・読書をするのみではなく、本を紹介する時間があると更なる読書教育の充実がはかれるのではないかと思う。読書活動・読書教育の行事と内容の精選。
- ・読書のための時間を確保してほしい。
- ・0読書、貸し出し1回きりの生徒がなおおり、読書への意欲喚起が難しい。

#### 質問6. 読書活動（教育）を進めるにあたり、村立図書館に望むこと

- ・学習に使用する資料が足りない場合は借してほしい。
- ・子ども向けのネット配信を充実してほしい。
- ・今回（令和5年度）のスタンプラリーのように、これからも小学校と村内の図書館が連携して取り組める行事を計画してほしい。
- ・実態は把握していないが、こちらの校区は、村立図書館と距離があるため利用が少ないと思う。そのため、イベントや行事などがある際、チラシを児童へ配布したり、行くためのバス券を配布等があればいいなと思います。
- ・団体向けDVDの貸出や平和・伝統に関するパネルの貸出。新一年生に向け？又は、ロイノートへの動画投稿等で村立図書館の紹介と絵本の読み聞かせ等の実施。又は、出前講座。
- ・村立図書館の紹介をしてほしい
- ・ビブリオバトル（読書に関する活動、中学生対象）、センターの専門職員によるデモンストレーション、意欲喚起につなげるため。

#### 質問7. 村内の小中学校図書館司書教諭の情報交換の開催を希望しますか。

はい（2件）・いいえ（4件）  
 ※はい答えた方 希望月【7月：1件、8月：1件、11月：1件】（重複アリ）

（下記、意見）

- ・中頭事務所の研修で、喜名小。古堅小と情報交換できました。
- ・学級担任と勤めながらの参加は難しいです
- ・中頭地区の研修会で情報交換ができたため

## 8. R5子ども読書アンケート 施設回答分

### (保育所・幼稚園・自治会など)

質問1 子どもの読書活動の実態について、どう認識されていますか。またその課題は何であると考えますか。

- ・保護者の就労によるゆとりのなさ
- ・園児は読めない子がほとんどなので、教師が読みきかせを行っている（家庭では保護者）。読み聞かせを行う家庭が少ない印象。
- ・園での読み聞かせでは、ほとんどの子がよく聞いていて皆、絵本が好きであると感じるが、絵本の貸出し状況は家庭によって差が大きい。読み聞かせの大切さは分かっているが忙しくてなかなか時間が作れないとする、家庭による課題があると思う。
- ・園では読み聞かせなどを毎日行っていて、絵本が好きな園児も多いが興味・関心の薄い子もいる。貸し出しなども行っているが家庭で読みきかせの時間がなかなかとれないという現状もある。
- ・読み聞かせ（読書）によって、言葉の発達、創造力、集中力が養われ、時には、動の遊びから静かな空間へのクールダウン等、コミュニケーションの場。
- ・スマホでの動画視聴が増え、絵本などを通しての親子の関りが減っている。本に触れる機会が少なくなっている。
- ・電子機器の普及が一番の問題で脳がスマホ脳になって集中力や記憶力、字を追えないなど色々な弊害が起きている。活字離れ、新聞が家にない、親が本を読まないなどの習慣として字を読むことが少ない。
- ・幼児期から両親や祖父母そして保育園等で大好きな身内や先生から絵本の読み聞かせをしてもらうことで、絵本が好きになり、小学生になった時に学校の図書館を利用している子が沢山いると思います。現在子ども達は小学生になると親のスマホやゲーム機等でゲームを使用して親もゲームをしていると静かにしているから良いと思っている所があり、でも時間の制限はしたい等からくる活字離れがあるのかな？
- ・本を読むというより、タブレットを使用している印象。
- ・PC等の活用によって、安直に結果を得られる環境の中で、自ら本等で調べ、理解する楽しみが失われていく気がする。考える、想像する部分が早急な結論を求めて現代において、一番欠けている事だと思う。
- ・親世代が電子機器（タブレット・スマートフォン等）を使用する時代となって、読書などをその機器を通して話す、あるいは視聴するようになっている。出来るだけ書物での読書、読み聞かせをする方向にしていきたい。
- ・子どもの読書活動の実態は、個人によって異なりますが、以下のような特徴が見られます。
  1. 読書の頻度：子どもたちは、学校や図書館での授業やイベントにより、定期的に本を読む機会があります。また、自宅や友達の家での自主的な読書も行われています。ただし、スマートフォンやタブレットなどの電子機器の普及により、紙の本よりもデジタルコンテンツの方が選ばれることもあります。
  2. 好みのジャンル：子どもたちは、自分の興味や関心に合ったジャンルの本を選ぶ傾向があります。例えば、冒険やファンタジー、ミステリーなどが人気です。しかし、個々の好みにはばらつきがありますので、様々なジャンルの本を 提供し選択の幅を広げることが重要です。
  3. 選ぶ基準：子どもたちは、本を選ぶ際に様々な基準を持っています。例えば、表紙やタイトル、作者、友達のおすすめなどによって選ぶことが多いです。また、子ども達は自分の興味や読みたいと思う内容に重点を置くため、教育的・啓発的な要素にはあまり関心を持ちません。
  4. 読書の目的：子どもたちが本を読む目的は、楽しむことが一番の要素です。ストーリーに没頭したり、キャラクターに共感したりすることで自己表現や想像力を豊かにすることが目指され

ます。また、楽しみながら知識を得たり、他の人と共有したりすることも重要な目的として挙げられます。

5. 応援の必要性：読書は一人で行う活動ですが、子どもたちは読書の魅力を引き出すために応援やサポートが必要です。保護者や教育者が良い本の選び方や読み方を指導することはもちろん大切ですが、読書に対するポジティブな姿勢を示し、続けることの重要性を伝えることも大切です。

子どもの読書活動は、彼らの成長や学習の一環として非常に重要な活動です。子どもたちが本を通じて感情や知識を発展させ、自己を表現し、創造力を発揮することができるような環境づくりが求められています。

- ・活字離れ（スマホ・タブレット等）の普及により、検索社会になってしまっている。
- ・ネットの普及によって自分が知りたい情報や見たい、読みたいものが足を運ばなくても、すぐ手に入る。
- ・どの様な本があるか、また、どの様な本が出版されるのか等情報を得る機会が少ない。時代の流れに左右されやすい。
- ・子どもだけでなく大人も新聞離れ読書習慣が減ってると思う。子どもの小さい頃に読み聞かせをするなどの習慣化が大事と思う。
- ・活字離れ、電子機器の普及（携帯、タブレット等）。
- ・読書好き、興味を持つ子どもも、もちろんいるが、そうでない子どもと二極化していると感じる。
- ・読書をする子どもは減っていると思うが、学校の先生方の取り組みとして、学校図書館を利用する児童生徒は一定程度いると思う。読み聞かせ等の取り組みもその一端だと思う。実態は、やはり活字離れがあり、スマホ、タブレットの普及に伴い、読書の時間は、YouTubeの視聴に変換されていると感じる。課題を挙げるのは難しいが、学校の取り組みを継続すること、図書館利用を推進することに尽きるのではないか。
- ・自治会に図書館無し。

## 質問2 子どもの読書環境の充実についてお書きください。（取り組んでいること）

- ・学級および絵本の部屋の環境コーナーづくりに取り組んでいる。視覚的に関心が持てるようにしている。親子貸し出しや読書月間を設けて貸出し数に応じて、特別な本が借りられる特典をつけるようにする取り組みを、今年度10月、1月に予定している
- ・毎日の絵本貸し出し（週末は2冊）
- ・絵本だよりの発行。先生のおすす絵本の紹介。絵本貸出し。毎日の読み聞かせ。読み聞かせサークルによる読み聞かせ。
- ・園では絵本の部屋の環境作りを工夫している。（園児が絵本を取りやすくしたり絵本に興味や関心がもてるように掲示の工夫等）絵本の精選（行事の絵本、発達、育ちに適した絵本等）
- ・園（当園）の図書（絵本等）の貸し出しを毎週水曜日に行なっている。毎日の午睡前や行事等の由来について等、その都度読み聞かせを行っている。
- ・園で毎週木曜日に絵本の貸し出を行っている。絵本コーナーだけでなく、クラスの本棚にも置いて手に取りやすくしている。
- ・読書カードを作っている。家から面白い本を持ってきてみんなに紹介など。
- ・毎日絵本の読み聞かせをしている。理由は赤ちゃんの時に親等が愛情を持ち、あやす言葉を赤ちゃんが心地よいと思い色々言葉を聞く事で潜在的言葉が沢山あると一つの言葉を理解するとそれが他の言葉と繋がり言葉の理解が広がる。
- ・目につく所に本を置く。
- ・読み聞かせ、紙芝居等で本に関わる事を増やす。

- ・公民館に図書コーナーなどを設置して、各世帯にある余った図書を活用して、図書（書物）に触れなじむようにしていきたい。
- ・2F（学習室）に辞典、文庫本をおいている。
- ・村立図書館行事表及び新着リストの掲示。
- ・図書室の開放。
- ・特に取り組みはしていない。
- ・自治会として特に無し
- ・公民館内に本を置くスペース、読書をする（学習も）スペースがある。
- ・公民館として図書館があるわけではないので特に取り組んでいることはない。

#### （課題）

- ・保護者が読み聞かせをする時間に余裕がない。
- ・園児の中には絵本貸りてくるな…って言われる等せつない声も聞かれる。
- ・絵本の部屋としての単独の部屋ではない為、ややせまく、絵本が多くおけない。
- ・読書（絵本）に全く興味のない園児（保護者）への促し。
- ・年長が字を追えないなどの問題が起きているので、療養の先生と相談して個々の課題に取りくんでいる。
- ・三つ子の魂百までと言われていますが、幼児期に育つ言葉に絵本の読み聞かせは絵本をとおして喜怒哀楽やメルヘン（ディズニー的）を育て、良い事、悪い事の理解等聞き覚えのない言葉を理解する又特に絵本作家（色々な国の人）の意図した考えや異文化に触れる等があると思います。
- ・本に興味を持たすこと。
- ・子どもが好みそうな図書を設置したいが、現実には各家庭で要らなくなった図書のみが書庫にある。
- ・公民館内に設置する場所（図書コーナー）の確保をどうするか
- ・本を読む興味がうすれているので、設置する本の種類等の検討。
- ・子どもの来館が開館時間には少ない為、年配の方が多い。
- ・スペース。
- ・図書を置いたり管理する人員・スペースがない。
- ・自治会として特に無し
- ・平日の利用時は閉館（5時）までなので、学校帰りに立寄る児童には、時間が短いかと、感じている。

#### 質問3 子どもの読書活動推進に関することをお書きください。（取り組んでいること）

- ・絵本の読み聞かせ（大型絵本などいつもと違った雰囲気で行っている）。講師を招いてお話し会。
- ・特になし
- ・届いた4月23日（子ども読書の日）ポスターの掲示等
- ・園（当園）の図書（絵本等）の貸し出しを毎週水曜日に行なっている。毎日の午睡前や行事等の由来について等、その都度読み聞かせを行っている。

#### （課題）

- ・入園期なので幼児への意識「子ども読書の日」という名称は難しい。
- ・読書（絵本）に全く興味のない園児（保護者）への促し。

- ・子ども読書の日やファミリー読書の日というのがあることを知らなかったので、保護者にも知らせて読書に目が向くようにしていきたい。
- ・子ども読書の日等のアピールが弱い。
- ・認知度を上げる。
- ・図書を置いたり管理する人員・スペースがない。
- ・自治会として特に無し

**(今後取り組む予定があれば教えて下さい)**

- ・親子で参加するお話会（1月予定）絵本作家来園予定。
- ・4月23日の読書の日、第3日曜日のファミリー読書の日での推進。読書（読み聞かせ）に興味を持てるような読み聞かせの仕方、工夫。
- ・地域の方々や子育てで親に絵本のすばらしさの講演会をしたい、又は読谷村立図書館に企画していただきたい。
- ・知りませんでした。
- ・夏休みに公民館で借りて子どもに利用させたい。
- ・自治会として特に無し。
- ・検討します。

**質問4 子どもの読書活動を推進するにあたりどのような課題がありますか。**

- ・保護者の関心、熱量の違いがあるので個別に声かけをするように努力しているがなかなか難しい。
- ・保護者の協力。
- ・子ども達をとり巻く環境（スマホ、タブレットなど）が身近にあり絵本に親しむ時間が減っている。
- ・読書（読み聞かせ）の重要性を伝えていく（本の紹介等）。充実した図書、環境の整備等。
- ・保護者にどう知らせて意識してもらえるかが課題。
- ・ページをめくったら絵の連続性が理解出来ない子が何人かいるので、保護者に電子機器をみないようすすめている。ちゃんと実行している子どもは伸びて本が読めるようになった。
- ・親に毎日スキンシップをしながら幼児、小学生でも楽しい、感動する絵本から読み聞かせをする。毎日が無理ならせめて週に一回でもしてほしい。それが小学生になった時、進んで読書をする事につながるのかな？
- ・子どもの読書活動を推進するにあたっての課題は親の活字ばなれが影響している。新聞は読まない⇒スマホ頼り、家庭における環境の変化、幼い頃からの読み聞かせの習慣があると子どもは、家庭においても多数の本があったり、図書館の利用度も高い傾向になっている。
- ・おそらく、子ども達だけではなく親世代も一緒になって、読書を楽しむ日時を固定し、毎月その日は公民館を解放し、図書になじむ日にしたい。（例えば、毎月が厳しいなら、第五日曜日がある月。とか）
- ・老人会等と連動した読み聞かせや紙しばい等の推進で少しでも興味をもってもらおう。
- ・いつも家庭に本がある環境。
- ・冊数・保管スペース・ジャンル選び・費用等。根本的な問題からではないでしょうか。

- ・幼少期からの読み聞かせや、家庭での読書習慣。付き合う身近な人などが良く読書をするなど環境。
- ・コロナ化が進み活動が無かったため今後の状況を見てみないと分からない。
- ・学校、村立図書館と同じ本が多い。(定期的に新書・入替等が行えていない。)感想文や画を展示し、住民に観てもらおう機会づくり。
- ・わからない。

#### 質問5 セット貸出について知っていますか。

- ・知っている (5件)
- ・知らない (15件)

#### 質問6 今後セット貸出を利用したいと思いますか。

- ・思う (11件)      ・思わない (0件)      ・わからない (6件)
- ・その他 (1件)

図書館の開館時間、閉館時間の中で貸りたり、返却が難しい。利用できる時期があれば。

#### 質問7 子どもの読書活動推進活動に関する事で、村立図書館へのご意見、ご要望を教えてください。

- ・出前読み聞かせはよいなあーと思います。幼稚園が出向き、見学などさせて頂けるといいなあーと思いました。
- ・大型絵本・大型紙芝居等、保育に活かせるのでよく活用しています。エプロンシアター・ブラックシアター・パネルシアターも活用していきたいので、少しずつ増やして頂けるとありがたいです。よろしく願いいたします。
- ・各園への季節(その時期・行事等)に見合った本の紹介、新本等のお知らせをしていただけると有難くまた、園児、保護者への推進につながると思います。よろしく願い致します。
- ・村をあげて電子機器の使用をフランスなどのように制限しないと難しいと感じている。
- ・絵本コーナーの場所を開閉ドア等で仕切れる所があれば梅雨時期やその他の時に園児と一緒に図書館に訪問して絵本や紙芝居の読み聞かせが出来ると利用しやすいと思います。他の利用者に迷惑ならぬように！
- ・自治会への出張図書館等による普及活動の推進。
- ・カフェスタイルで手軽に本を手にとれる様な図書館。読む場所は自分の好きな場所等をえらべる。
- ・図書館が遠いので子どもだけで行くのが難しい。
- ・タブレット、ユーチューブ、携帯電話と、学校でも電子科が進み、読書という推進活動を今後どのような形で行うかは、大きな課題だと思う。
- ・特にありません。新図書館に期待しています。

## 9. 読谷村子どもの読書活動推進計画アンケート調査（児童）集計表

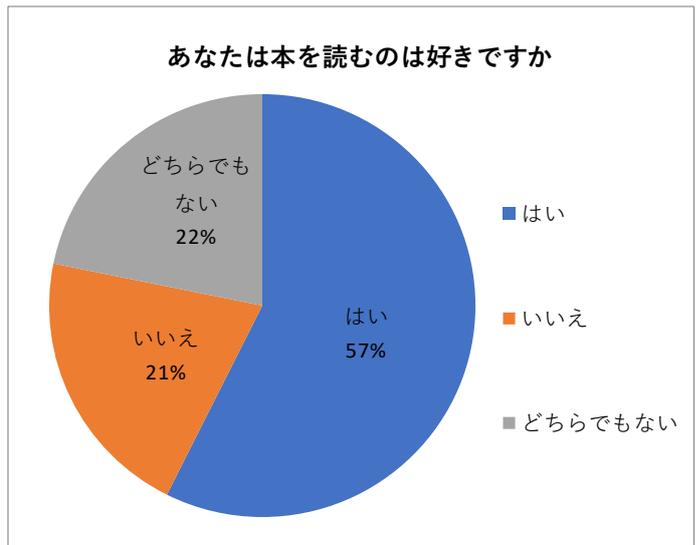
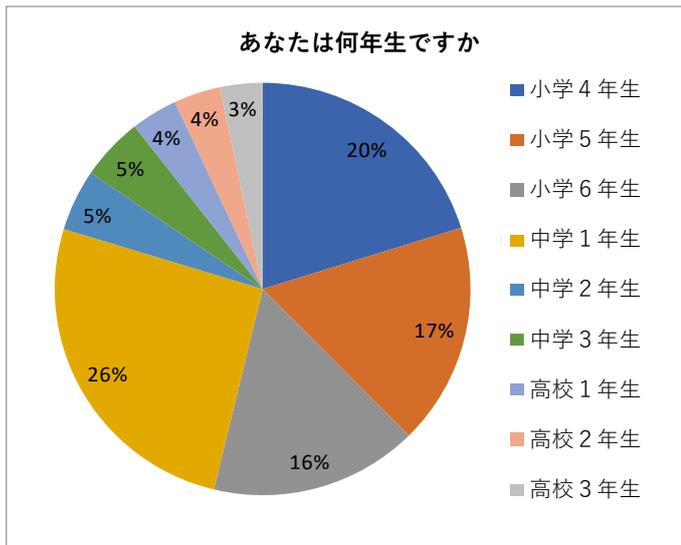
実施期間：令和5年7月10日～9月1日

回答件数：995件

実施対象：村内の小学4年生～高校3年生まで

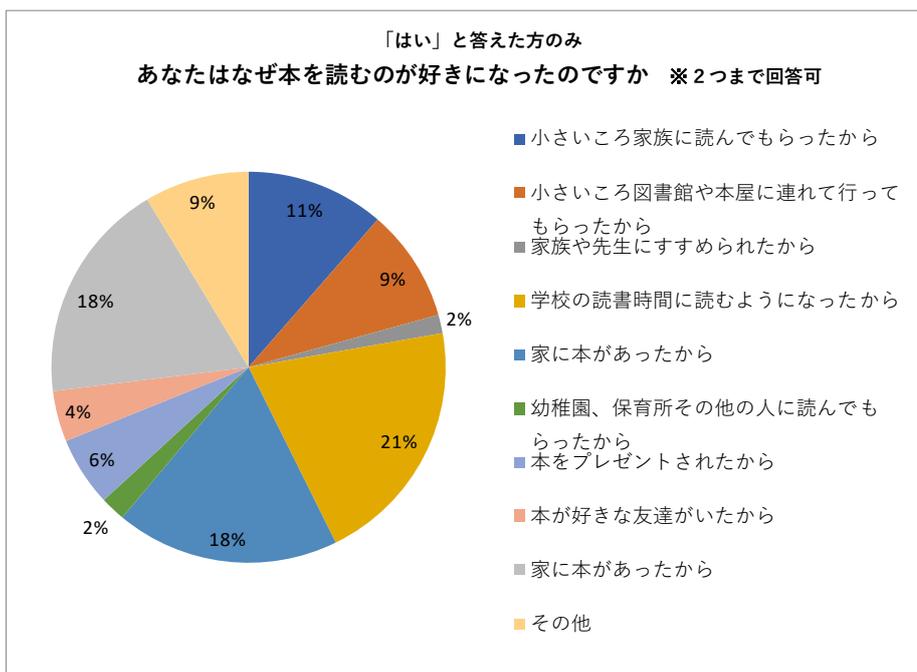
※各学校学年1クラスずつ

※分析にあたっては、必要に応じて平成29年度調査と比較。



※読谷中学校の1年生が学年全体でアンケートを集計したため、比率が高くなっている。

前回「はい」が66%であったため、過半数は超えたものの、減少傾向にある。「どちらでもない」は概ね変化なし。

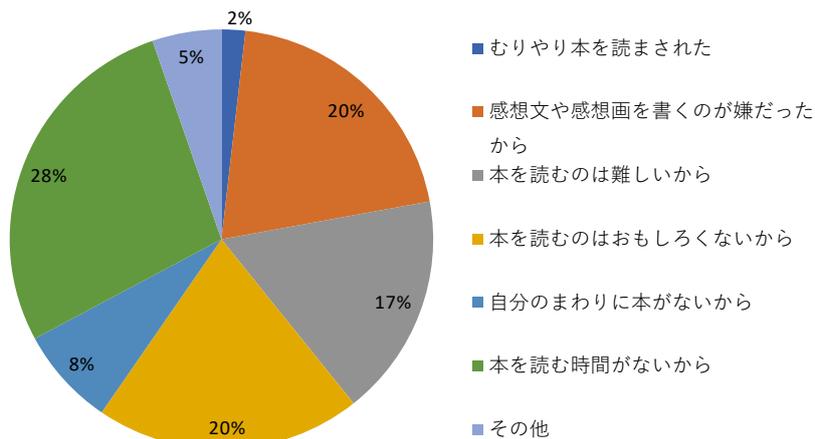


「小さいころ家族に読んでもらったから」、「家に本があったから」が、微量ではあるが、それぞれ4ポイントずつ減少している。保護者向けのアンケートにて、読み聞かせの頻度は高い様に見受けられるため、乖離が感じられる。

その他意見：

「面白いから」「好きだから」など、漠然とした理由が多い。

「いい」または「どちらでもない」と答えた方のみ  
あなたはなぜ本を読むのが好きではないのですか ※2つまで回答可

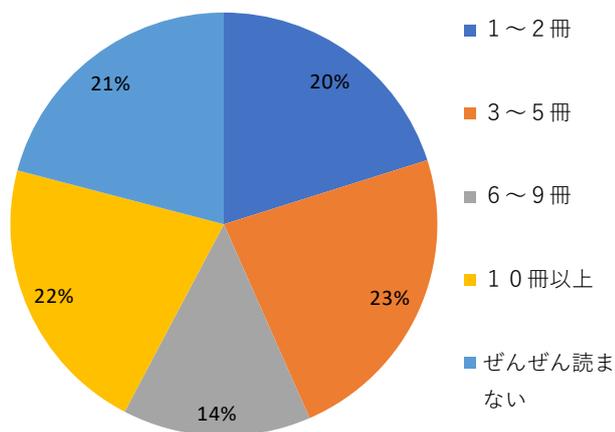


「本を読むのは難しいから」が7ポイント増加、「本を読むのはおもしろくないから」が4ポイント増加しており、本に対する苦手意識が伺える。

その他意見：

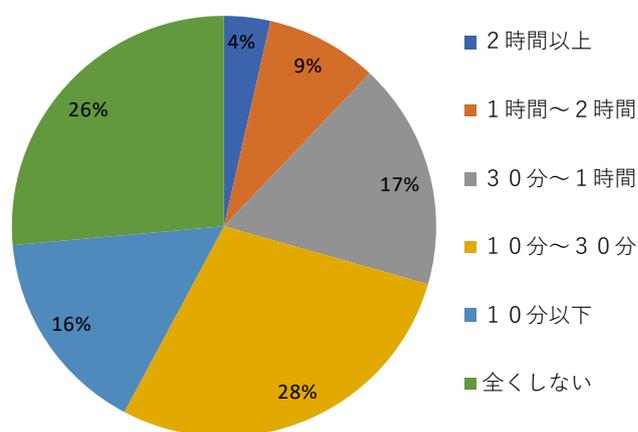
「読む気にあまりならない」「本に興味がない」といった意見が多い。

あなたは1か月にどのくらい本を読みますか



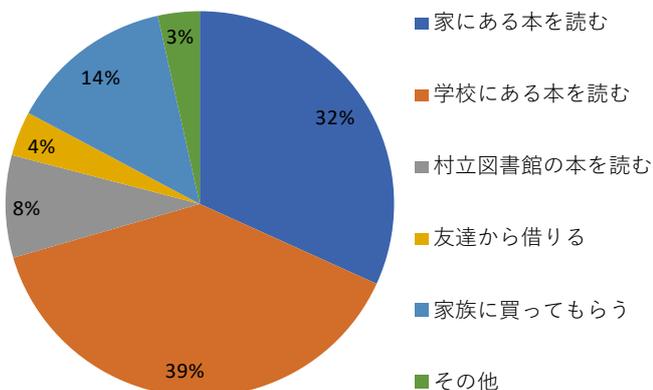
「1～2冊」が5ポイント増加、「ぜんぜん読まない」が11ポイント増加しており、読まない方の割合が増えている。

あなたの1日の読書時間はどのくらいですか



「全くしない」が7ポイント増加し、その他が全体的に減少している。

あなたは読む本をどのように用意していますか

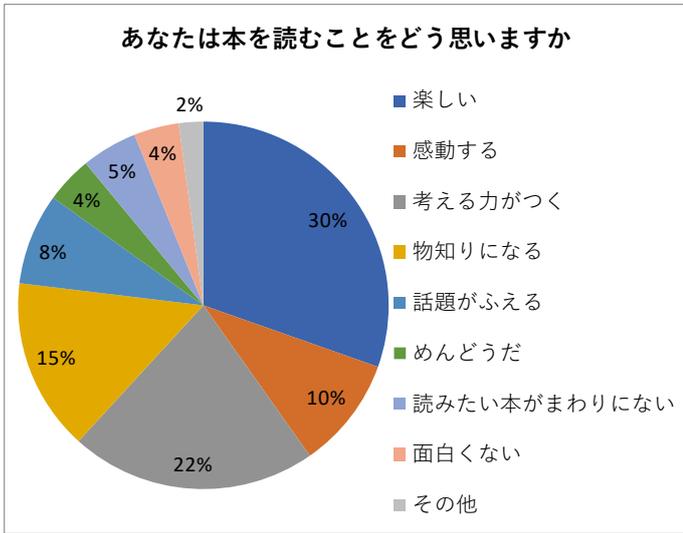


「学校にある本を読む」が1番多いが、前回と比べると11ポイント減っている。

「家にある本を読む」が10ポイント増加、「村立図書館の本を読む」が2ポイント増加している。

その他意見：

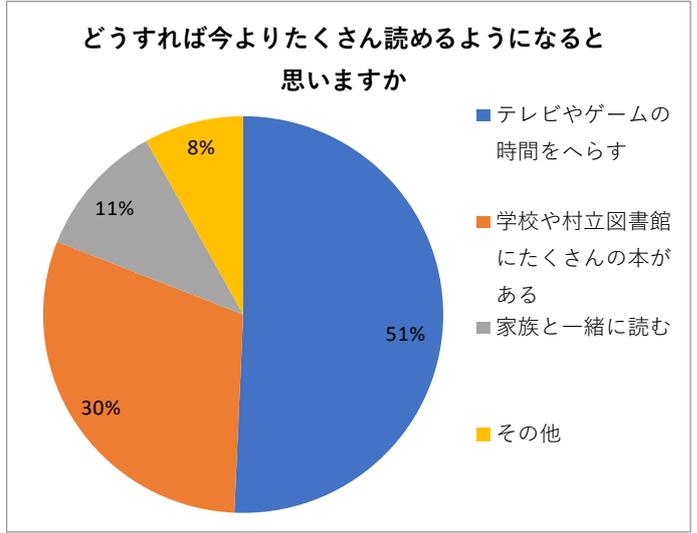
「その他」でも電子図書等で読む方が多く感じられ、自分で用意する方が多い。



「楽しい」が6ポイント減少、「考える力がつく」が4ポイント増加。意識して読書に取り組めば、学力向上に繋がると思われる。

その他意見：

「面白い」「ワクワクする」「新しい発見がある」「想像力が豊かになる」といった肯定的な意見が多い。

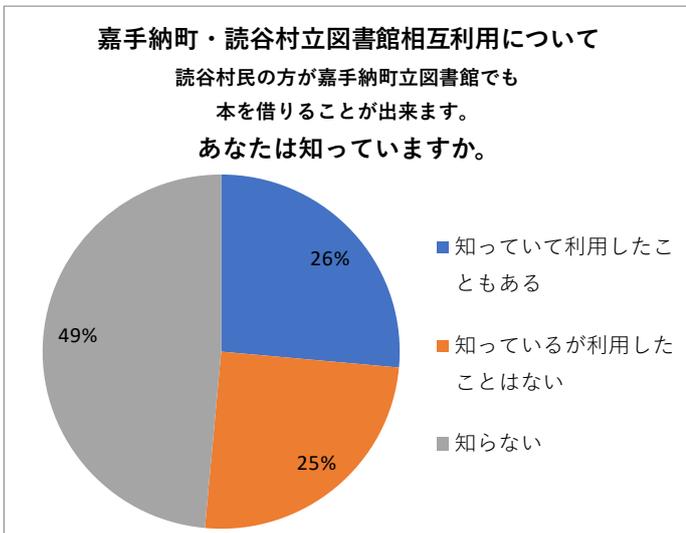


「テレビやゲームの時間を減らす」が前回もそうだが、1番多く、7ポイント増加している。

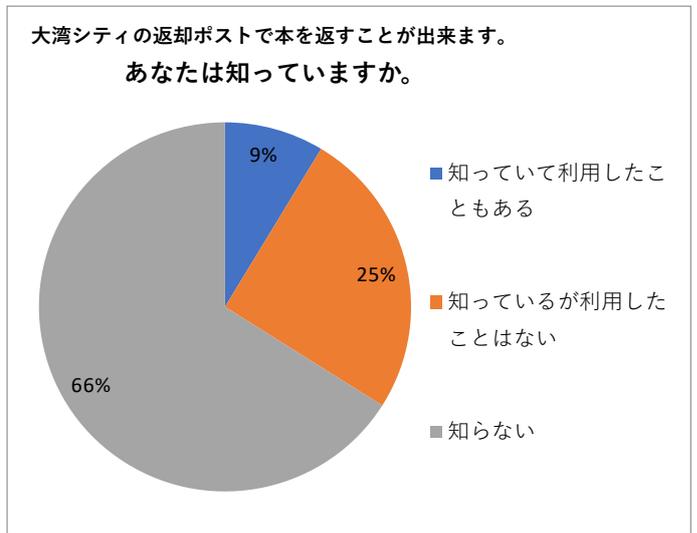
「家族と一緒に読む」が4ポイント増加しており、読み聞かせに対する理解度が増えていると感じる。

その他意見：

「図書館を利用する」「いろいろな本を知る」「読書の時間を増やす」といった意見が多い。

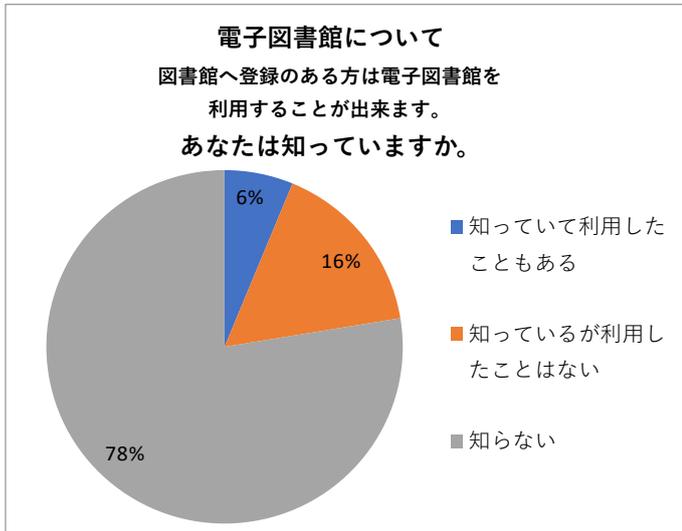


「知らない」が5ポイント増加している。



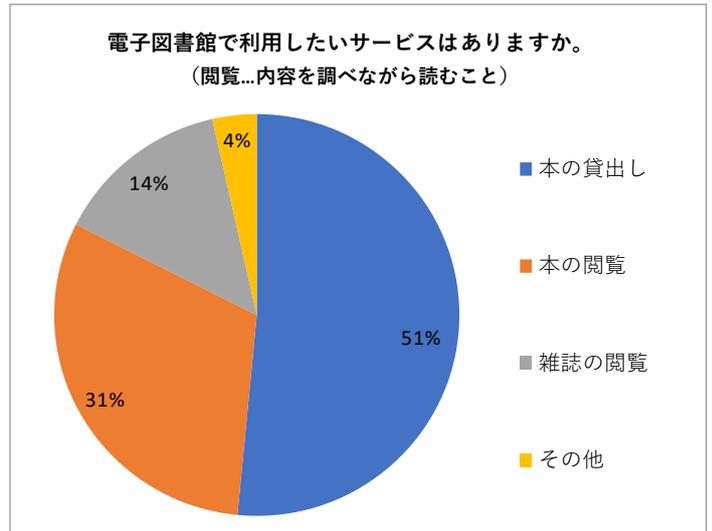
【前回未実施、比較対象なし】

保護者向けのアンケートでは、70%以上の方が知っていたが、児童向けでは過半数以上の方が「知らない」と回答。



【前回未実施、比較対象なし】

78%が「知らない」と回答。現在小学校からタブレットを持っているので、登録・利用促進を図る必要がある。



【前回未実施、比較対象なし】

「本の貸出し」が過半数であった。

その他意見：

「利用したいサービスは無い」「利用したことがないのでわからない」といった意見が多い。

**村立図書館への意見・要望（抜粋）**

- ・本を増やしてほしい。
- ・新しい本が読みたい。
- ・伝記の本を増やして欲しい。
- ・動物関係の本、増やしてほしいです。
- ・ダンスの本も出して欲しい。
- ・ファッションとかの本があったら嬉しい。
- ・雑誌をもっと置いてほしい。
- ・スポーツ本を増やして欲しい。
- ・漫画を増やして欲しい。
- ・沖縄だけでなく、世界の本をもっと。
- ・小学生むけの本をもっと増やしてほしい。。
- ・分厚い本を増やして欲しい。
- ・新しく入った本をもっと目立たせてほしい。季節の本ももっと目が届きやすい所に置いてほしい。
- ・本を読むのが苦手な人も楽しくなるような本が欲しい
- ・DVDの貸し出しを増やしてほしい。
- ・図書館との距離がありすぎ行く気が失せるのでバスなど交通機関で行く機会を増やせるようにしてほしい。
- ・もっと色んな小学校の近くに村立図書館を置いて欲しい。
- ・もう少し図書館の本の検索端末の機能を増やしてほしい。
- ・本のシリーズや場所などを詳しくしてほしいです。
- ・火曜日がノー部活デーなのに読谷村立図書館が閉まっている。
- ・読谷村役場にも返却ポストがあると嬉しいです。
- ・勉強できるスペースがあったらいいと思う。
- ・もっと子ども用スペース、大人用スペース、読み聞かせスペースを充実させてほしい。
- ・図書館の中にカフェや雑誌などあとは子どもや大人のスペースなどを作ってほしい。

## 10. 読谷村子どもの読書活動推進計画アンケート調査（保護者）集計表

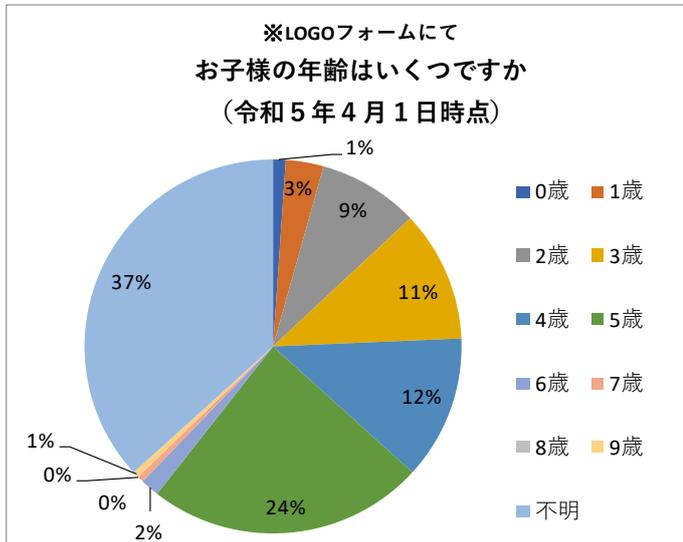
実施期間：令和5年7月10日～9月1日

回答件数：185件

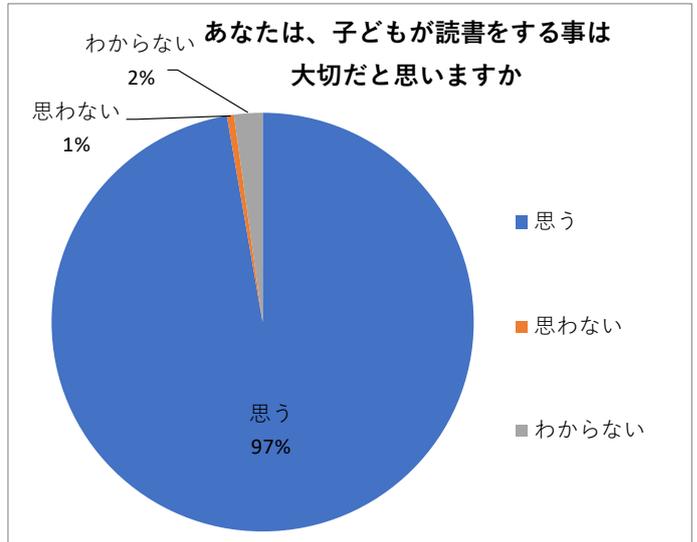
実施対象：子どものいる保護者

(web：117件、紙媒体：68件)

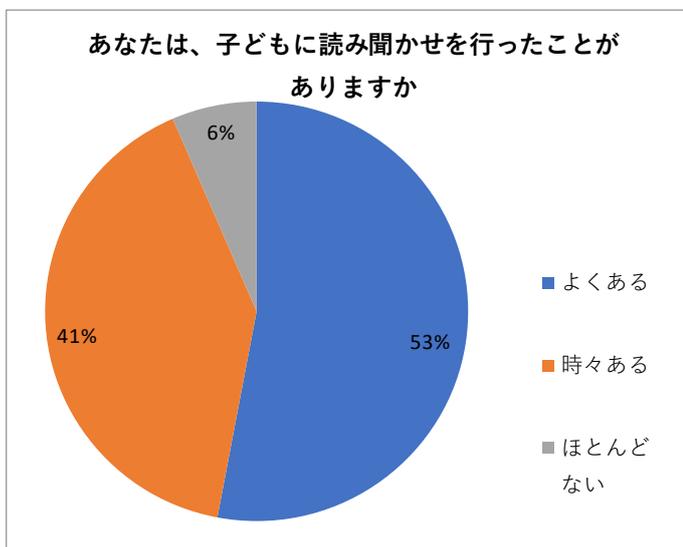
※分析にあたっては、必要に応じて平成29年度調査と比較。



※幼稚園以下のお子さんがある保護者向けのアンケートの配布を行ったが、回答時に小学生と回答のあった方もいたため、6歳以上の回答もみられる。

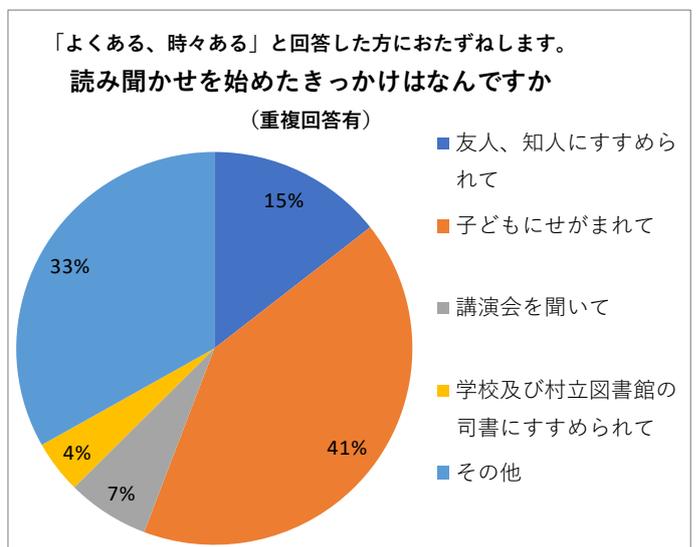


前回（H29年度）、「思う」が99%であったため、概ね意識が高いといえる。



前回、「よくある」が39%であったため、頻度は上昇していると考えられる。

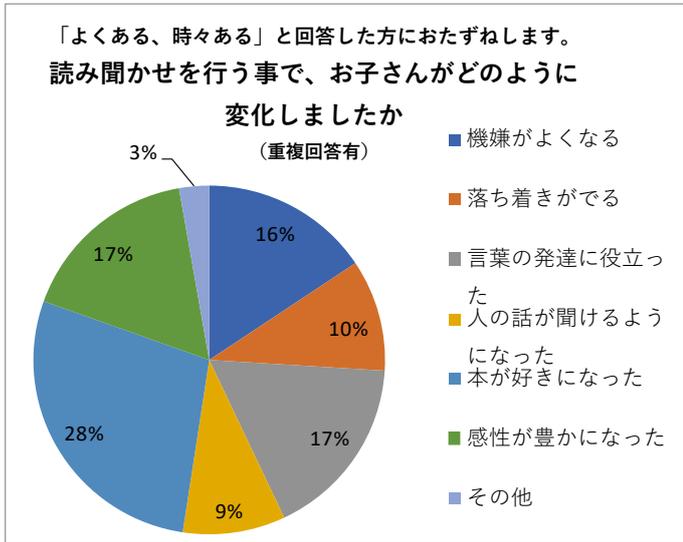
「ほとんどない」は変化なし。



「子どもにせがまれて」が一番多い。全体の割合は前回とあまり大きな変化はなし。

その他意見：

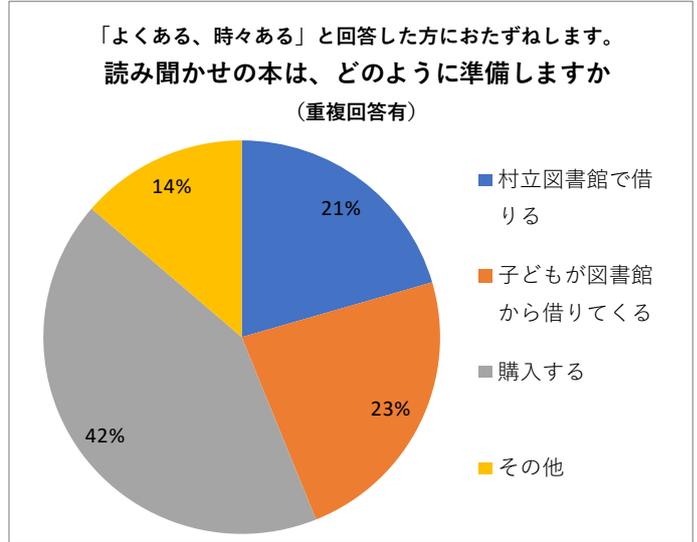
「読み聞かせが良いと聞いていたので」「自分が小さい時に母親に絵本を読んでもらっていたから」といった意見が多い。



全体の割合は前回とあまり大きな変化がみられない。

その他意見：

「教えていないのに字が読めるようになった」「理解力の向上が見られた」といった意見がみられる。



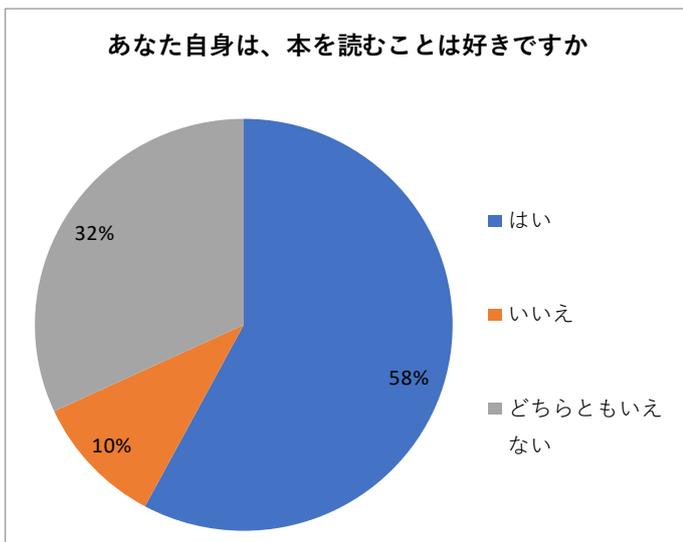
「子どもにせがまれて」が一番多い。全体の割合は前回とあまり大きな変化はなし。

「購入する」が前回も1番多かったが、37%から42%5ポイントへ増加しており、「子どもが図書館から借りてくる」が34%から23%へ11ポイント減少している。

児童が自主的に借りることが減っていると考えられる。

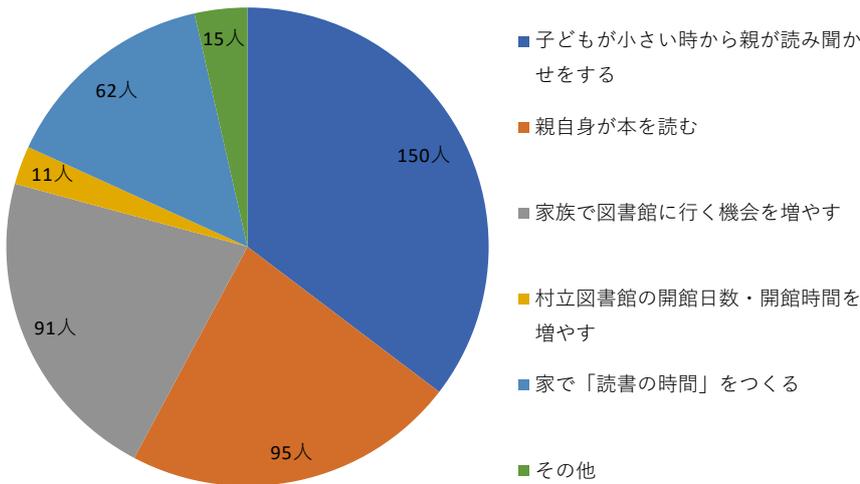
その他意見：

「友人や親戚からのお下がり」「保育園からかりてくる」「近隣の町村の図書館で借りる」といった意見が多い。



前は、「いいえ」が6%であったため、若干増加している。

あなたは子どもがどのようにすれば本を読むようになると思いますか  
(重複回答有)

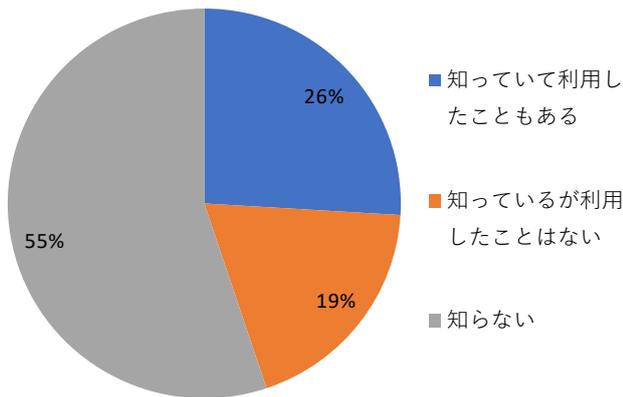


「子どもが小さい時から親が読み聞かせをする」が減少し、「親自身が本を読む」が微増している。

その他意見：

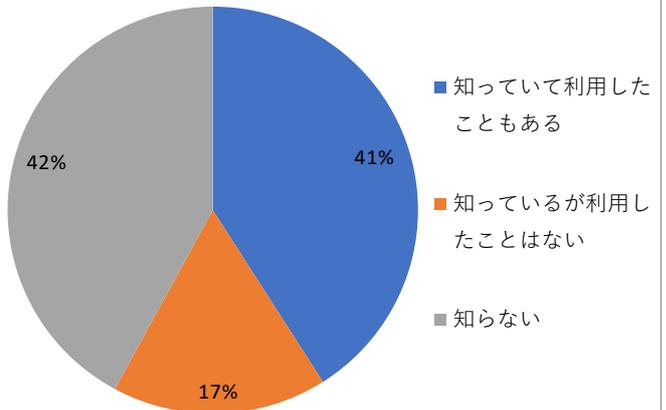
「子どもが興味を持ってから機会を増やす」と答えた方が数名みられた。

読谷村民の方が嘉手納町立図書館でも本を借りることが出来ます。そのことを知っていますか



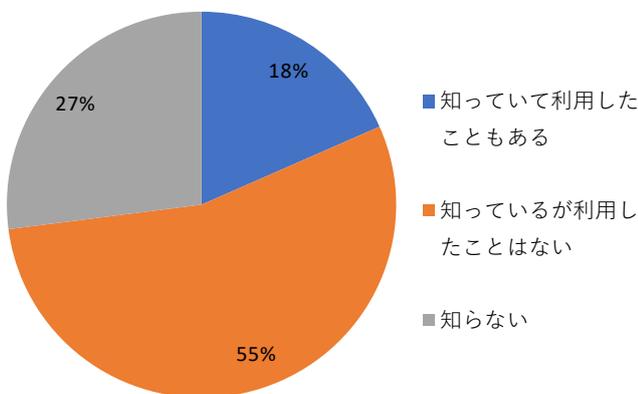
「知っており利用したこともある」は変化ないが、「知らない」が10ポイント増加している。

ブックスタート事業を知っていますか。



「知っており利用したこともある」は変化が少ないが、「知らない」が7ポイント増加している。

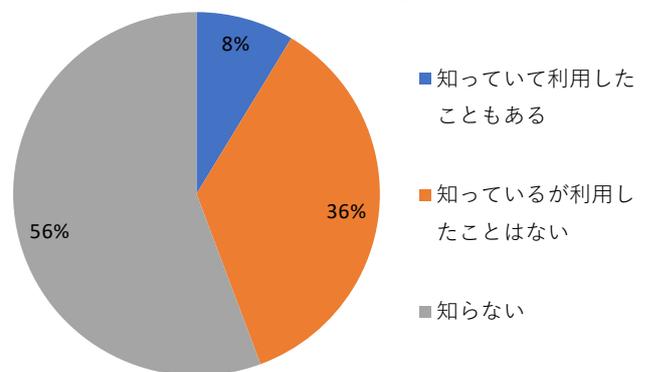
大湾シティの返却ポストで本を返すことが出来ます。あなたは知っていますか。



【前回未実施、比較対象なし】

全体的に認知はされている印象だが、利用者の割合が少ない。

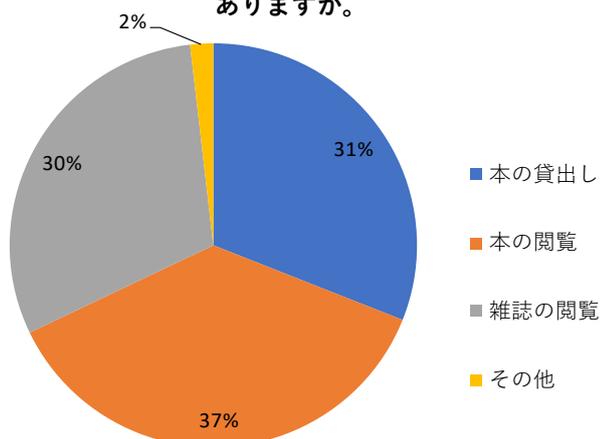
電子図書館について  
図書館へ登録のある方は電子図書館を利用することが出来ます。あなたは知っていますか。



【前回未実施、比較対象なし】

半分以上の方が「知らない」と回答しており、再度周知を図る必要がある。

電子図書館で利用したいサービスはありますか。



【前回未実施、比較対象なし】

質問項目で三種類と「その他」を用意し、全体的に同じくらいの割合となった。

「その他」の意見として、音楽の視聴などがあがった。

その他意見：

「音楽の貸し出しもあれば嬉しいです」といった意見がみられた。

読書活動をひろげる為に、家庭で取り組める（取り組んでいる）こと（抜粋）

- ・絵本の読み聞かせ会を開いたり、参加したりしている。何か始める前、例えば料理をする前に料理の本を読み聞かせしたりすると、話が入りやすい。調べたりするとき、図鑑や、絵本などを活用している。他市町村の図書館で子どもが好きな本や、気に入った本に出会ったら、読谷図書館でリクエストしている。SNSで、本の紹介をしている。
- ・校外学習で図書館へ行く、図書館でイベントをする。
- ・子どもと図書館に行くようにする。中身をみずに表紙で絵本を選ぶ時もあるが、借りて読んでみる。寝る前に読み聞かせをしたり、幼稚園になって字が読めるようになったので交互に読んでいる。
- ・寝る前に絵本を読むようにしています。でももっと図書館に足を運ぶのがいいのかも。そして子どもにも本をもっと触れさせる事。興味のある事の本を見せる事。
- ・寝る前に読み聞かせを習慣化しています。小学生の子どもには学校図書館に行くよう言ったことはないのですが、自ら通っているようです。
- ・子どもに読み聞かせをする際、感情込めて本気で読む事を心掛けている。
- ・仕事をしていてなかなか時間が取れないので、寝る前に1冊は読めるよう目標にはしています。
- ・親が本を読む姿を見せると真似をして読むので親から始めることが大切かな？と思いました。
- ・なるべく図書館に連れていく様になっているし、本を読んであげるようにしている。また、興味が出るような読み方をする事を心がけている。
- ・図書館で定期的に本を借りる。テレビの日を決めて、それ以外の日は暇でもテレビをつけない。読んで～と言われたらできる限りその時、もしくは時間を決めて読むように努める。
- ・デジタル機器やテレビを置かない。子どもに見せない。
- ・年齢に合わせた本を、常時、子どもの手が届く場所へ置いている。
- ・年齢相応の本をすすめる。本人の興味のある分野の本をすすめる。
- ・一緒に絵本を買いに行ったり、読む時は必ず子ども一人ひとりにそれぞれ好きな本を選んでもらい、みんなで寝る前の絵本タイムを楽しんでいる。
- ・毎月1回子どもたちに好きな本を選んでもらってプレゼントしています。その他、本を読むのは良い事だと伝えたり、家族で読書をしたりしています。
- ・学校ごっこ等の遊びにも本を取り入れている。
- ・たくさん本を読んだら、ご褒美をあげる。

11. 第四次読谷村子どもの読書活動推進計画の主な取り組み

		乳幼児期	学童期 (小学校低学年)	学童期 (小学校高学年)	青年前期 (中学校)	青年後期 (高等学校)
家庭	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1-(2)-② 乳児向けおはなし会の開催</li> <li>・1-(2)-② 保護者への読書啓発活動、活動の場の開拓支援</li> <li>・3-(1)-① ファーストブック（0～1歳）配布の継続</li> <li>・3-(1)-① 健診・うぶ声教室等を活用したブックスタートの広報活動</li> <li>・3-(1)-① セカンドブックスタート、サードブックスタートの実施検討</li> <li>・3-(1)-② 「子ども読書の日」、家庭読書（ファミリー読書）の普及</li> <li>・3-(1)-② 読み聞かせボランティアの取り組みの継続実施</li> <li>・3-(2)-① 子ども向け推薦図書リストの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1-(2)-② 保護者への読書啓発活動、活動の場の開拓支援</li> <li>・3-(1)-② 「子ども読書の日」、家庭読書（ファミリー読書）の普及</li> <li>・3-(1)-② 読み聞かせボランティアの取り組みの継続実施</li> <li>・3-(2)-① 子ども向け推薦図書リストの作成</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・1-(2)-② 保護者への読書啓発活動、活動の場の開拓支援</li> <li>・3-(1)-② 「子ども読書の日」、家庭読書（ファミリー読書）の普及</li> </ul>
	公立図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1-(1)-① 図書館司書研修会等への参加促進</li> <li>・1-(2)-② 乳児向けおはなし会の開催</li> <li>・2-(2)-① 絵本セット貸出の活用</li> <li>・3-(1)-① ファーストブック（0～1歳）配布の継続</li> <li>・3-(1)-① 健診・うぶ声教室等を活用したブックスタートの広報活動</li> <li>・3-(1)-① セカンドブックスタート、サードブックスタートの実施検討</li> <li>・3-(1)-② 読み聞かせボランティアの取り組みの継続実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1-(1)-① 図書館司書研修会等への参加促進</li> <li>・2-(2)-① 絵本セット貸出の活用</li> <li>・3-(1)-② 読み聞かせボランティアの取り組みの継続実施</li> <li>・3-(2)-② 調べ学習向きな図書リストの作成、セット貸し出しの実施、郷土資料関連リストや村史等のデジタルアーカイブの活用</li> <li>・4-(1)-② 学校における電子図書館の利用促進、調べ学習等に活用できる電子書籍の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1-(1)-① 図書館司書研修会等への参加促進</li> <li>・3-(1)-② 読み聞かせボランティアの取り組みの継続実施</li> <li>・3-(2)-② 調べ学習向きな図書リストの作成、セット貸し出しの実施、郷土資料関連リストや村史等のデジタルアーカイブの活用</li> <li>・4-(1)-② 学校における電子図書館の利用促進、調べ学習等に活用できる電子書籍の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3-(2)-② 調べ学習向きな図書リストの作成、セット貸し出しの実施、郷土資料関連リストや村史等のデジタルアーカイブの活用</li> <li>・4-(1)-② 学校における電子図書館の利用促進、調べ学習等に活用できる電子書籍の充実</li> </ul>	
地域		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1-(1)-② 「（仮称）読谷村総合情報センター」への図書館司書の適正配置</li> <li>・1-(1)-② 図書館ボランティアの育成、ボランティア研修会の実施・ボランティアへの参加促進、沖縄県子ども読書指導員の活用</li> <li>・1-(2)-① 読み聞かせ（読み語り）・定例行事・配架ボランティア等の取り組みの継続実施</li> <li>・1-(2)-② 保護者への読書啓発活動、活動の場の開拓支援</li> <li>・2-(1)-② （仮称）読谷村総合情報センターの整備、用途に合った図書ゾーンの設置、新たな学びの機会を提供する多様な講座・イベントの開催、夜間開館の実施による利便性の向上、村史編集室や学校図書館との連携</li> <li>・2-(2)-② 県内外の公共図書館や関連施設と連携したレファレンスサービスの実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・2-(1)-② 県内外の公共図書館との相互貸借サービス等の継続</li> <li>・2-(1)-② 嘉手納町立図書館相互利用協定の継続</li> <li>・2-(2)-① 乳幼児、児童、ヤングアダルト図書の充実</li> <li>・2-(2)-① （仮称）読谷村総合情報センターの整備による蔵書の充実</li> <li>・2-(2)-① 電子書籍サービスの継続</li> <li>・2-(2)-② 大型活字本や点字図書・録音図書の導入、触る絵本やDVD等の導入検討</li> <li>・3-(1)-② 「子ども読書の日」、家庭読書（ファミリー読書）の普及</li> <li>・3-(2)-① 子ども向け推薦図書リストの作成</li> </ul>		
	公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2-(2)-① 絵本セット貸出の活用</li> </ul>				
	児童館 地域文庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1-(1)-② 図書館ボランティアの育成、ボランティア研修会の実施・ボランティアへの参加促進、沖縄県子ども読書指導員の活用</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・2-(1)-② 県内外の公共図書館や関連施設と連携したレファレンスサービスの実施</li> <li>・3-(1)-② 読み聞かせボランティアの取り組みの継続実施</li> </ul>		
	ボラン ティア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3-(1)-② 読み聞かせボランティアの取り組みの継続実施</li> <li>・1-(1)-② 図書館ボランティアの育成、ボランティア研修会の実施・ボランティアへの参加促進、沖縄県子ども読書指導員の活用</li> <li>・1-(2)-① 読み聞かせ（読み語り）・定例行事・配架ボランティア等の取り組みの継続実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1-(2)-② 出前おはなし会の実施</li> <li>・2-(1)-① 新たな学びの機会を提供する多様な講座・イベントの開催</li> <li>・3-(1)-② 「子ども読書の日」、家庭読書（ファミリー読書）の普及</li> </ul>		
学校等	保育所 子ども園 幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2-(2)-① 絵本セット貸出の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2-(1)-② 読書指導・利用指導の充実、目標冊数の達成に向けての取り組み、朝の読書活動の継続実施、教科指導における図書館活用推進</li> <li>・3-(2)-② 調べ学習向きな図書リストの作成、セット貸し出しの実施、郷土資料関連リストや村史等のデジタルアーカイブの活用</li> <li>・4-(1)-① GIGA スクール構想等を踏まえたICT環境の整備、意味調べ等における「辞書の活用」による紙や活字に触れる機会の継続</li> <li>・4-(1)-① 学校における電子図書館の利用促進、調べ学習等に活用できる電子書籍の充実</li> </ul>			
	小中高 特別支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1-(1)-① 学校図書館への司書の配置、学校図書館司書研究会の継続、図書館司書研修会等への参加促進</li> <li>・1-(1)-② 図書館ボランティアの育成、ボランティア研修会の実施・ボランティアへの参加促進、沖縄県子ども読書指導員の活用</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・1-(2)-② 出前おはなし会の実施、保護者への読書啓発活動、活動の場の開拓支援</li> <li>・2-(1)-① 村史編集室や学校図書館との連携</li> <li>・2-(2)-① 乳幼児、児童、ヤングアダルト図書の充実</li> </ul>		



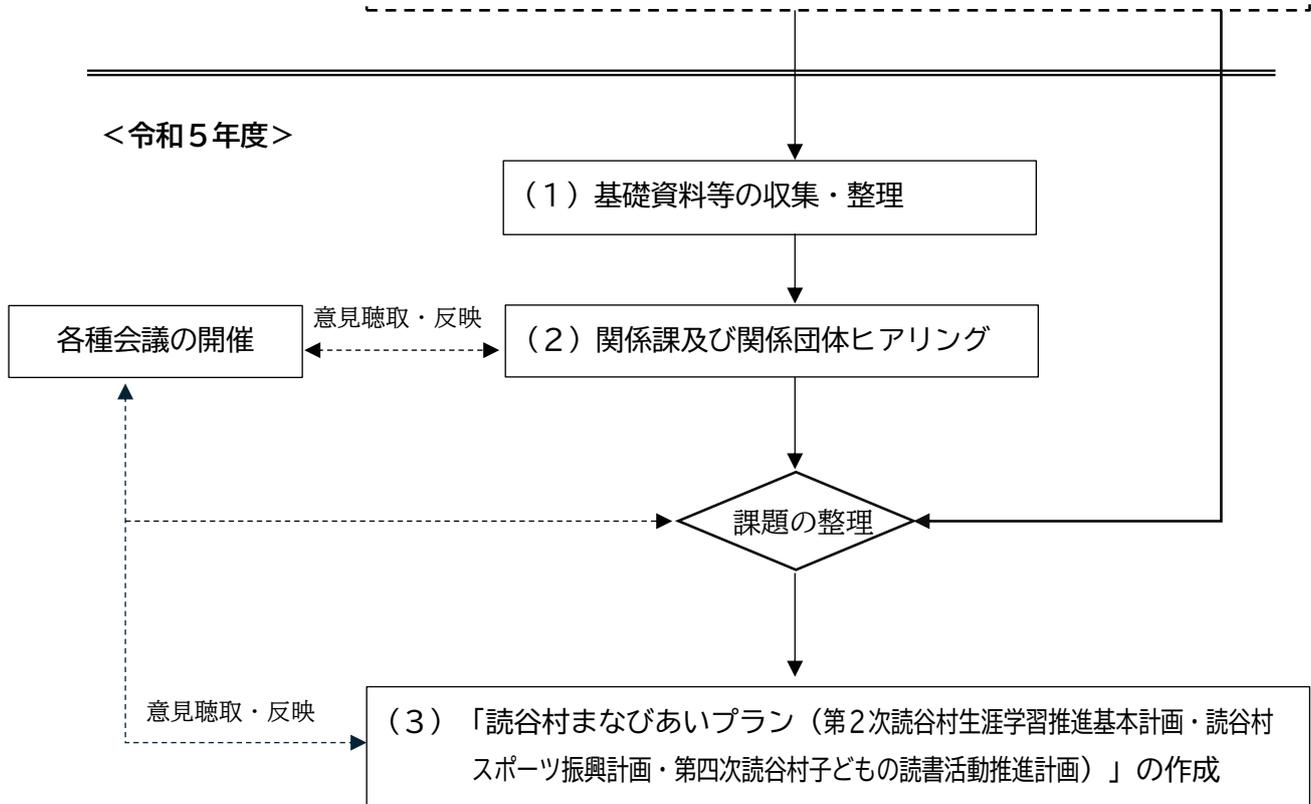
## 12. 策定の流れ

<令和4年度>

令和4年度 読谷村生涯学習のまちづくりワークショップ等運営業務

- ・令和4年度読谷村生涯学習に関する村民調査
- ・社会教育関係団体合同研修会（ワークショップ）
- ・ジュニアリーダー研修会（ワークショップ）
- ・小学校区での「読谷村生涯学習のまちづくりワークショップ」での意見

<令和5年度>



### 13. 策定の経緯

年 月 日	会 議 等	内 容
令和4年度読谷村生涯学習に関する村民実態（ニーズ）調査		
令和4年8月～通年	ジュニアリーダーワークショップ	こんな読谷村にしたいな
令和4年6月16日	社会教育関係団体ワークショップ	社会教育団体にできること ～地域学校協働推進事業にどう関わるか～
令和4年10月11日～ 10月31日	生涯学習アンケート調査	生涯学習、文化スポーツ、図書館の分野ごと 及び総合的な事について質問回答
令和4年11月15日	喜名小学校区ワークショップ	小学校区毎 読谷村生涯学習のまちづくりワークショップ
令和4年12月14日	社会教育関係団体ワークショップ	社会教育団体活動のこれから
令和4年11月21日	読谷小学校区ワークショップ	小学校区毎 読谷村生涯学習のまちづくりワークショップ
令和4年11月25日	渡慶次小学校区ワークショップ	同上
令和4年11月29日	古堅小学校区ワークショップ	同上
令和4年12月2日	古堅南小学校区ワークショップ	同上
令和5年3月16日	読谷村社会教育委員会議	読谷村社会教育関係団体の現状と課題を踏ま えた意見書
令和5年度生涯学習推進基本計画等策定		
令和5年5月18日	第1回読谷村社会教育委員会議	生涯学習推進基本計画策定について
令和5年7月27日	社会教育関係団体合同研修会	社会教育団体活動「長浜青年会復活」
令和5年9月～10月	生涯学習に関連する事業調査（庁 内全課）	点検シートの配布（生涯学習に関する取組 み・各種講座等の実施状況）及び主要な課へ のヒアリング
令和5年11月8日	第2回読谷村社会教育委員会議	生涯学習事業評価 計画策定について ・策定の趣旨 ・基礎調査結果の報告（上位関連計画、課題等） ・総論部分の内容について
令和5年12月1日	第1回庁内作業部会	計画策定について ・策定の趣旨 ・基礎調査結果の報告（上位関連計画、課題等） ・総論部分の内容について
令和5年12月19日	社会教育関係団体合同研修会	生涯学習推進計画策定における社会教育活動 指導助言：嘉納英明氏（名桜大学教授）

令和5年12月～ 令和6年1月	関係団体ヒヤリング（計画案）	図書館協議会、スポーツ推進委員会、文センター運営審議会、読谷村公民館連絡協議会
令和6年1月10日	第2回庁内作業部会	計画案の検討 ・総論部分 ・各論部分
令和6年1月10日	教育長調整	計画策定作業の進捗等の説明・調整
令和6年1月24日	読谷村教育委員会議	進捗報告
令和6年2月7日	第3回読谷村社会教育委員会議	まなびあいプラン（素案）の検討 ・総論部分 ・各論部分
令和6年2月8日	第3回庁内作業部会	計画案の検討 ・各論部分 ・計画の推進に向けて
令和6年2月15日 ～2月23日	パブリックコメントの実施	ホームページでの掲載、関連施設窓口での設置（生涯学習課窓口・文化センター窓口・図書館窓口） 意見の件数：0件
令和6年2月15日	第4回庁内作業部会	まなびあいプラン（素案）の検討 ・各論部分等
令和6年2月27日	第4回読谷村社会教育委員会議	パブリックコメントの結果報告 まなびあいプランの全体確認

## 14. 策定の体制

### ◆読谷村社会教育委員会議 委員名簿

	氏名	所属	役職
1	我如古 清秀	読谷村社会教育委員	議長
2	比嘉 恵子	読谷村社会教育委員	副議長
3	比嘉 朝克	読谷村社会教育委員	
4	大城 誠二	読谷村社会教育委員	
5	新垣 より子	読谷村社会教育委員	

# 読谷村まなびあいプラン

第2次読谷村生涯学習推進基本計画・読谷村スポーツ振興計画・第四次読谷村子どもの読書活動推進計画

---

【発行年】令和6年3月

【発行】読谷村教育委員会 生涯学習課

〒904-0392 沖縄県中頭郡読谷村字座喜味2901番地

TEL: 098-982-9231 FAX: 098-982-9229

【編集協力】株式会社ディー・プランニング沖縄